

第2章 調査結果

1. 家族類型ごとに見た現状分析

(1) 家族類型ごとに見た家事等時間（家事・育児・介護時間）と仕事等時間

【分析の視点】

- 結婚・子育てによる家事等時間への影響（男女の比較 同じ性別で見ただ家族類型ごとの比較）

★分析①★

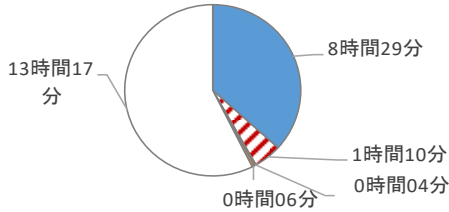
- 図表 1. 家族類型（男女別）ごとの1日当たりの家事等時間と仕事等時間
〈有業者：仕事のある日〉
- 図表 2. 家族類型（男女別）ごとの1日当たりの家事等時間と仕事等時間
〈有業者：仕事のない日〉
- 図表 3. 家族類型（男女別）ごとの1日当たりの家事等時間と仕事等時間
〈無業者：普段の日〉
- 図表 4. 夫婦＋子供（就学前）世帯の家事等時間と仕事等時間（分布）
〈有業者：仕事のある日〉
- 図表 5. 【「介護あり」の回答者に限った集計】 〈有業者：仕事のある日〉
- 図表 6. 【「介護あり」の回答者に限った集計】 〈有業者：仕事のない日〉
- 図表 7. 【「介護あり」の回答者に限った集計】 〈無業者：普段の日〉

図表 1 家族類型（男女別）ごとの1日当たりの家事等時間と仕事等時間<有業者：仕事のある日>

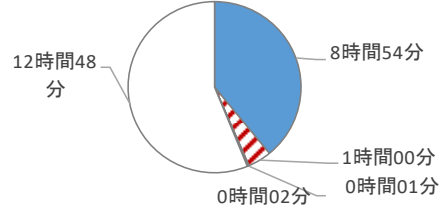
■ 仕事等の時間(学業、通勤時間含む) ■ 家事時間 ■ 育児時間 ■ 介護時間 □ それ以外

<単独世帯>

女性 n=417¹

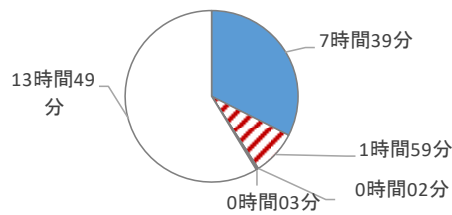


男性 n=560

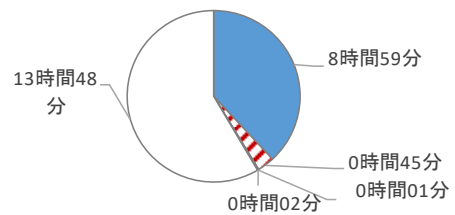


<夫婦のみ世帯>

女性 n=730

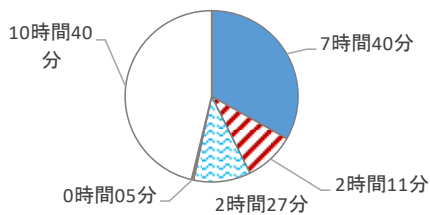


男性 n=1,051

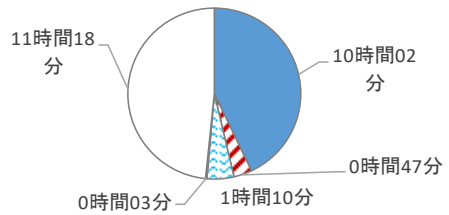


<夫婦+子供(就学前)世帯>

女性 n=716

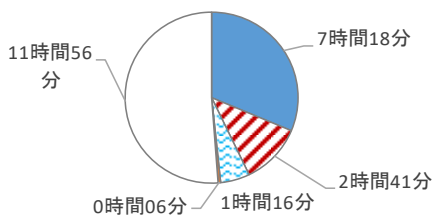


男性 n=1,202

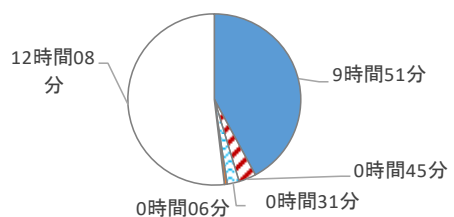


<夫婦+子供(小学生)世帯>

女性 n=405

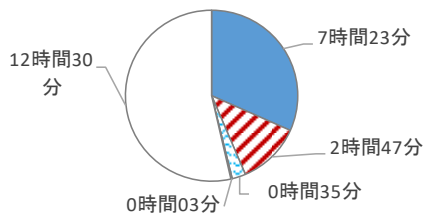


男性 n=576

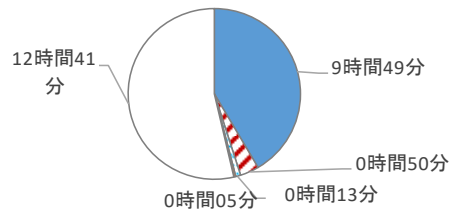


<夫婦+子供(中学生)世帯>

女性 n=212



男性 n=286



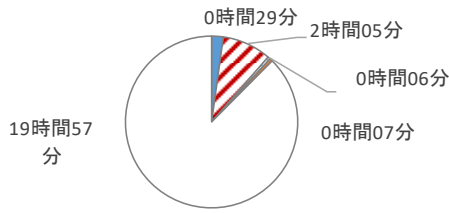
¹ 図表1～図表3、図表5～図表7では、回答者共通に該当がある睡眠時間の回答者数をn数とした。

図表 2 家族類型（男女別）ごとの1日当たりの家事等時間と仕事等時間<有業者：仕事のない日>

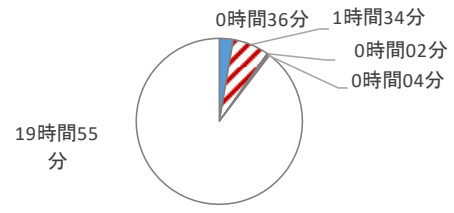
■ 仕事等の時間(学業、通勤時間含む) ■ 家事時間 □ 育児時間 ■ 介護時間 □ それ以外

<単独世帯>

女性 n=416

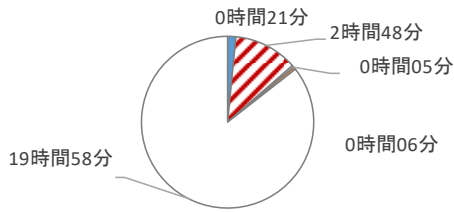


男性 n=557

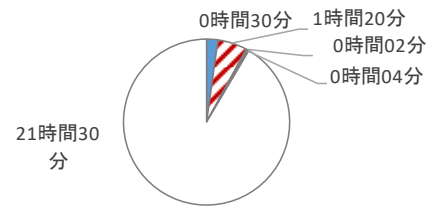


<夫婦のみ世帯>

女性 n=728

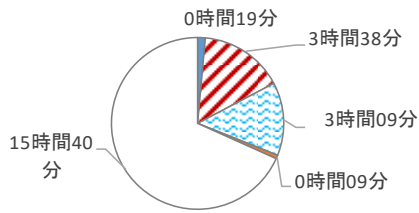


男性 n=1,050

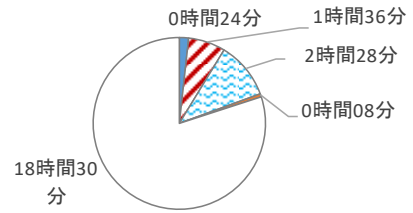


<夫婦+子供(就学前)世帯>

女性 n=713

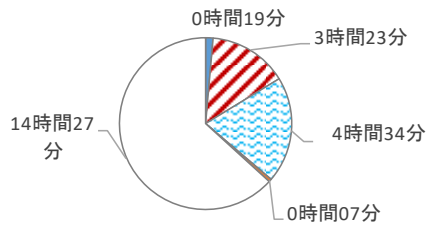


男性 n=1,194

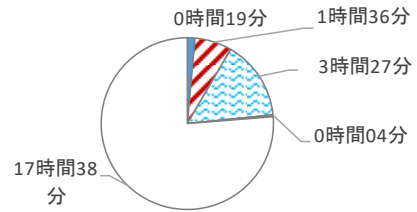


<夫婦+子供(小学生)世帯>

女性 n=404

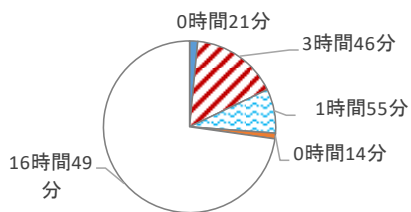


男性 n=573

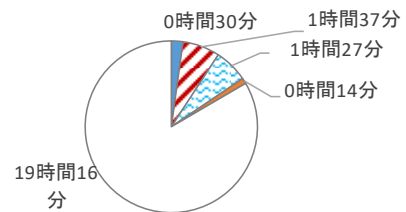


<夫婦+子供(中学生)世帯>

女性 n=212



男性 n=284

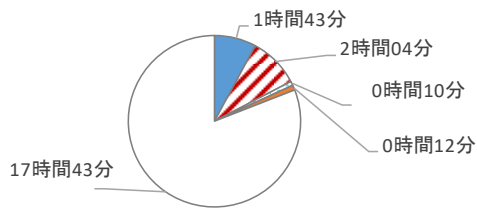


図表 3 家族類型（男女別）ごとの1日当たりの家事等時間と仕事等時間<無業者：普段の日>

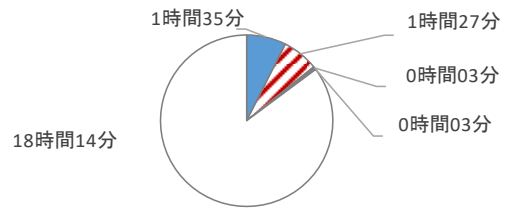
■ 仕事等の時間(学業、通勤時間含む) ■ 家事時間 ■ 育児時間 ■ 介護時間 □ それ以外

<単独世帯>

女性 n=146

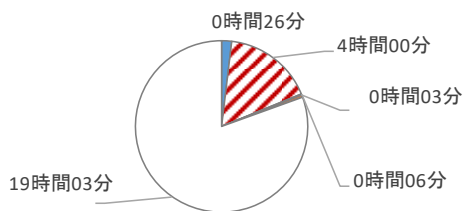


男性 n=211

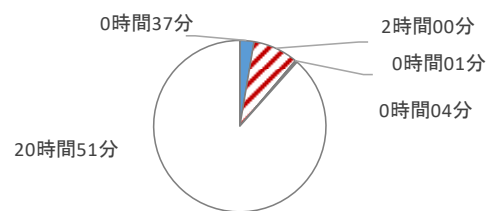


<夫婦のみ世帯>

女性 n=712

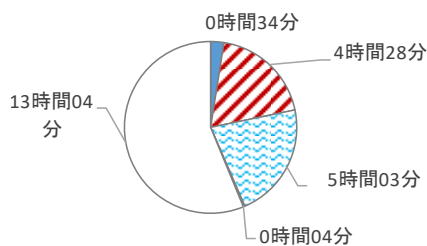


男性 n=392

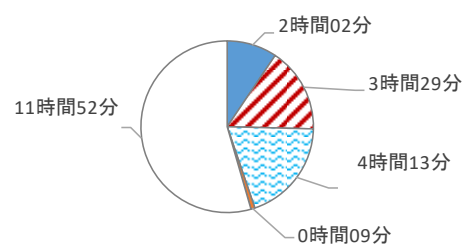


<夫婦+子供(就学前)世帯>

女性 n=699

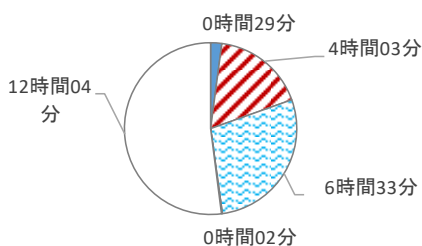


男性 n=214

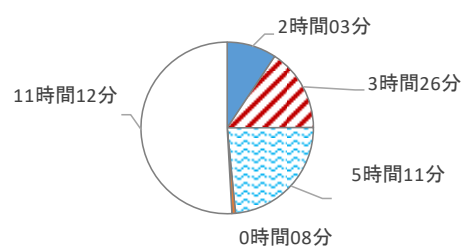


<夫婦+子供(小学生)世帯>

女性 n=217

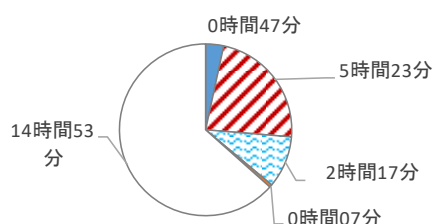


男性 n=47

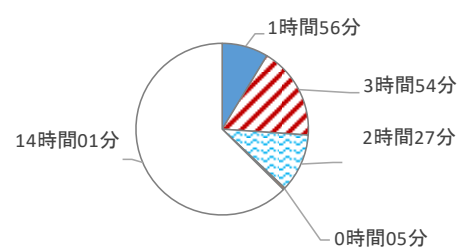


<夫婦+子供(中学生)世帯>

女性 n=103

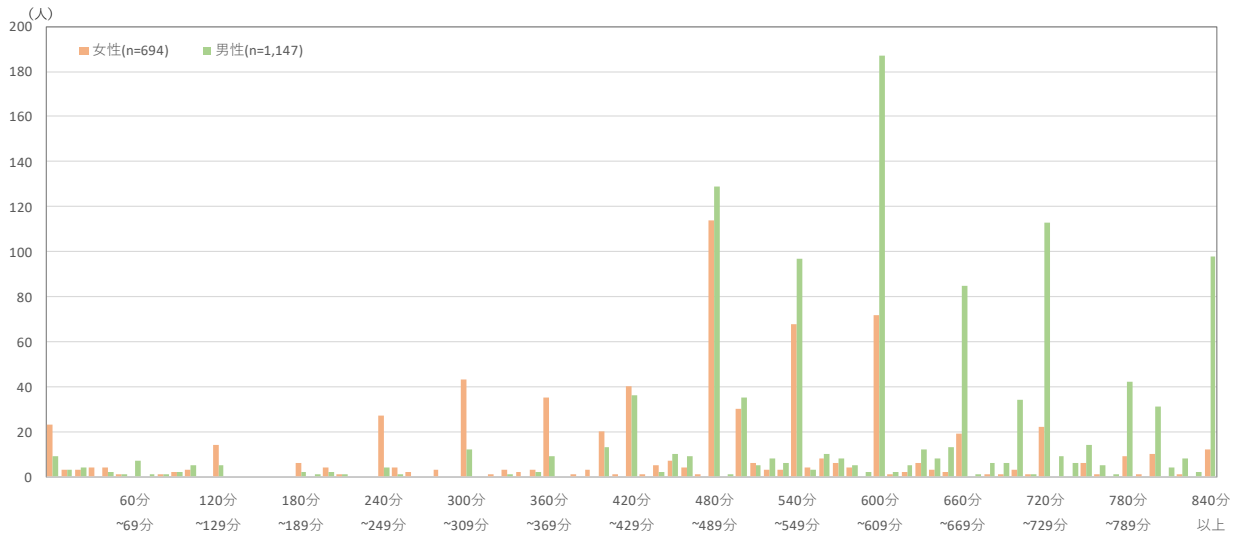


男性 n=30

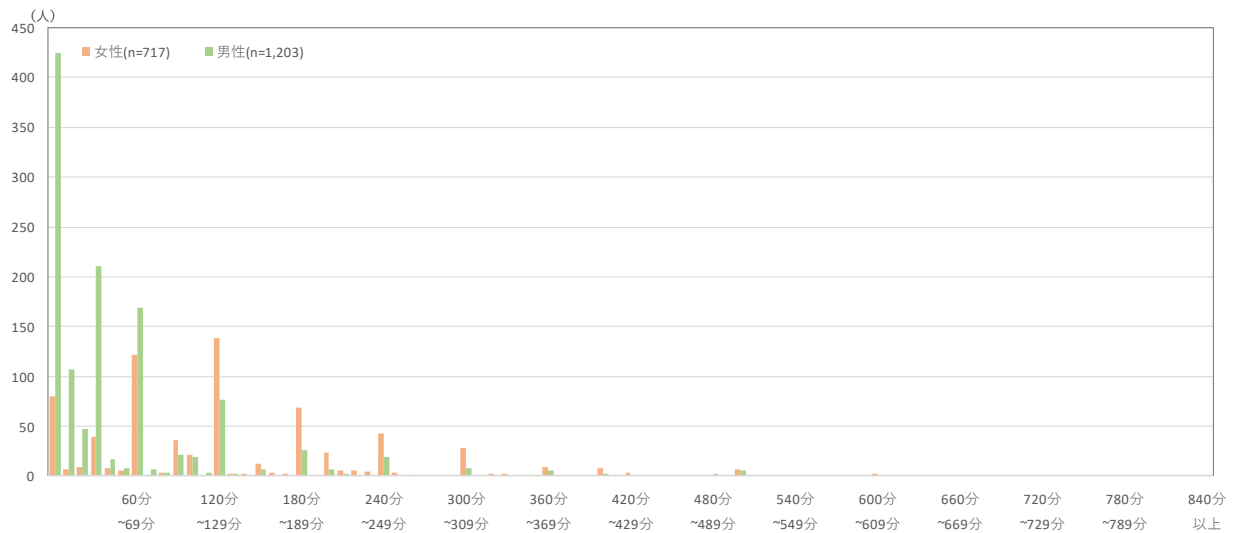


図表 4 夫婦＋子供（就学前）世帯の家事等時間と仕事等時間（分布）
 〈有業者：仕事のある日〉

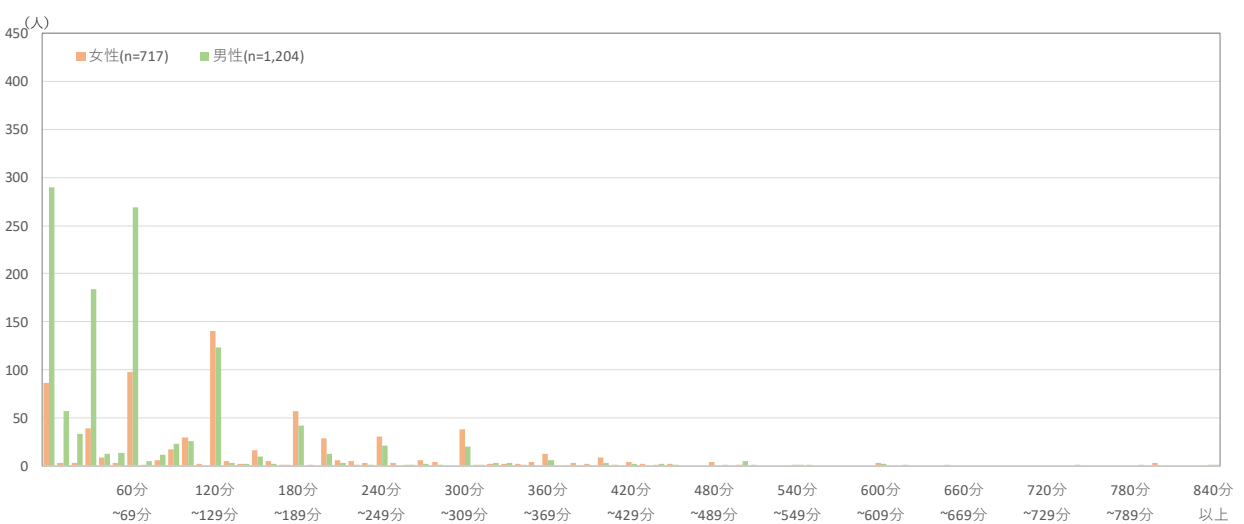
〈仕事等の時間（学業、通勤時間含む）〉



〈家事時間〉



〈育児時間〉



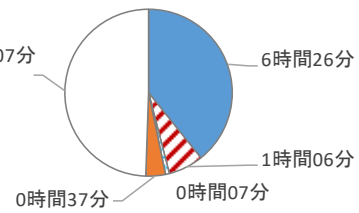
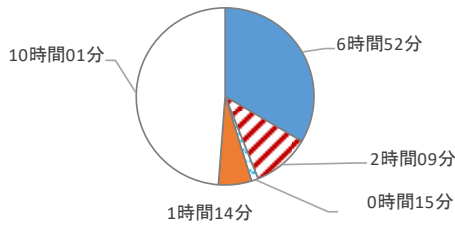
図表5 【「介護あり」の回答者に限った集計】<有業者：仕事のある日>²

■ 仕事等の時間(学業、通勤時間含む) ■ 家事時間 □ 育児時間 ■ 介護時間 □ それ以外

<単独世帯>

女性 n=22

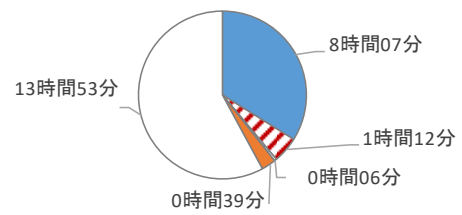
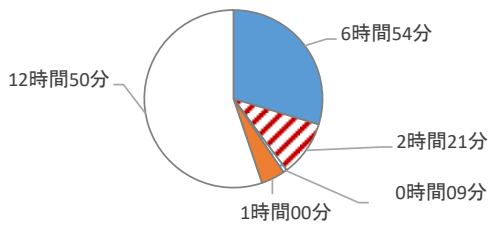
男性 n=17



<夫婦のみ世帯>

女性 n=32

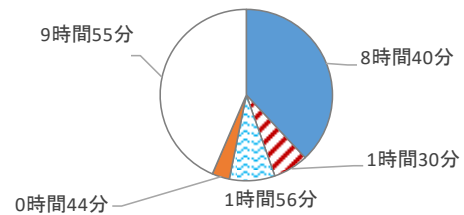
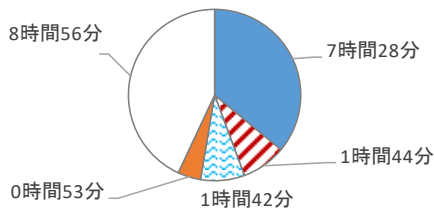
男性 n=43



<夫婦+子供(就学前)世帯>

女性 n=40

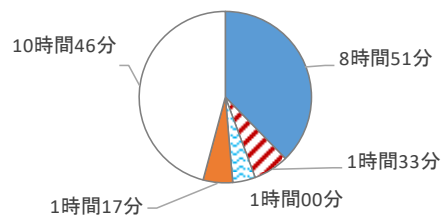
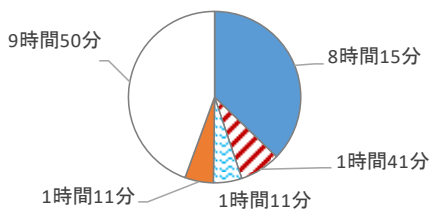
男性 n=47



<夫婦+子供(小学生)世帯>

女性 n=31

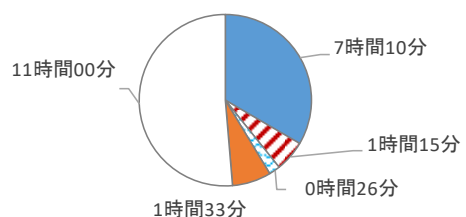
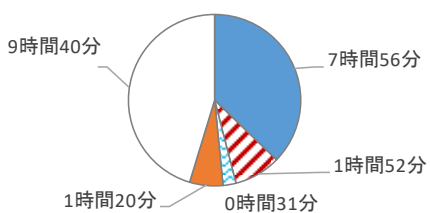
男性 n=45



<夫婦+子供(中学生)世帯>

女性 n=9

男性 n=13



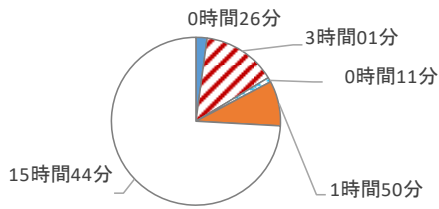
² 介護者ありの集計については特に母集団が少ない点に留意を要する。(次頁以降も同様)

図表 6 【「介護あり」の回答者に限った集計】<有業者：仕事のない日>

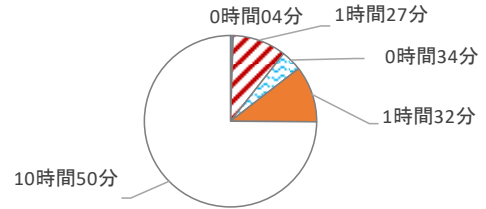
■ 仕事等の時間(学業、通勤時間含む) ■ 家事時間 □ 育児時間 ■ 介護時間 □ それ以外

<単独世帯>

女性 n=22

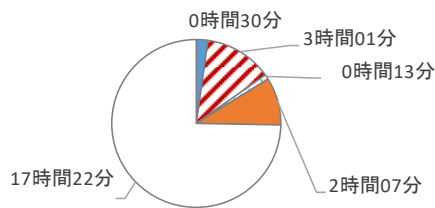


男性 n=17

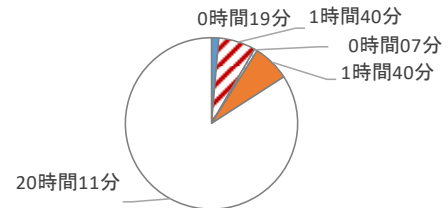


<夫婦のみ世帯>

女性 n=32

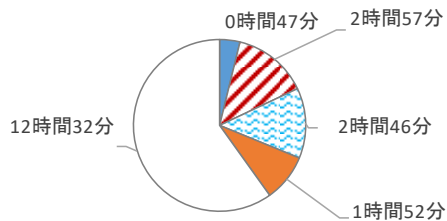


男性 n=43

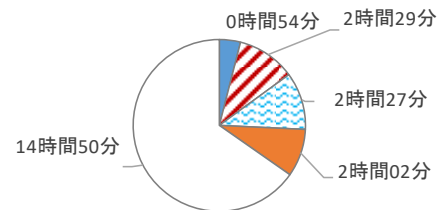


<夫婦+子供(就学前)世帯>

女性 n=40

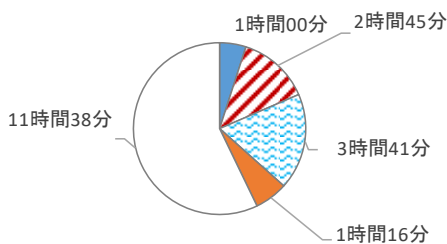


男性 n=47

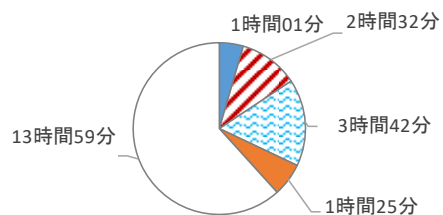


<夫婦+子供(小学生)世帯>

女性 n=31

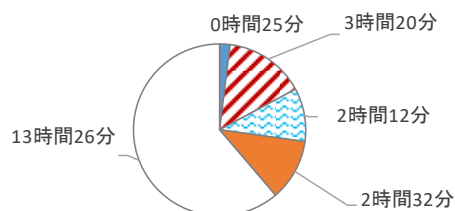


男性 n=44

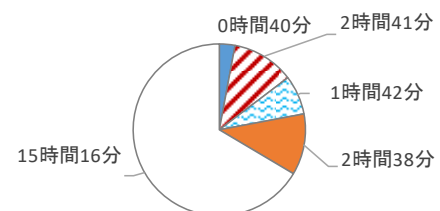


<夫婦+子供(中学生)世帯>

女性 n=9



男性 n=13

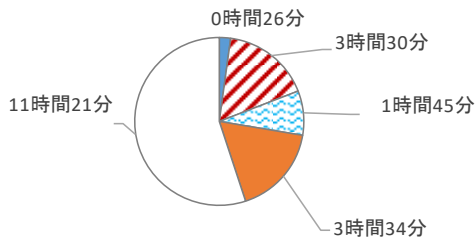


図表 7 【「介護あり」の回答者に限った集計】 <無業者: 普段の日>

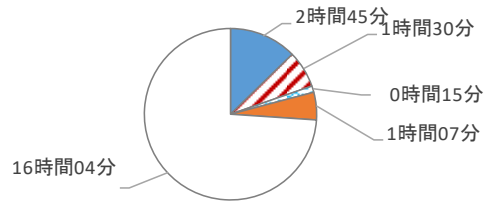
■ 仕事等の時間(学業、通勤時間含む) ■ 家事時間 □ 育児時間 ■ 介護時間 □ それ以外

<単独世帯>

女性 n=7

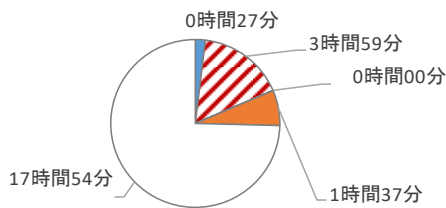


男性 n=7

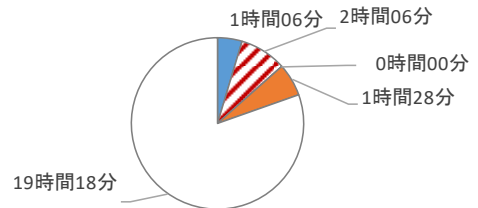


<夫婦のみ世帯>

女性 n=29

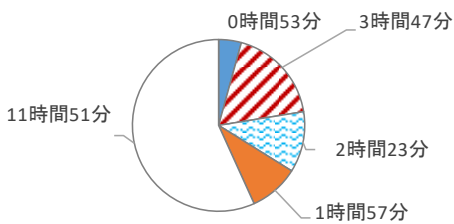


男性 n=16

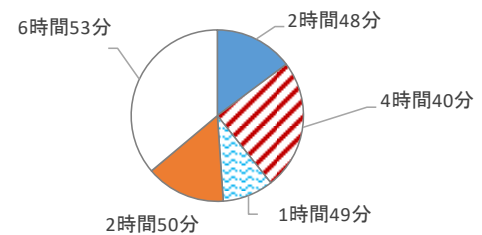


<夫婦+子供(就学前)世帯>

女性 n=7

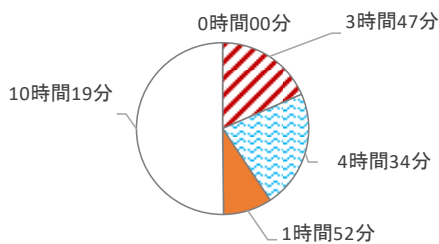


男性 n=7

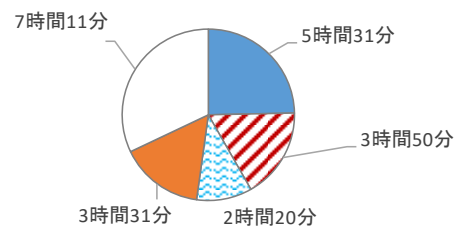


<夫婦+子供(小学生)世帯>

女性 n=12

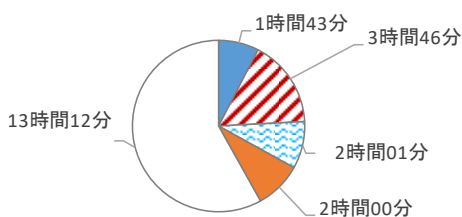


男性 n=2

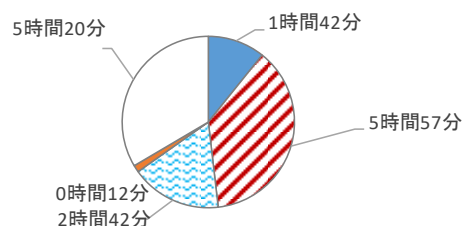


<夫婦+子供(中学生)世帯>

女性 n=4



男性 n=5



【分析結果】

① 有業者の「仕事のある日」〈図表 1 参照〉

ア. 家事時間

(男女の比較)

- ・ 女性の場合は家族類型により「家事時間」が大きく異なり、男性の場合は家族類型により異ならないという傾向がある。このため、「単独世帯」では男女でほぼ同じだが、夫婦になると女性は男性の2倍以上となっている。
 - 「夫婦のみ世帯」・・・女性が男性の2.64倍
 - 「夫婦+子供（就学前）世帯」・・・女性が男性の2.79倍
 - 「夫婦+子供（小学生）世帯」・・・女性が男性の3.58倍
 - 「夫婦+子供（中学生）世帯」・・・女性が男性の3.34倍

(女性の特徴—家族類型別)

- ・ 「単独世帯」は1時間10分、「夫婦のみ世帯」は1時間59分、「夫婦+子供世帯（就学前）」は2時間11分と大きく異なっている。

(男性の特徴—家族類型別)

- ・ 「家事時間」は、「単独世帯」でも「夫婦のみ世帯」でも「夫婦+子供世帯」でも、女性の場合ほど変わらない傾向にあり、おおむね45分～1時間程度である。

イ. 「夫婦+子供世帯」の育児時間

(男女の比較)

- ・ 子供がいる世帯（夫婦+子供世帯）においては、女性は男性の2.1～2.7倍程度になっている。
 - 「夫婦+子供（就学前）世帯」・・・2.1倍（女性は2時間27分、男性は1時間10分）
 - 「夫婦+子供（小学生）世帯」・・・2.45倍（女性は1時間16分、男性は31分）
 - 「夫婦+子供（中学生）世帯」・・・2.69倍（女性は35分、男性は13分）

ウ. 仕事等時間

- ・ おおむね、女性は、仕事等時間の短い順に、「夫婦+子供世帯」、「夫婦のみ世帯」、「単独世帯」となるが、男性は、反対に、この順番で仕事等時間が長い。

エ. 「仕事等時間」「家事時間」「育児時間」「介護時間」の合計時間の比較

- ・ 「仕事等時間」「家事時間」「育児時間」「介護時間」の合計時間が最も長いのは、「夫婦+子供（就学前）世帯」の女性（12時間23分）で、「夫婦+子供（就学前）世帯」の男性（12時間2分）、「夫婦+子供（小学生）世帯」の女性（11時間21分）、「夫婦+子供（小学生）世帯」の男性（11時間13分）の順に長い。

② 有業者の「仕事のない日」〈図表 2 参照〉

ア. 家事時間

(男女の比較)

- ・ 「仕事のある日」と同様に、女性の場合は家族類型により「家事時間」が大きく異なり、男性の場合は女性ほど相違がない。家族類型別にみると、「夫婦+子供世帯」が特に長い。また、女性の方が家事時間は長い、男女差は「仕事のある日」より縮まる傾向にある。

- 「単独世帯」・・・女性が男性の1.33倍
- 「夫婦のみ世帯」・・・女性が男性の2.1倍
- 「夫婦+子供（就学前）世帯」・・・女性が男性の2.27倍
- 「夫婦+子供（小学生）世帯」・・・女性が男性の2.11倍
- 「夫婦+子供（中学生）世帯」・・・女性が男性の2.33倍

イ. 「夫婦+子供世帯」の育児時間

（男女の比較）

- ・ 子供がいる世帯（夫婦+子供世帯）においては、女性は男性の1.2～1.3倍程度になっている。「仕事のある日」と比較すると、男女差は縮まる傾向にある。
 - 「夫婦+子供（就学前）世帯」・・・1.28倍（女性は3時間9分、男性は2時間28分）
 - 「夫婦+子供（小学生）世帯」・・・1.32倍（女性は4時間34分、男性は3時間27分）
 - 「夫婦+子供（中学生）世帯」・・・1.32倍（女性は1時間55分、男性は1時間27分）
- ・ 「夫婦+子供（小学生）世帯」は、「仕事のある日」と比較すると、女性は3時間18分、男性は2時間56分育児時間が長くなる。

ウ. 「仕事等時間」「家事時間」「育児時間」「介護時間」の合計時間の比較

- ・ 「仕事等時間」「家事時間」「育児時間」「介護時間」の合計時間が最も長いのは、「夫婦+子供（小学生）世帯」の女性（8時間23分）で、「夫婦+子供（就学前）世帯」の女性（7時間15分）、「夫婦+子供（中学生）世帯」の女性（6時間16分）の順に長い。

③ 無業者の「普段の日」＜図表 3 参照＞

- ・ 「夫婦+子供世帯」の女性について、無業者の「普段の日」を有業者の「仕事のない日」と比較すると、「家事時間」が40分～1時間40分程度長く、「育児時間」も子供が就学前及び小学生の場合は2時間程度長い。
- ・ 「仕事等時間」「家事時間」「育児時間」「介護時間」の合計時間が最も長いのは、「夫婦+子供（小学生）世帯」の女性（11時間7分）及び男性（10時間48分）である。これは、有業者の「仕事のある日」で見た、「夫婦+子供（小学生）世帯」の女性（11時間21分）及び男性（11時間13分）と大きく変わらない。

④ 夫婦+子供（就学前）世帯の家事等時間と仕事等時間の分布＜有業者：仕事のある日＞ ＜図表 4 参照＞

- ・ 仕事等時間は、女性は480分～600分が多いが、240分から720分まで広く分布している。男性は600分～609分を頂点に480分以上に多く分布している。
- ・ 家事時間は、女性は120分～129分を頂点に300分までの間に広く分布している。男性は、0分の人最も多く3割強を占め、ほとんどが60分～69分より短い時間帯に分布している。
- ・ 育児時間は、女性は120分～129分を頂点に300分までの間に広く分布している。男性は、0分の人最も多く4分の1程度を占め、ほとんどが60分～69分より短い時間帯に分布しているが、120分～129分にも一定程度存在する。

⑤ 「介護あり」の回答者に限った集計における介護時間＜図表 5～図表 7 参照＞

- ・ 回答者数が少ないことに留意する必要がある。
- ・ 「家事時間」や「育児時間」のように、いずれの世帯類型でも顕著な男女差は見られず、同じ世帯類型で見て男性の方が介護時間が長い場合もある。

(2) 家事・家庭マネジメントの状況

【分析の視点】

- 家事・家庭マネジメントについての夫婦間の分担状況（全体的状況・年齢別）

★分析②★

図表 8. 家事・家庭マネジメントの分担（夫婦回答計、妻回答・夫回答）

図表 9. 「妻」が行うという回答が最も多い「食事の献立を考える」の分担

（妻年齢別・夫年齢別）

図表 10. 「妻と夫が同程度」行うという回答が最も多い「親や親族との付き合い」の分担

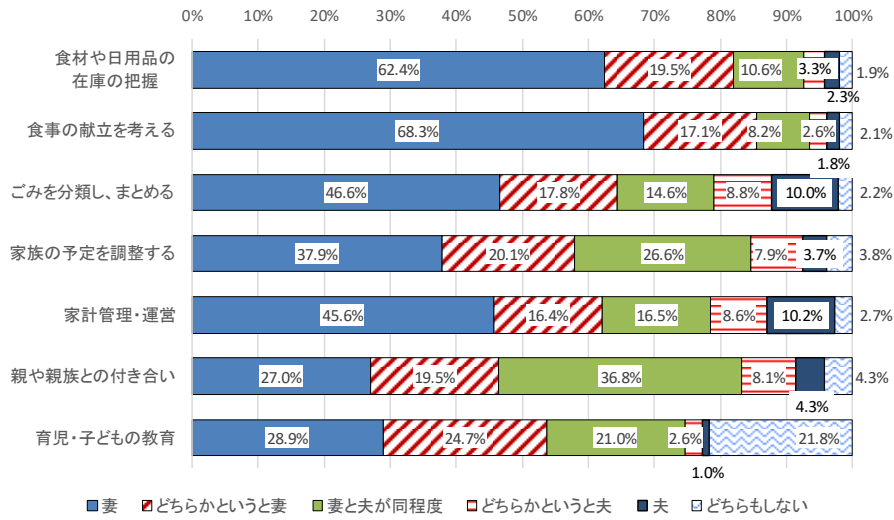
（妻年齢別・夫年齢別）

図表 11. 「夫」が行うという回答が最も多い「家計管理・運営」の分担

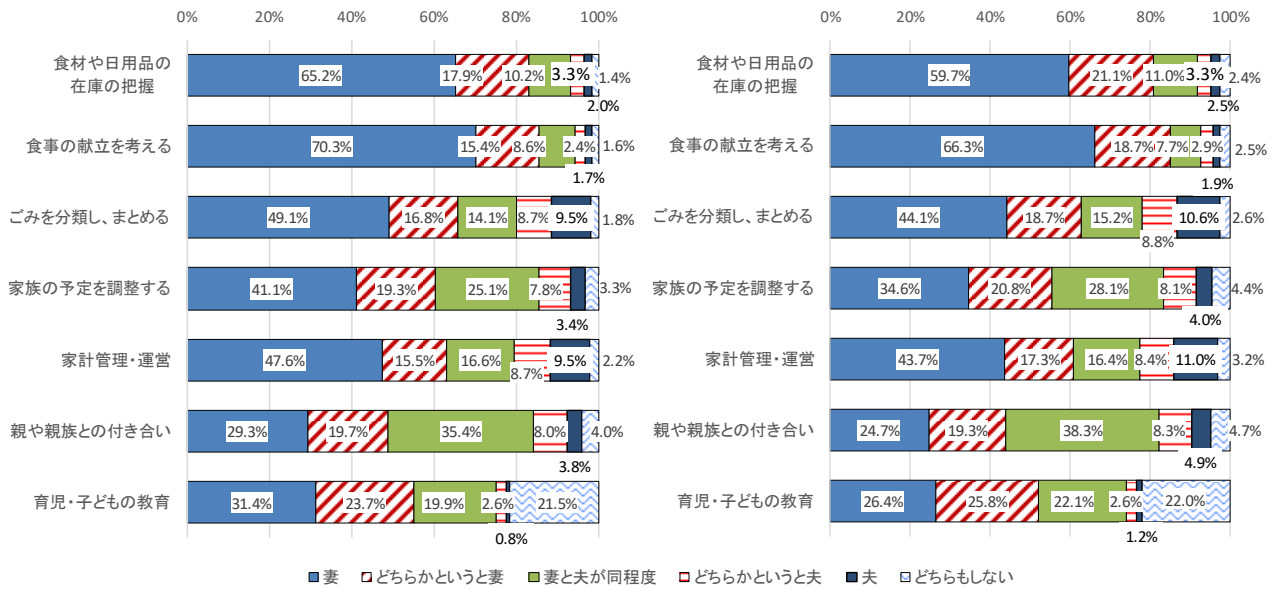
（妻年齢別・夫年齢別）

図表 8 家事・家庭マネジメントの分担（夫婦回答計、妻回答・夫回答）

<夫婦合算 n=10,972>

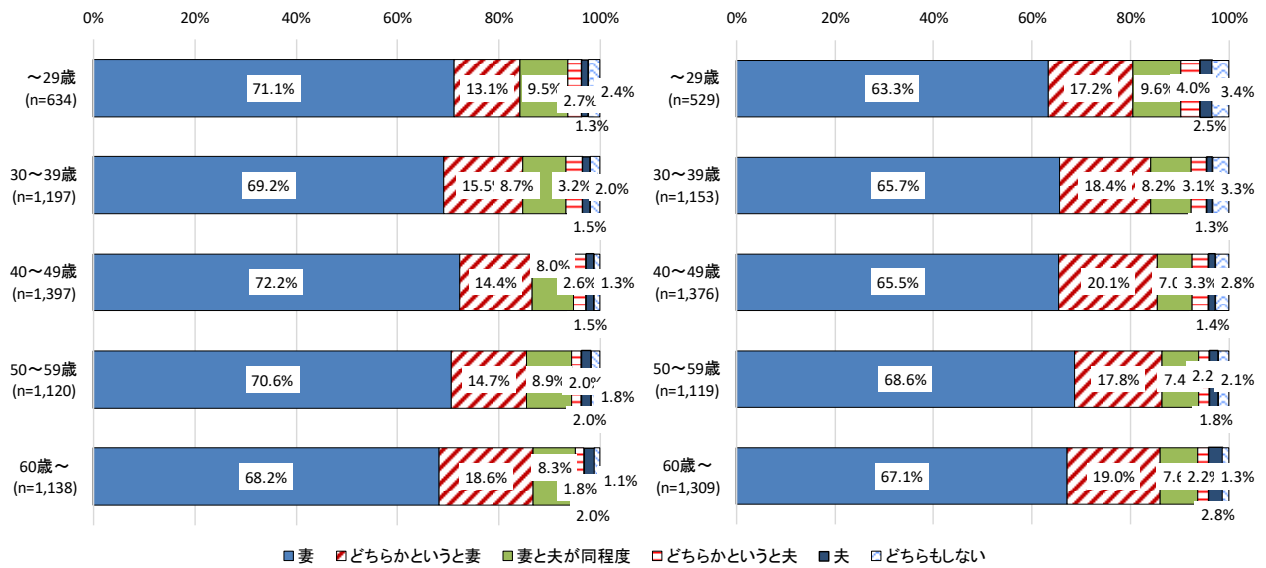


<妻回答（左） n=5,486、夫回答（右） n=5,486>



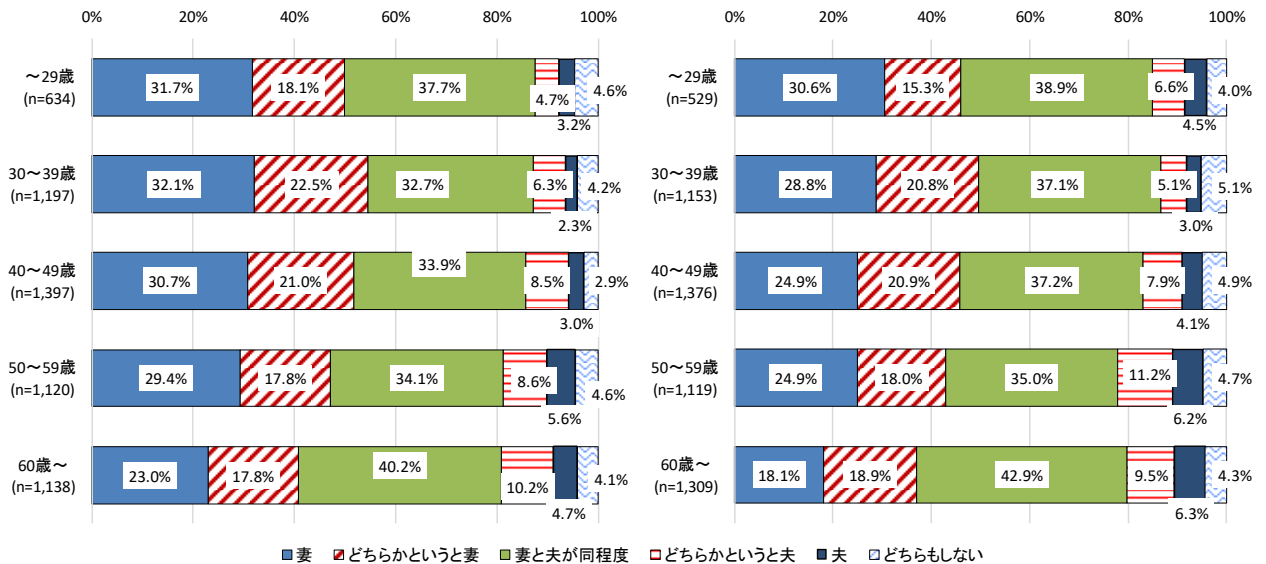
図表 9 「妻」が行うという回答が最も多い「食事の献立を考える」の分担
(妻年齢別・夫年齢別)

<妻回答(左)、夫回答(右)>



図表 10 「妻と夫が同程度」行うという回答が最も多い「親や親族との付き合い³」の分担
(妻年齢別・夫年齢別)

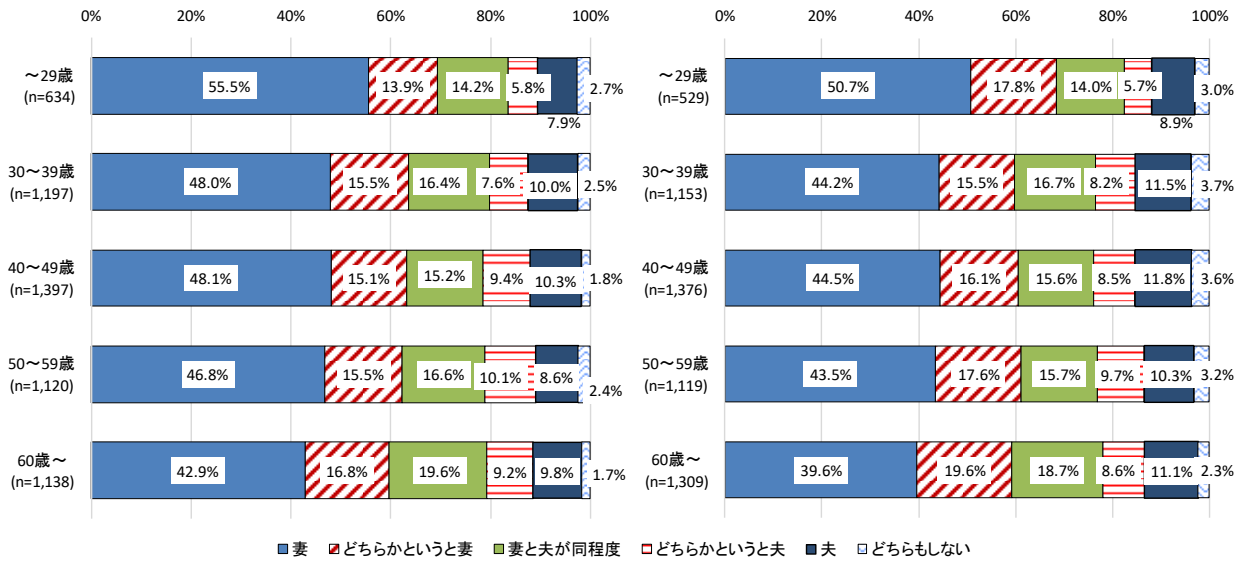
<妻回答(左)、夫回答(右)>



³ 「親や親族との付き合い」は、妻側・夫側の親・親族かは区別していない。

図表 11 「夫」が行うという回答が最も多い「家計管理・運営」の分担
(妻年齢別・夫年齢別)

<妻回答(左)、夫回答(右)>



【分析結果】

ア. 全体的状況<図表 8 参照>

- ・ いずれの項目も、「妻」「どちらかという妻」の合計は、おおむね5割以上である。特に「食材や日用品の在庫の把握」「食事の献立を考える」は、「妻」とする回答が6割を超え、「どちらかという妻」という回答もあわせると8割を超える。
- ・ 「妻と夫が同程度」とする回答が多いのは、「親や親族との付き合い」(36.8%)「家族の予定を調整する」(26.6%)である。
- ・ 「夫」「どちらかという夫」とする回答が他の項目に比べて多いのは、「家計管理・運営」(10.2%+8.6%)「ごみを分類し、まとめる」(10.0%+8.8%)である。

イ. 妻回答と夫回答の比較<図表 8 参照>

- ・ 「妻」とする回答は、回答者が妻である方が、いずれの項目についても5%程度高い。

ウ. 年齢別状況<図表 9~図表 11 参照>

- ・ 必ずしも若い年代で妻と夫が平等に分担するともいえない。

2. 仕事等時間の長さや家事等への参画の関係～ともにフルタイム就業の夫婦で比較

【分析の視点】

- 夫婦ともにフルタイム就業⁴をしていた場合の家事時間・分担割合（家事）・育児時間・分担割合（育児）を夫婦で比較

★分析③★

図表 12. フルタイム就業をしている夫婦の家事・育児時間・分担割合（夫婦別）

図表 13. うち夫婦のみ世帯の夫婦の家事時間・分担割合（夫婦別）

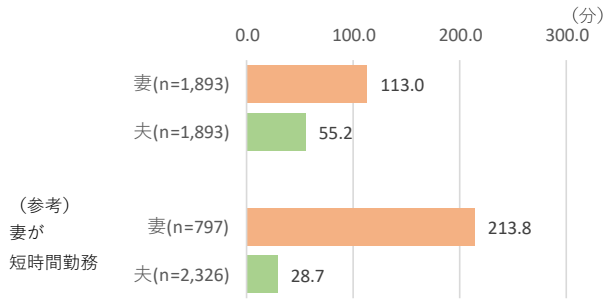
図表 14. うち6歳未満の子を持つ夫婦の家事・育児時間・分担割合（夫婦別）

⁴ ここでの「フルタイム就業」とは、「ふだんの勤務形態についてお答えください」という質問に対して「フルタイムで始業時間が固定されている」「フルタイムで始業時間などを選択できる（裁量労働、フレックスタイムなど）」「フルタイムで始業時間などが会社の都合で決められている（交代制勤務など）」と回答した者を指す。

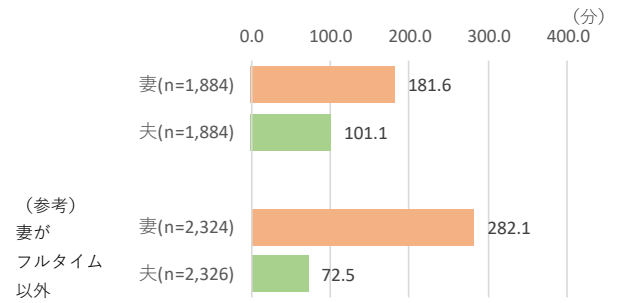
図表 12 フルタイム就業をしている夫婦の家事・育児時間・分担割合（夫婦別）⁵

【家事時間】

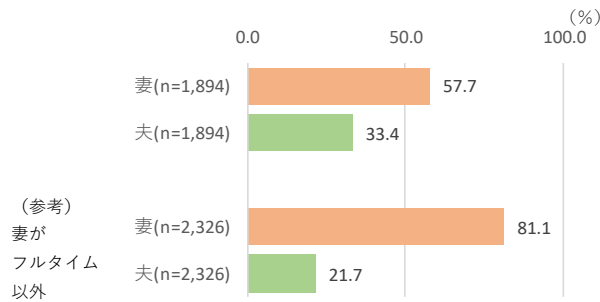
<仕事のある日>



<仕事のない日>

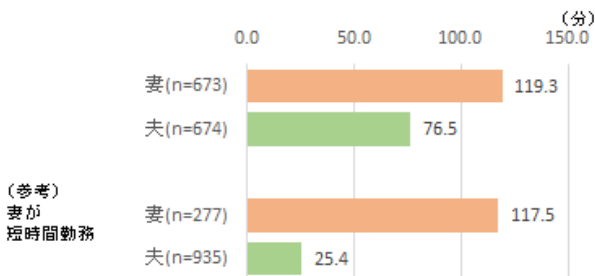


<分担割合>

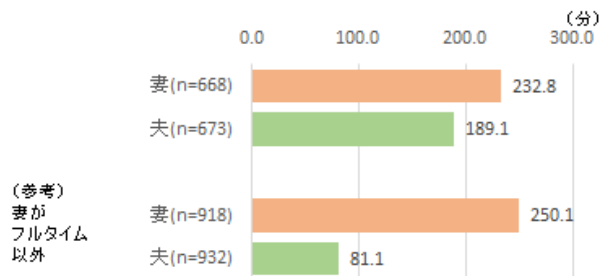


【育児時間】 ※子供のいる世帯のみ

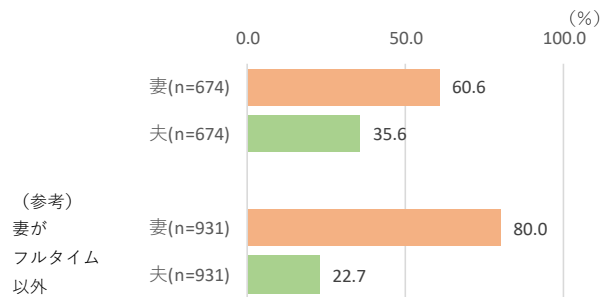
<仕事のある日>



<仕事のない日>



<分担割合>

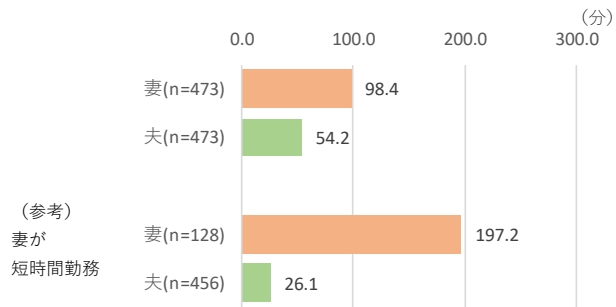


⁵ ここでの「フルタイム以外」とは、「短時間勤務」、「仕事をしていない（家事）」「仕事をしていない（通学）」「仕事をしていない（その他）」と回答した者を指す。

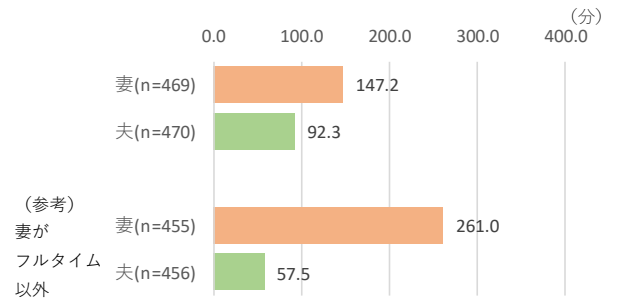
図表 13 うち夫婦のみ世帯の夫婦の家事・育児時間・分担割合（夫婦別）

【家事時間】

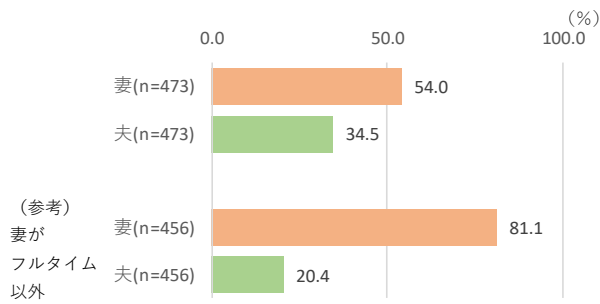
<仕事のある日>



<仕事のない日>



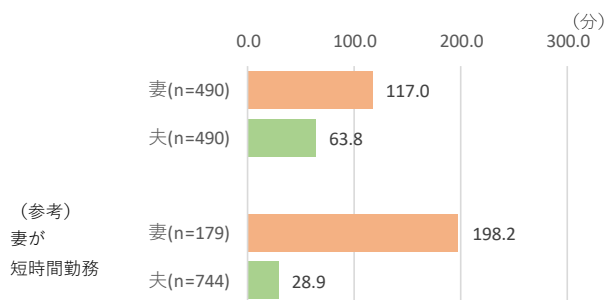
<分担割合>



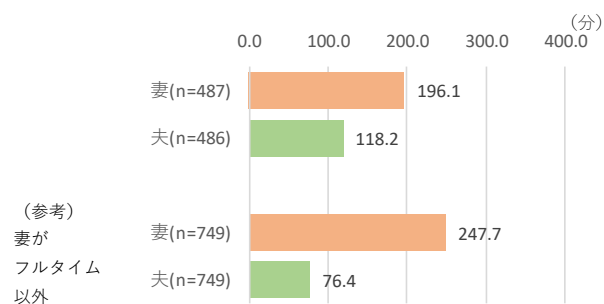
図表 14 うち6歳未満の子を持つ夫婦の家事・育児時間・分担割合（夫婦別）

【家事時間】

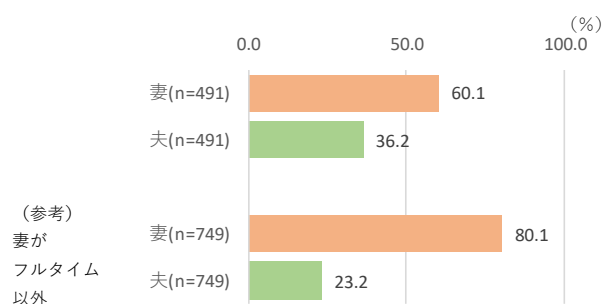
＜仕事のある日＞



＜仕事のない日＞

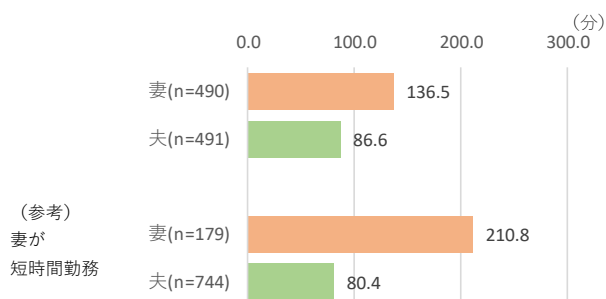


＜分担割合＞

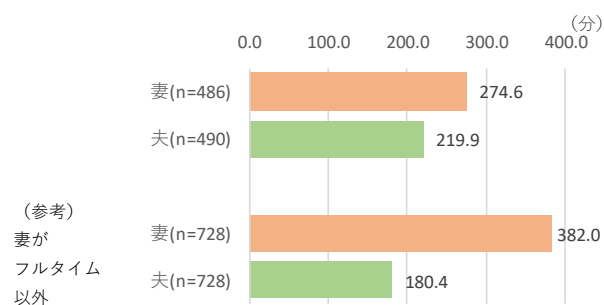


【育児時間】

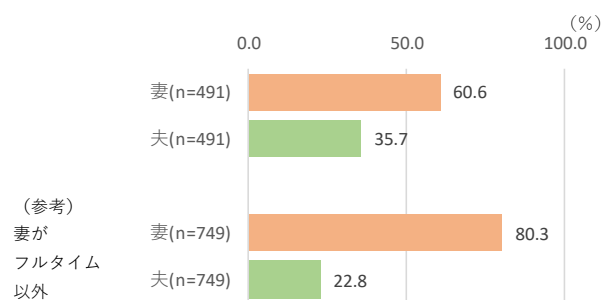
＜仕事のある日＞



＜仕事のない日＞



＜分担割合＞



【分析結果】

① フルタイム就業夫婦の特徴<図表 12 参照>

- ・ 夫婦ともにフルタイム就業であっても、仕事のある日の家事時間は、妻は夫の 2.0 倍程度であり、仕事のない日でも 1.8 倍程度である。ただし、妻がフルタイム以外の夫婦より、仕事のある日も仕事のない日も夫婦間の差は小さい。
- ・ 妻がフルタイム以外の夫婦は、仕事のない日の家事時間を比較すると、妻は夫の 3.9 倍程度である。
- ・ 育児時間については、家事時間と比較すると夫婦間の差は縮小し、仕事のない日の育児時間の夫婦間の差は 40 分程度となる。一方、妻がフルタイム以外の夫婦は、仕事のない日の育児時間についても家事時間同様に夫婦間の差は大きく、妻は夫の 3.1 倍程度である。

② フルタイム就業夫婦のうち、夫婦のみ世帯の夫婦、6 歳未満の子を持つ夫婦の特徴<図表 13~図表 14 参照>

- ・ 「夫婦のみ世帯」の家事時間については、フルタイム就業夫婦全体よりも、家事時間が減少し夫婦間の差はわずかに縮小する。
- ・ 6 歳未満の子を持つ世帯の家事時間については、フルタイム就業夫婦全体よりも、家事時間が増加し夫婦間の差はわずかに縮小する。
- ・ 「夫婦のみ世帯」の夫婦であっても、6 歳未満の子を持つ夫婦であっても、妻がフルタイム以外の夫婦と比較すると、夫婦間の差は小さい。なお、フルタイム就業の夫婦のうちで比較すると、夫婦間の差はわずかにしか変わらない。

3. 小学校3年生以下の子供がいる夫婦

(1) 家事・育児内容

【分析の視点】

- 末子年齢別に見る夫婦の家事・育児の実施頻度、分担割合の比較

★分析④★ 夫婦の家事・育児の実施頻度

★分析⑤★ 夫婦の家事・育児の分担割合

図表 15. 0～2歳児がいる夫婦の家事実施頻度（夫婦別）

図表 16. " 育児実施頻度（夫婦別）

図表 17. " 家事分担割合・育児分担割合（夫婦別）

図表 18. 3歳児～就学前の子がいる夫婦の家事実施頻度（夫婦別）

図表 19. " 育児実施頻度（夫婦別）

図表 20. " 家事分担割合・育児分担割合（夫婦別）

図表 21. 小学1～3年生の子がいる夫婦の家事実施頻度（夫婦別）

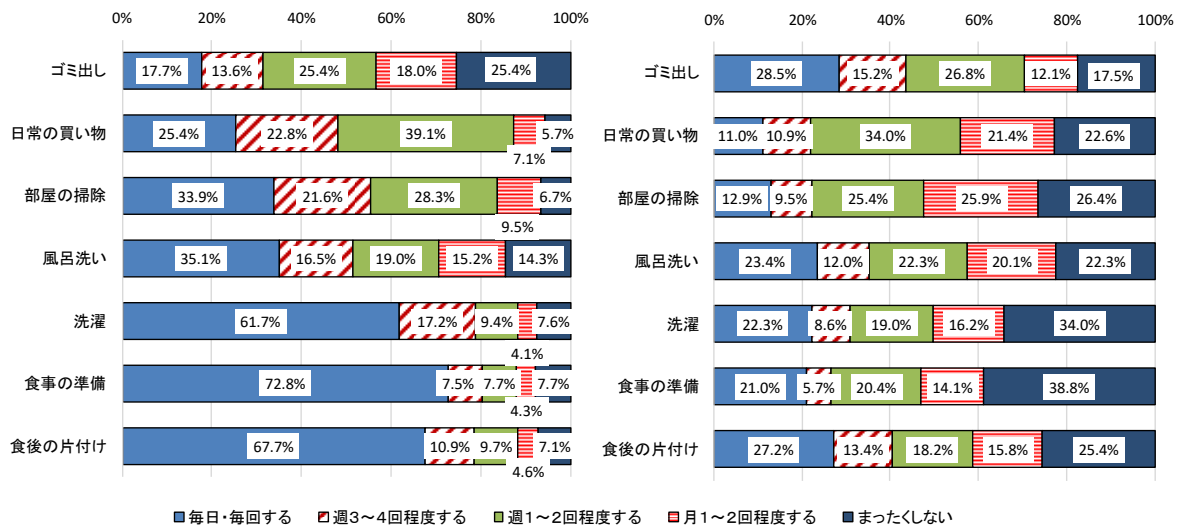
図表 22. " 育児実施頻度（夫婦別）

図表 23. " 家事分担割合・育児分担割合（夫婦別）

図表 15 0～2歳児がいる夫婦の家事実施頻度（夫婦別）（左：妻、右：夫）

妻：n=990

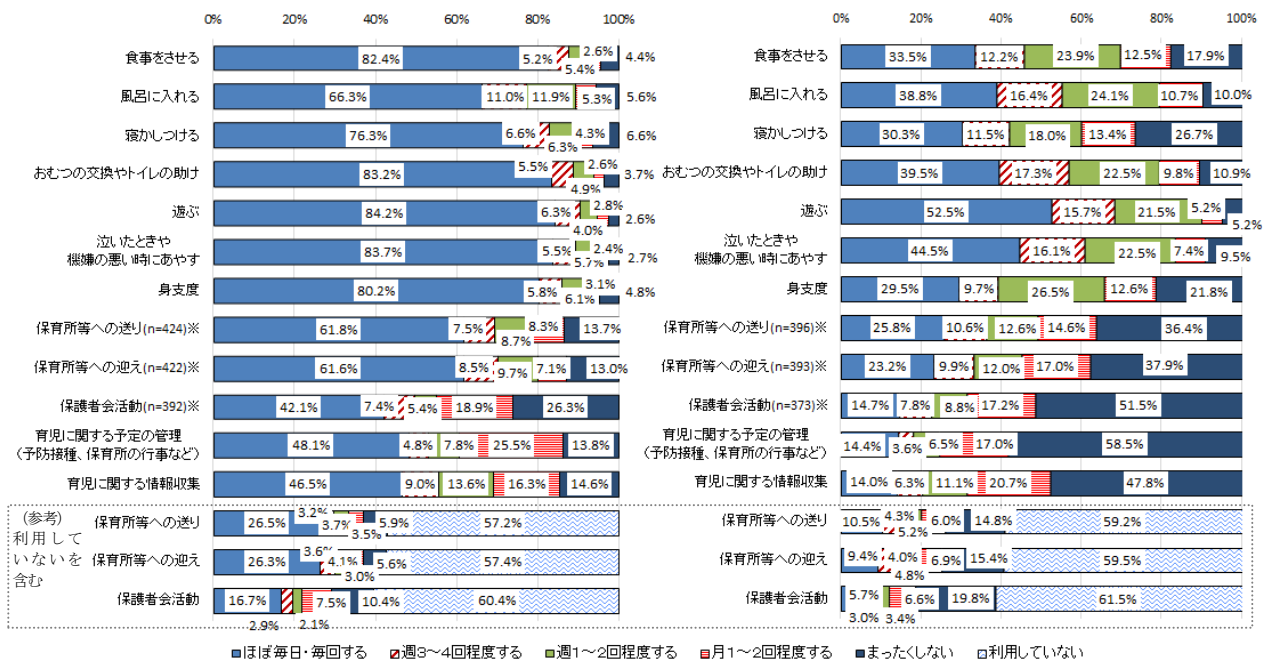
夫：n=970



図表 16 0～2歳児がいる夫婦の育児実施頻度（夫婦別）（左：妻、右：夫）

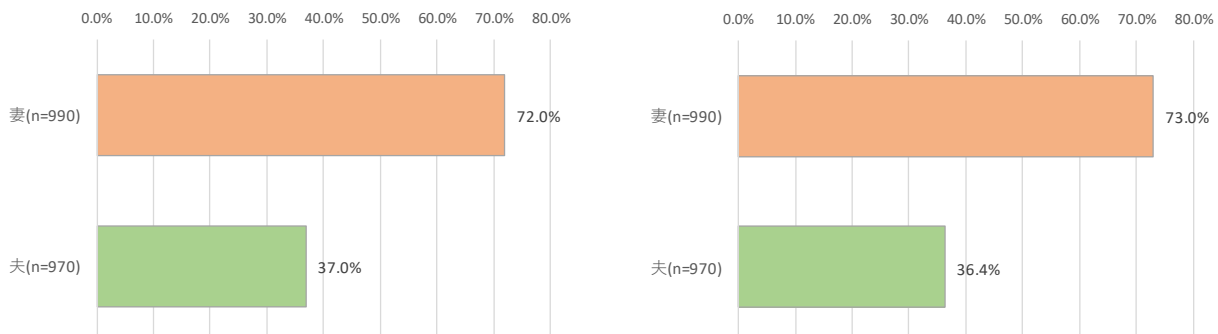
妻：n=990

夫：n=970



※「保育所等への送り」「保育所等への迎え」「保護者会活動」は利用していないを除いた集計

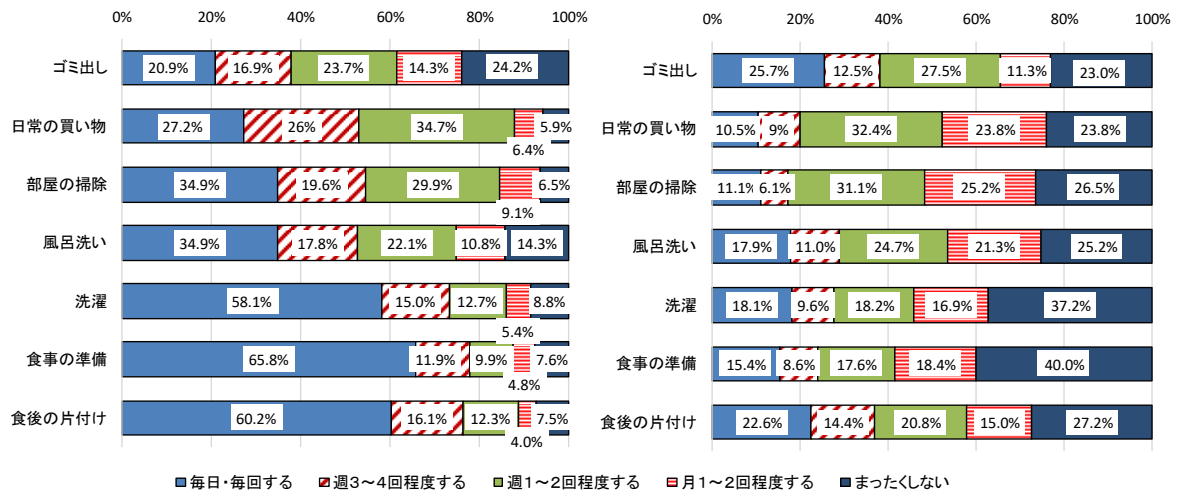
図表 17 0～2歳児がいる夫婦の家事分担割合（左）・育児分担割合（右）（夫婦別）



図表 18 3歳児～就学前の子がいる夫婦の家事実施頻度（夫婦別）（左：妻、右：夫）

妻：n=628

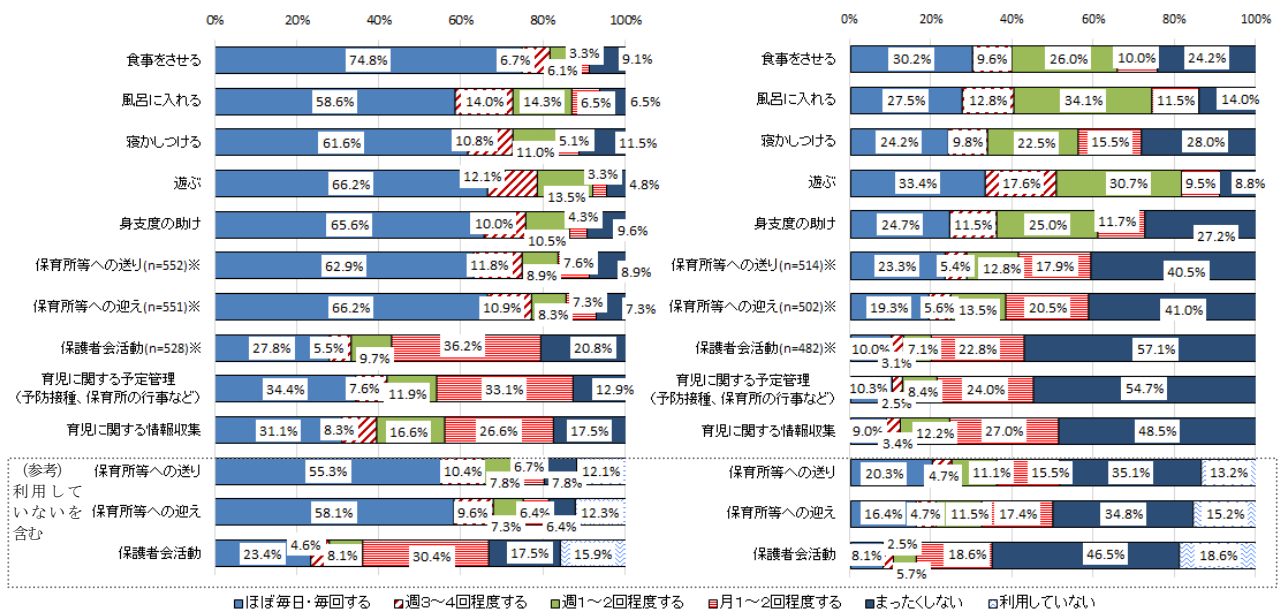
夫：n=592



図表 19 3歳児～就学前の子がいる夫婦の育児実施頻度（夫婦別）（左：妻、右：夫）

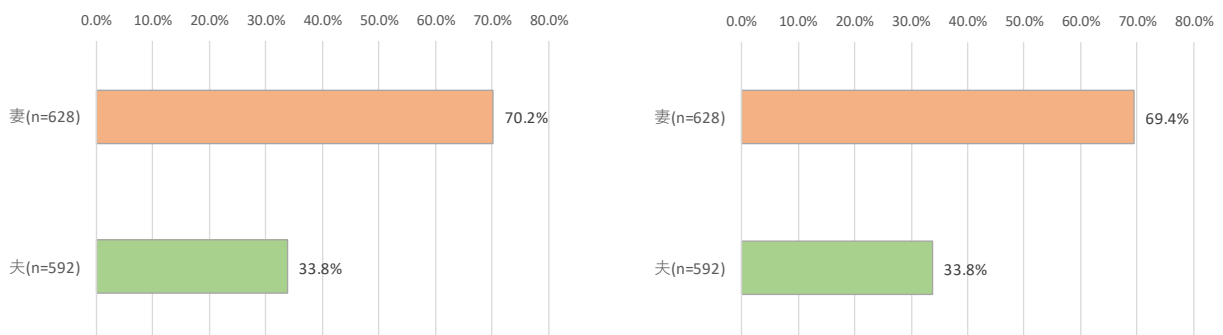
妻：n=628

夫：n=592

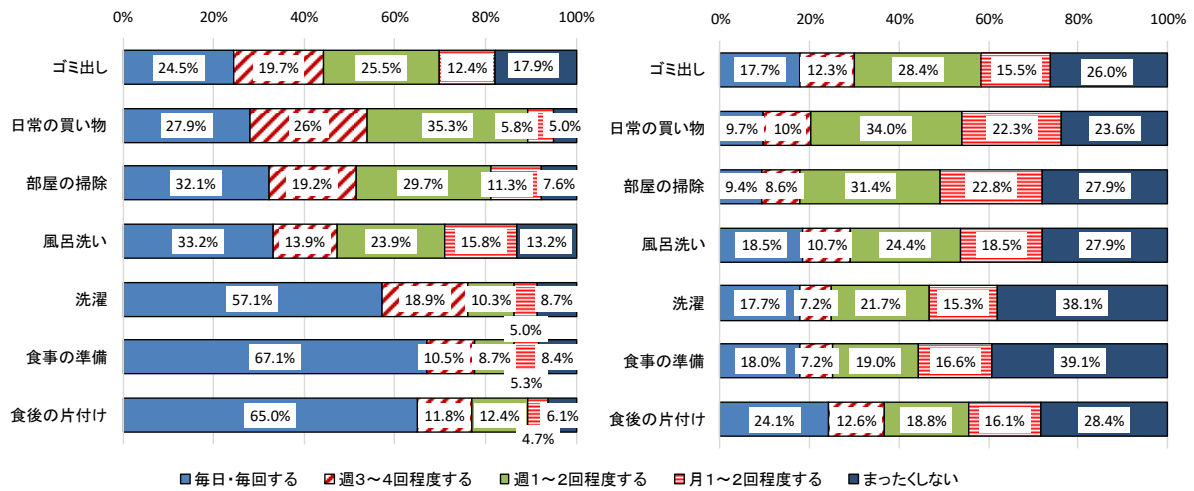


※「保育所等への送り」「保育所等への迎え」「保護者会活動」は利用していないを除いた集計

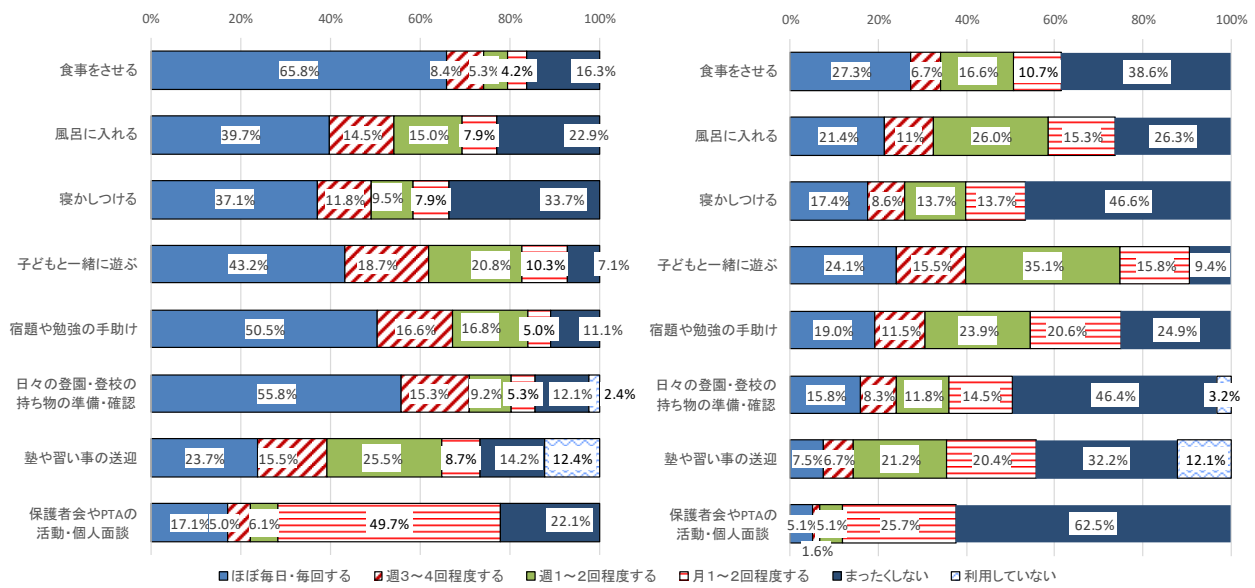
図表 20 3歳児～就学前の子がいる夫婦の家事分担割合（左）・育児分担割合（右）（夫婦別）



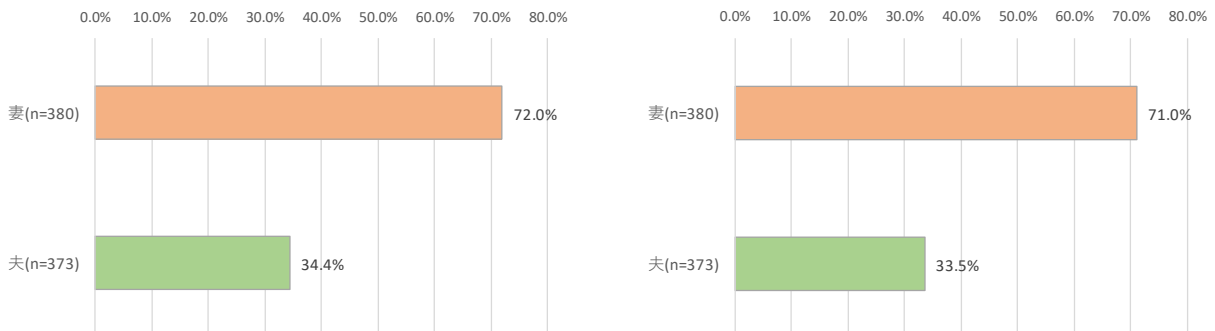
図表 21 小学1～3年生の子がいる夫婦の家事実施頻度（夫婦別）（左：妻、右：夫）
 妻：n=380 夫：n=373



図表 22 小学1～3年生の子がいる夫婦の育児実施頻度（夫婦別）（左：妻、右：夫）
 妻：n=380 夫：n=373



図表 23 小学1～3年生の子がいる夫婦の家事分担割合（左）・育児分担割合（右）（夫婦別）



【分析結果】

① 末子が0～2歳児の夫婦<図表 15～図表 17 参照>

ア. 家事の状況

- ・ 実施状況が夫婦で特に異なるのが「洗濯」「食事の準備」「食後の片付け」であり、妻は「毎日・毎回する」とする回答が6～7割に上っているのに対し、夫は2～3割程度にとどまる。
- ・ 妻の「全くしない」という回答が多いのは「ゴミ出し」(25.4%)である。「ゴミ出し」は、「毎日・毎回する」とする夫の回答割合(28.5%)が、妻(17.7%)よりも高い唯一の項目である。
- ・ 夫は、いずれの項目についても「まったくしない」とする回答が多い。特に多いのは、「食事の準備」(38.8%)、「洗濯」(34.0%)、「部屋の掃除」(26.4%)である。

イ. 育児の状況

- ・ 日常的な世話(「食事をさせる」から順に「身支度」までの項目)について、妻の「ほぼ毎日・毎回する」とする回答割合がおおむね7～8割に上っている。夫の「ほぼ毎日・毎回する」の回答割合は、「遊ぶ」(52.5%)を除き、約3～4割である。夫の場合、「週3～4回する」(9.7%～17.3%)、「週1～2回程度する」(18.0%～26.5%)が一定数ある。
- ・ 「保育所等への送り」「保育所等への迎え」について、「利用していない」と回答した人を除いて、「ほぼ毎日・毎回する」の回答割合を見てみると、妻は約6割強、夫は約3割弱となっている。「保護者会活動」の場合は、妻が約4割強、夫が約2割弱である。
- ・ 「育児に関する予定の管理」「育児に関する情報収集」について、「ほぼ毎日・毎回する」の回答割合は、妻が5割弱程度、夫が1割強程度である。また、いずれも夫の5割近くが「まったくしない」と回答しており、夫の「まったくしない」の回答割合は、「寝かしつける」(26.7%)、「身支度」(21.8%)、「食事をさせる」(17.9%)も高いが、この2項目の割合が特に高い。

② 末子が3歳児～就学前の子の夫婦<図表 18～図表 20 参照>

ア. 家事の状況

- ・ 実施状況が夫婦で特に異なるのが「洗濯」「食事の準備」「食後の片付け」であり、妻は「毎日・毎回する」とする回答がおおむね6～7割に上っているのに対し、夫は15.4%(「食事の準備」)～22.6%(「食後の片付け」)にとどまる。妻の「まったくしない」という回答が多いのは「ゴミ出し」(24.2%)であるが、夫の「まったくしない」とする回答割合と同程度である。
- ・ 夫は、いずれの項目についても「まったくしない」とする回答が多い。特に多いのは、「食事の準備」(40.0%)、「洗濯」(37.2%)、「食後の片付け」(27.2%)である。

イ. 育児の状況

- ・ 日常的な世話(「食事をさせる」から順に「身支度の助け」までの項目)について、妻の「ほぼ毎日・毎回する」とする回答割合がおおむね6～7割に上っている。夫の「ほぼ毎日・毎回する」の回答割合は、2割台半ば～約3割である。夫の場合、「週1～2回程度する」(22.5%～34.1%)が一定数ある。
- ・ 「保育所等への送り」「保育所等への迎え」について、(保育所を)「利用していない」と

回答した人を除いて、「ほぼ毎日・毎回する」の回答割合を見てみると、妻は約6割、夫は約2～3割となっている。「保護者会活動」の場合は、妻が27.8%、夫が10.0%、「月1～2回程度する」の回答割合が、妻が36.2%、夫が22.8%である。

- ・ 「育児に関する予定の管理」「育児に関する情報収集」について、「ほぼ毎日・毎回する」の回答割合は、妻がそれぞれ34.4%、31.1%、夫がそれぞれ10.3%、9.0%である。また、いずれも夫の5割近くが「まったくしない」と回答している。

③ 末子が小学1～3年生の夫婦<図表 21～図表 23 参照>

ア. 家事の状況

- ・ 実施状況が夫婦で特に異なるのが「洗濯」「食事の準備」「食後の片付け」であり、妻は「毎日・毎回する」とする回答が6～7割に上っているのに対し、夫は17.7%（「洗濯」）～24.1%（「食後の片付け」）にとどまる。妻の「まったくしない」という回答が多いのは「ゴミ出し」（17.9%）であるが、夫の「まったくしない」とする回答割合より低い。
- ・ 夫は、いずれの項目についても「まったくしない」とする回答が多い傾向にある。特に多いのは、「食事の準備」（39.1%）、「洗濯」（38.1%）、「食後の片付け」（28.4%）である。

イ. 育児の状況

- ・ 日常的な世話（「食事をさせる」から順に「日々の登園・登校の持ち物の準備・確認」までの項目）については、妻の「ほぼ毎日・毎回する」とする回答割合は、高いものから順に、「食事をさせる」（65.8%）、「日々の登園・登校の持ち物の準備・確認」（55.8%）、「宿題や勉強の手助け」（50.5%）となっている。夫はそれぞれ、27.3%、15.8%、19.0%である。これらの育児項目は、夫の「まったくしない」とする回答割合が高く、「食事をさせる」が38.6%、「日々の登園・登校の持ち物の準備・確認」が46.4%、「宿題や勉強の手助け」が24.9%となっている。
- ・ 夫の「まったくしない」の回答割合が最も高いのは「保護者会やPTAの活動・個人面談」（62.5%）である。

④ 全体的状況

ア. 子の年齢に関わらず共通する点

- ・ 家事・育児の分担割合（回答者平均）は、妻は7割程度と回答し、夫は3割程度（末子が0～2歳児の場合は家事が37.0%、育児が36.4%でやや高い）と回答している。
- ・ 家事については、「洗濯」「食事の準備」「食後の片付け」の実施が妻に集中し、これらは夫の「まったくしない」の回答割合も高い項目となっている。
- ・ 育児については、日常的な世話は妻が担い、夫は週に1～2回又は月に1～2回など、限られた頻度で関わっている。
- ・ 育児について、夫の「まったくしない」の回答割合が特に高いのは、就学前の「育児に関する予定の管理」「育児に関する情報収集」「保護者会活動」、小学1～3年生の「保護者会やPTAの活動・個人面談」である。

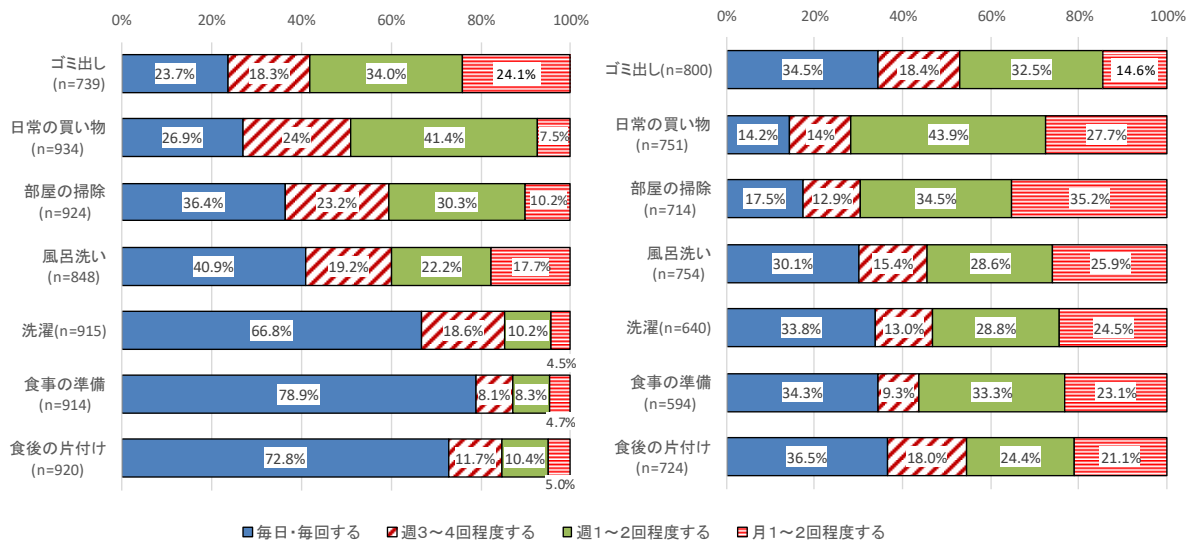
イ. 子の年齢により異なる点

- ・ 夫は子の年齢が低いほど育児に関わる傾向がある。
- ・ 日常的な世話の実施頻度は、子の年齢が高いほど少なくなる傾向にある。しかしながら、

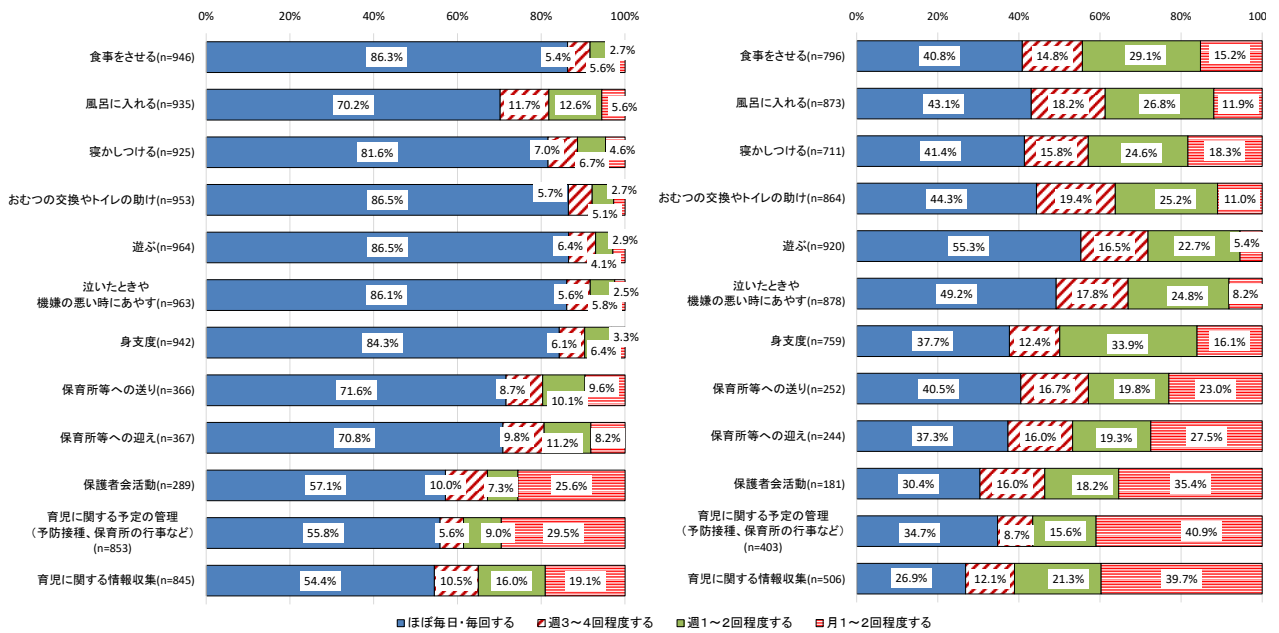
妻のみならず夫も実施頻度が減っているため、妻と夫の実施状況に差がある状況は継続している。また、子の年齢が高くなると必要になる「日々の登園・登校の持ち物の準備・確認」、「宿題や勉強の手助け」「保護者会やPTAの活動・個人面談」については、全くしない夫の割合が日常的な世話以上に高いため、妻の育児負担が子の成長により軽くなるとは必ずしもいえない。

参考：行動者のみで再集計

図表 24 0～2歳児がいる夫婦の家事実施頻度（夫婦別）（左：妻、右：夫） 行動者のみ

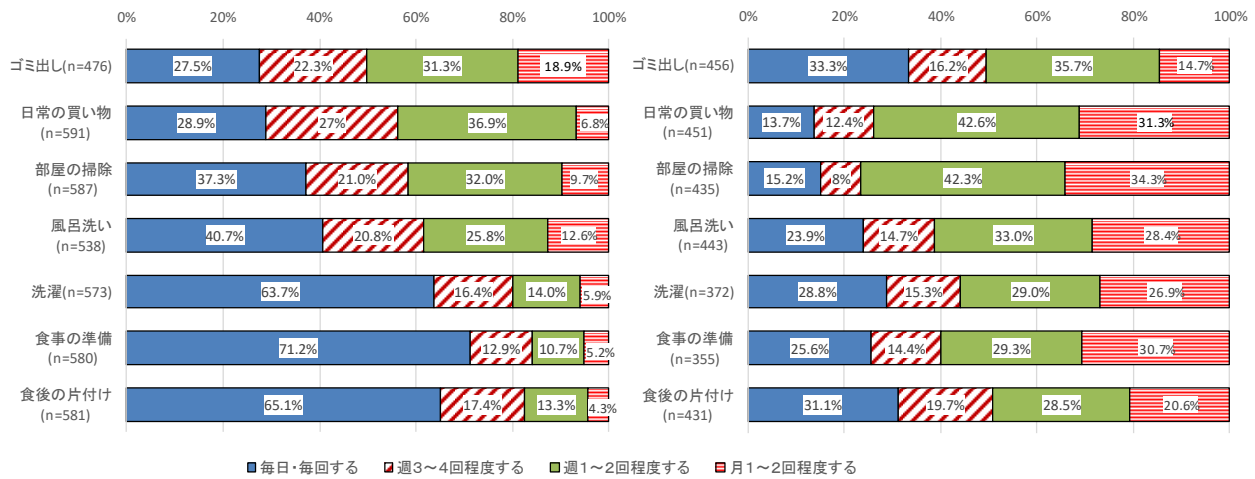


図表 25 0～2歳児がいる夫婦の育児実施頻度（夫婦別）（左：妻、右：夫） 行動者のみ



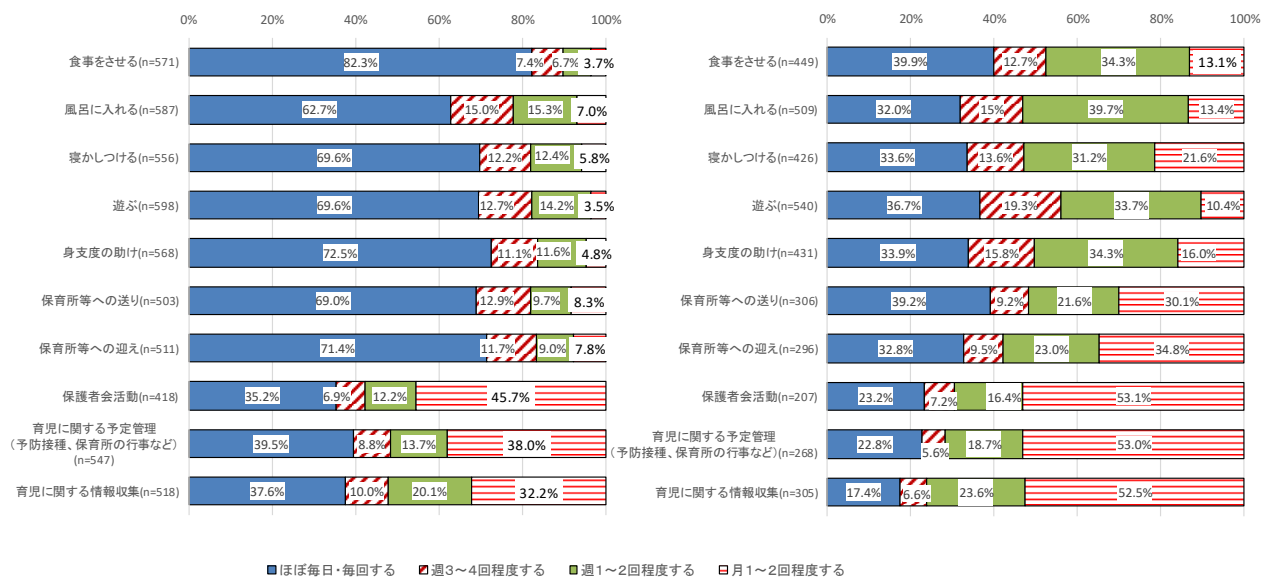
図表 26 3歳児～就学前の子がいる夫婦の家事実施頻度（夫婦別）（左：妻、右：夫）

行動者のみ



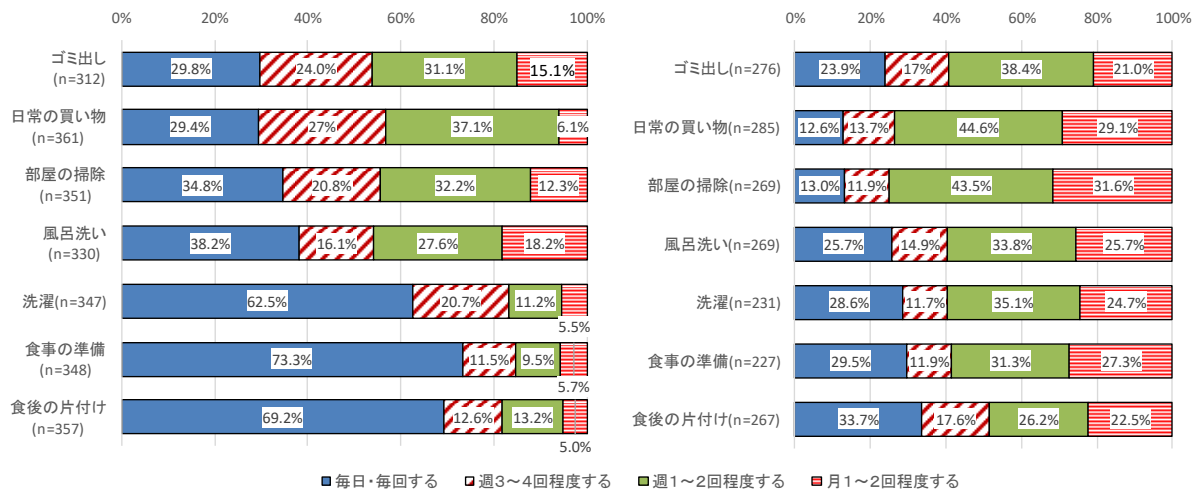
図表 27 3歳児～就学前の子がいる夫婦の親の育児実施頻度（夫婦別）（左：妻、右：夫）

行動者のみ



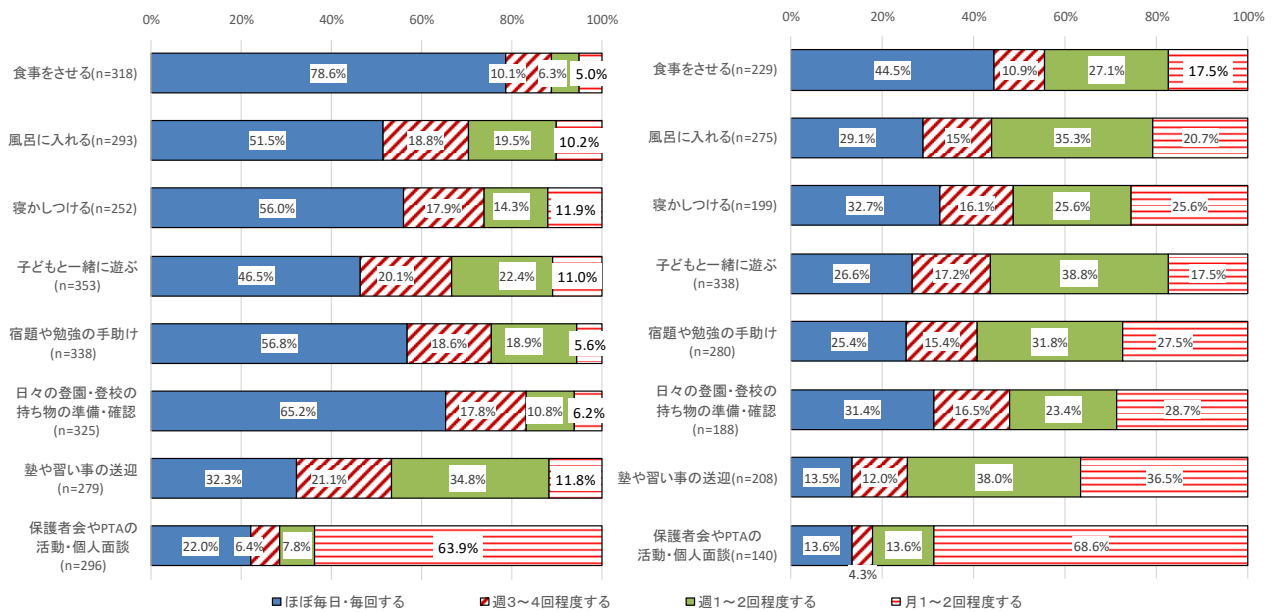
図表 28 小学1～3年生の子がいる夫婦の家事実施頻度（夫婦別）（左：妻、右：夫）

行動者のみ



図表 29 小学1～3年生の子がいる夫婦の育児実施頻度（夫婦別）（左：妻、右：夫）

行動者のみ



(2) 妻の就業状況による違い

【分析の視点】

- 夫の家事・育児の実施頻度及び分担割合を妻の就業状況により比較

★分析⑥★夫の家事・育児の実施頻度

★分析⑦★夫の家事・育児の分担割合

図表 30. 夫の家事実施頻度および夫の家事分担割合（夫回答）

（末子が0～2歳・妻の就業状況別）

図表 31. 夫の育児実施頻度および夫の育児分担割合（夫回答）

（末子が0～2歳・妻の就業状況別）

図表 32. 夫の家事実施頻度および夫の家事分担割合（夫回答）

（末子が3歳～就学前・妻の就業状況別）

図表 33. 夫の育児実施頻度および夫の育児分担割合（夫回答）

（末子が3歳～就学前・妻の就業状況別）

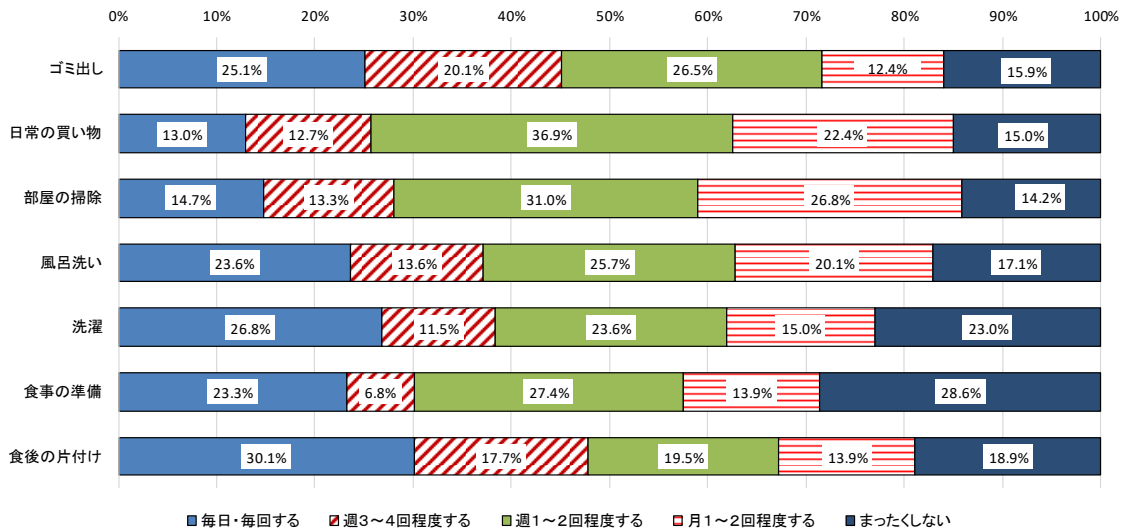
図表 34. 夫の家事実施頻度および夫の家事分担割合（夫回答）

（末子が小学1～3年生・妻の就業状況別）

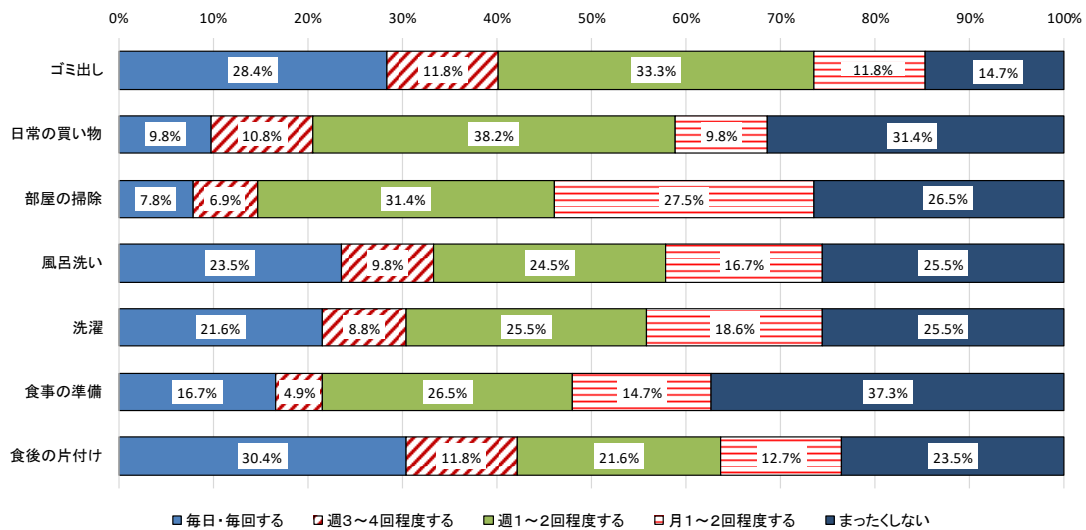
図表 35. 夫の育児実施頻度および夫の育児分担割合（夫回答）

（末子が小学1～3年生・妻の就業状況別）

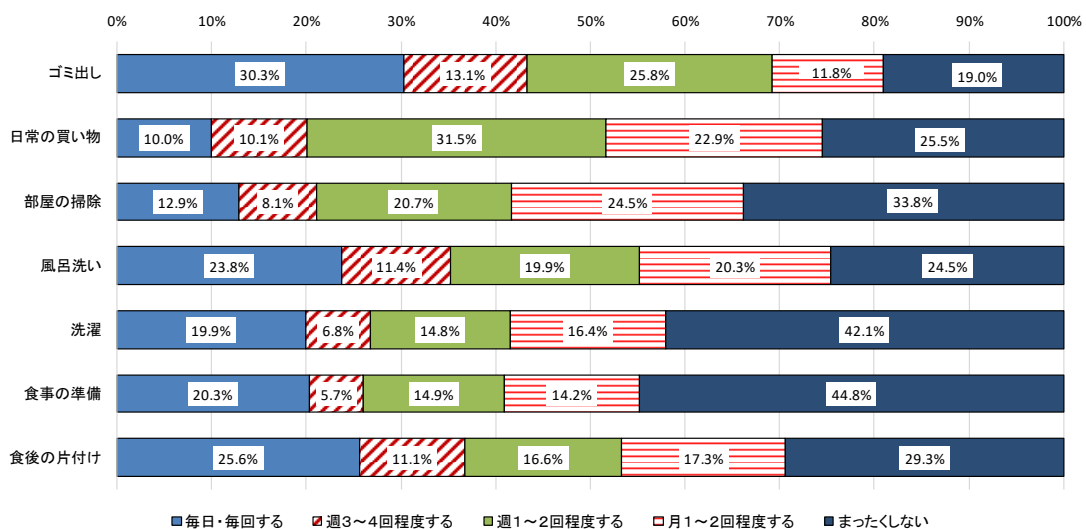
図表 30 夫の家事実施頻度（末子が0～2歳・妻の就業状況別）
 妻がフルタイム n=339 夫の分担割合⁶（平均）=40.6%



妻が短時間勤務 n=102 夫の分担割合（平均）=35.6%



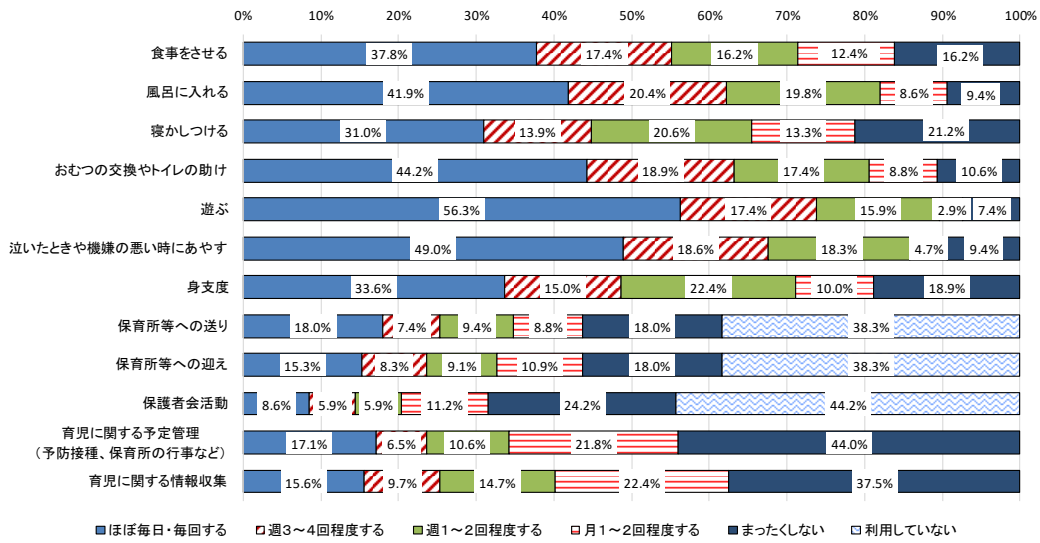
妻が無業 n=542 夫の分担割合（平均）=35.0%



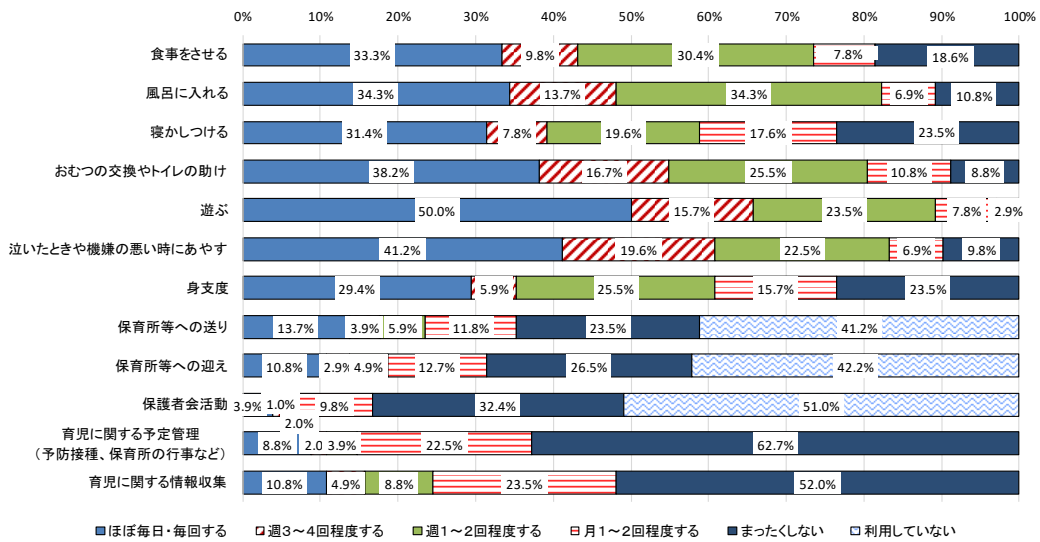
⁶ ここでの分担割合（平均）とは、当該家事の夫婦間での分担割合（全てを担っている場合を100%とする）についての回答の平均値を指す。次頁以降も同様である。

図表 31 夫の育児実施頻度（末子が0～2歳・妻の就業状況別）

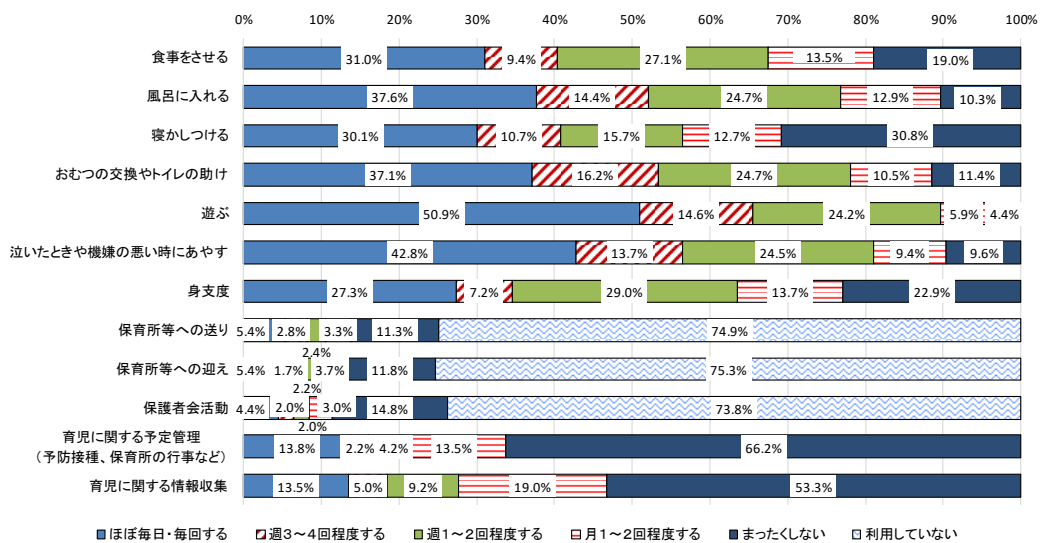
妻がフルタイム n=339 夫の分担割合（平均）=39.3%



妻が短時間勤務 n=102 夫の分担割合（平均）=32.7%

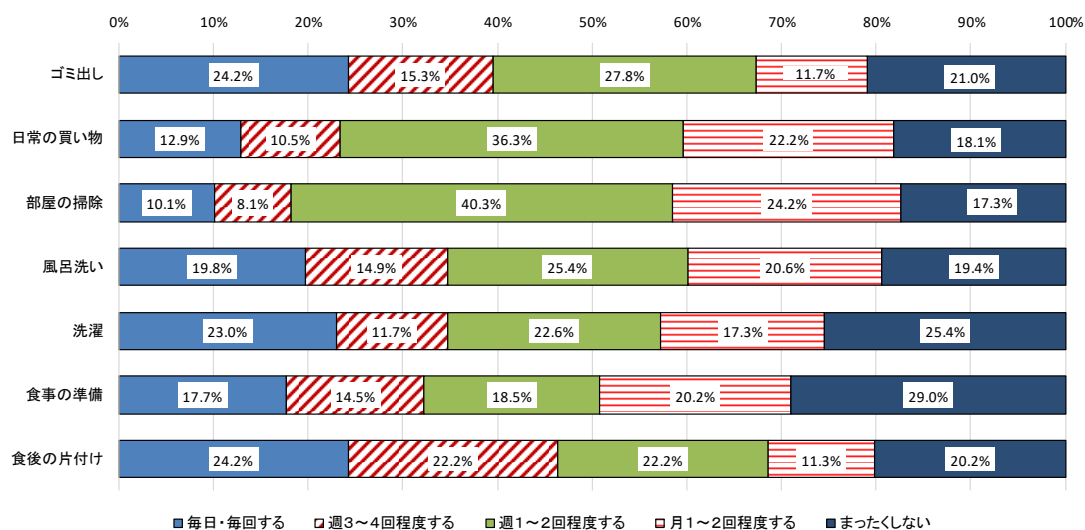


妻が無業 n=542 夫の分担割合（平均）=35.2%

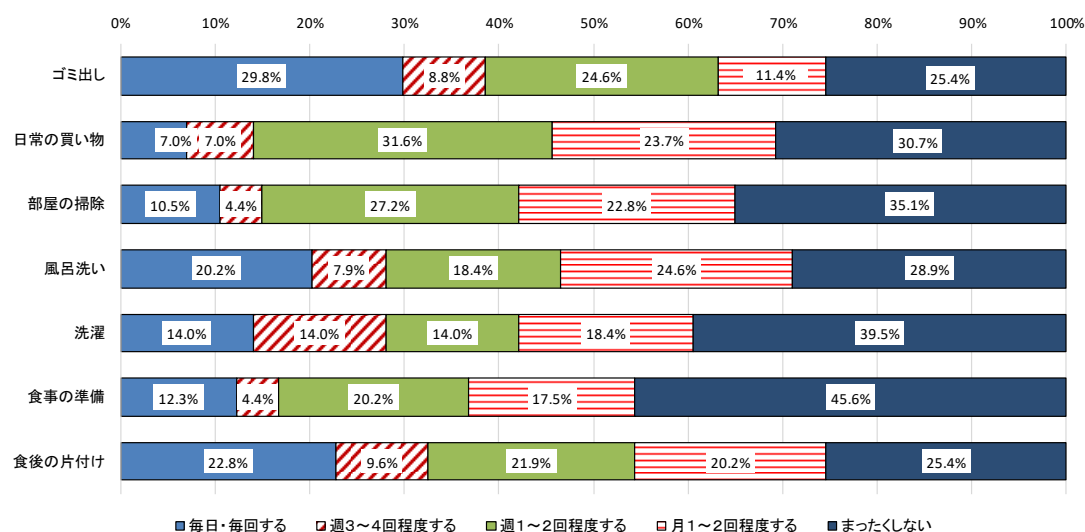


図表 32 夫の家事実施頻度（末子が3歳～就学前・妻の就業状況別）

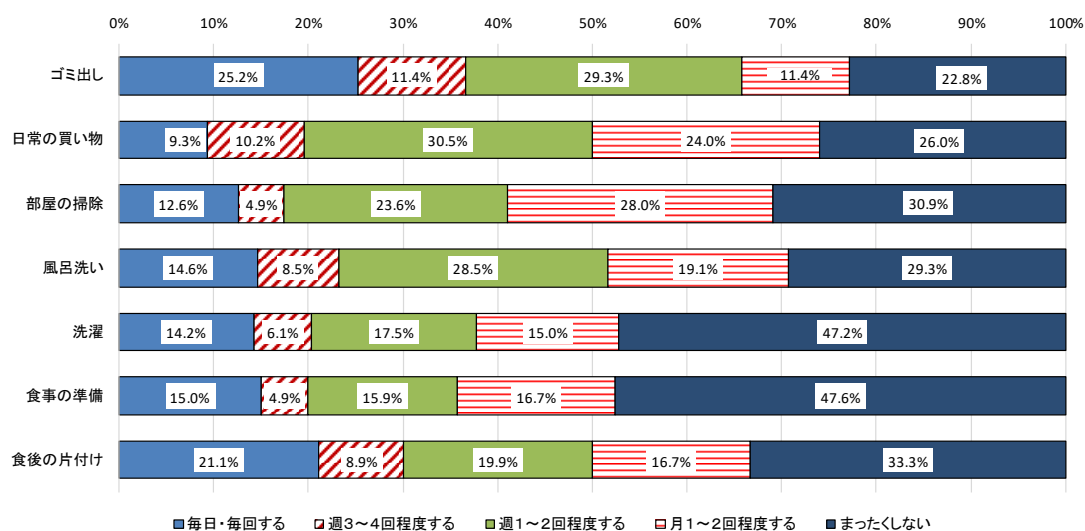
妻がフルタイム n=248 夫の分担割合（平均）=37.3%



妻が短時間勤務 n=114 夫の分担割合（平均）=32.1%

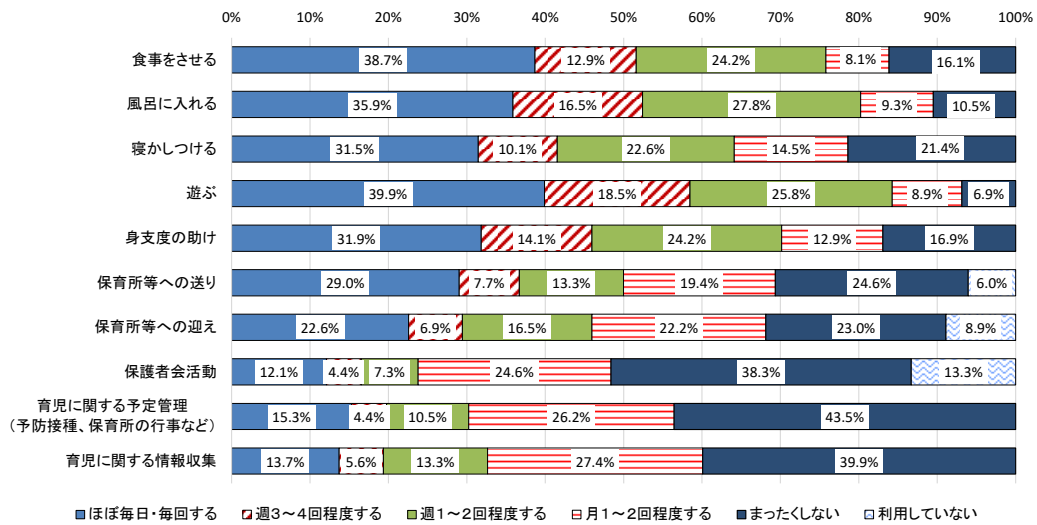


妻が無業 n=246 夫の分担割合（平均）=31.4%

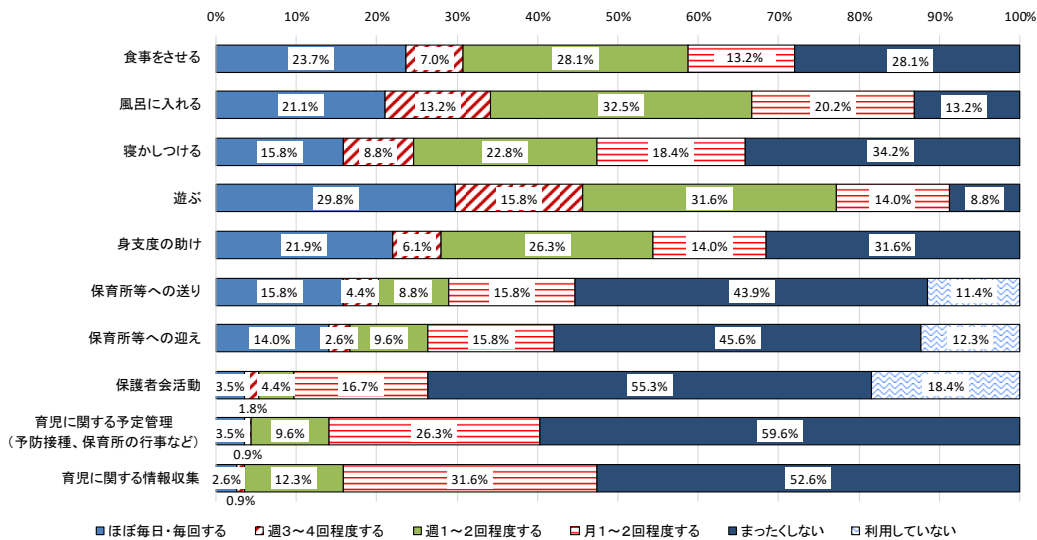


図表 33 夫の育児実施頻度（末子が3歳～就学前・妻の就業別）

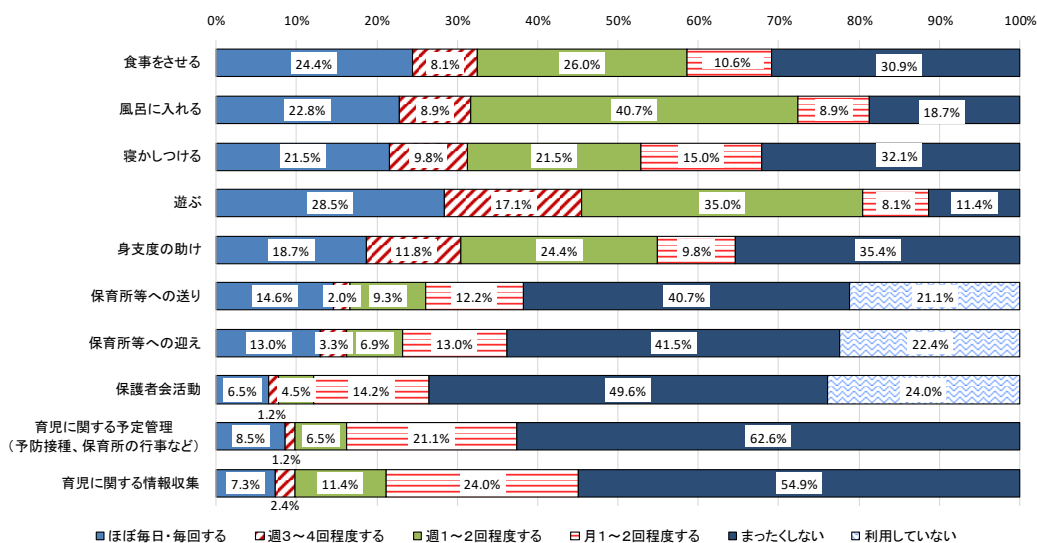
妻がフルタイム n=248 夫の分担割合（平均）=38.0%



妻が短時間勤務 n=114 夫の分担割合（平均）=32.1%

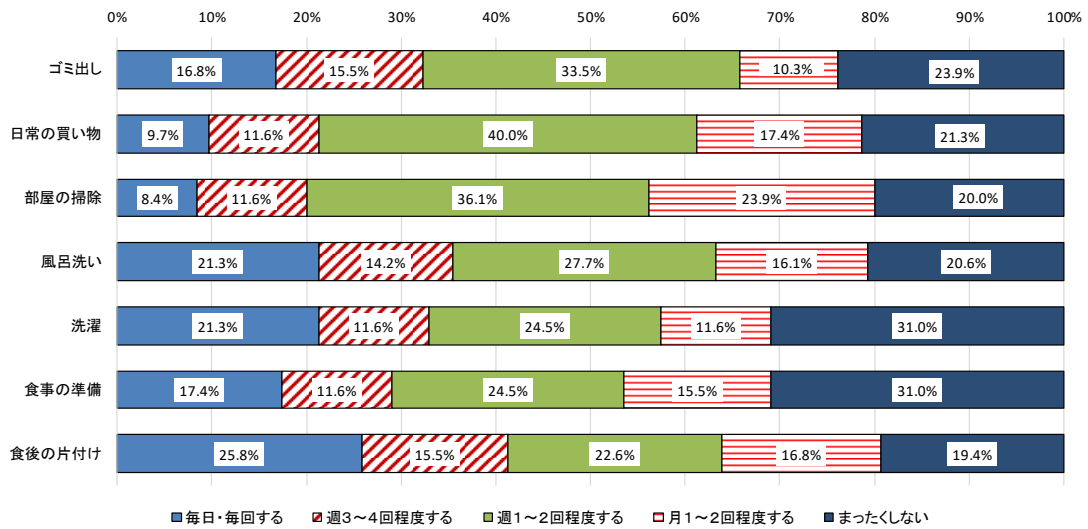


妻が無業 n=246 夫の分担割合（平均）=31.2%

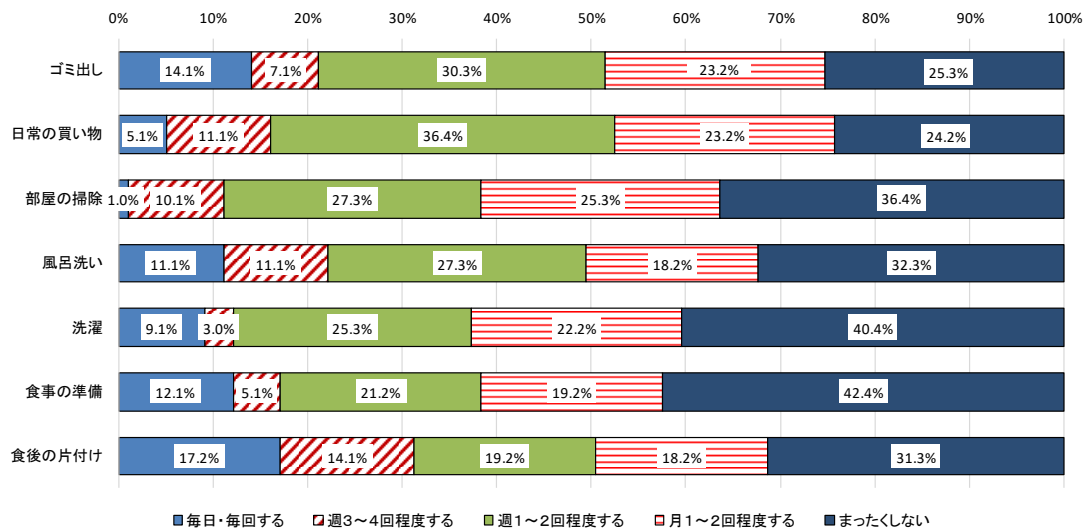


図表 34 夫の家事実施頻度（末子が小学1～3年生・妻の就業状況別）

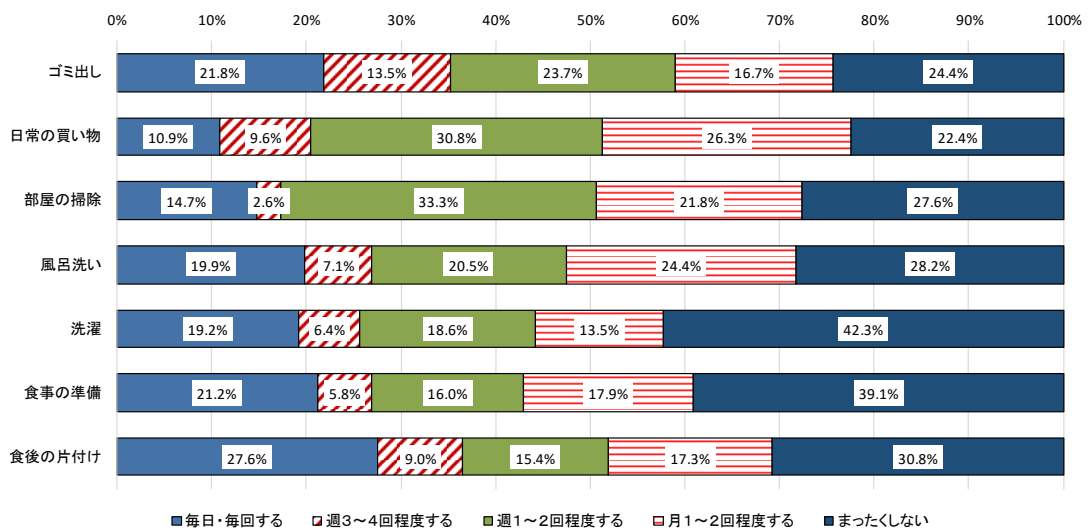
妻がフルタイム n=155 夫の分担割合（平均）=38.2%



妻が短時間勤務 n=99 夫の分担割合（平均）=25.2%

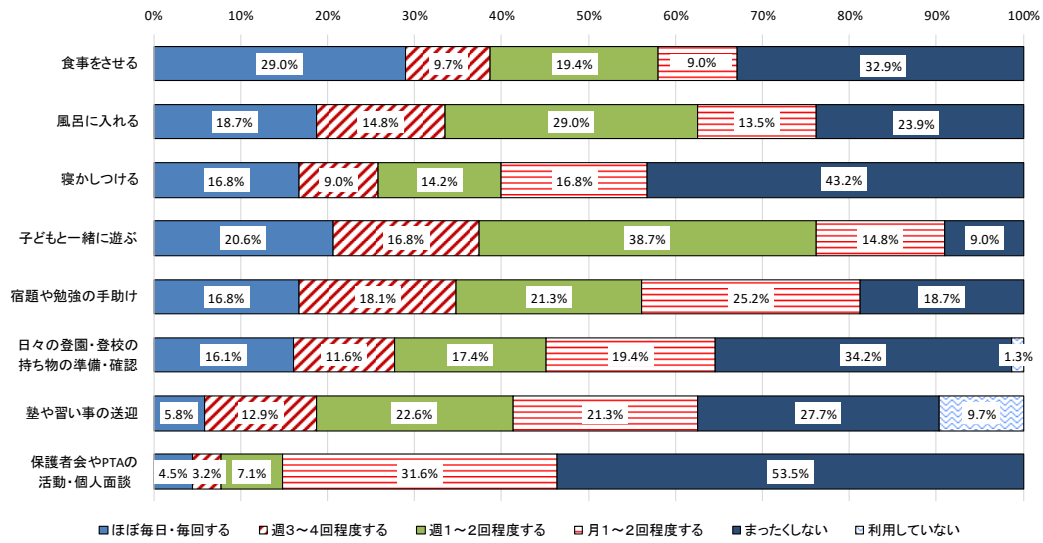


妻が無業 n=156 夫の分担割合（平均）=35.6%

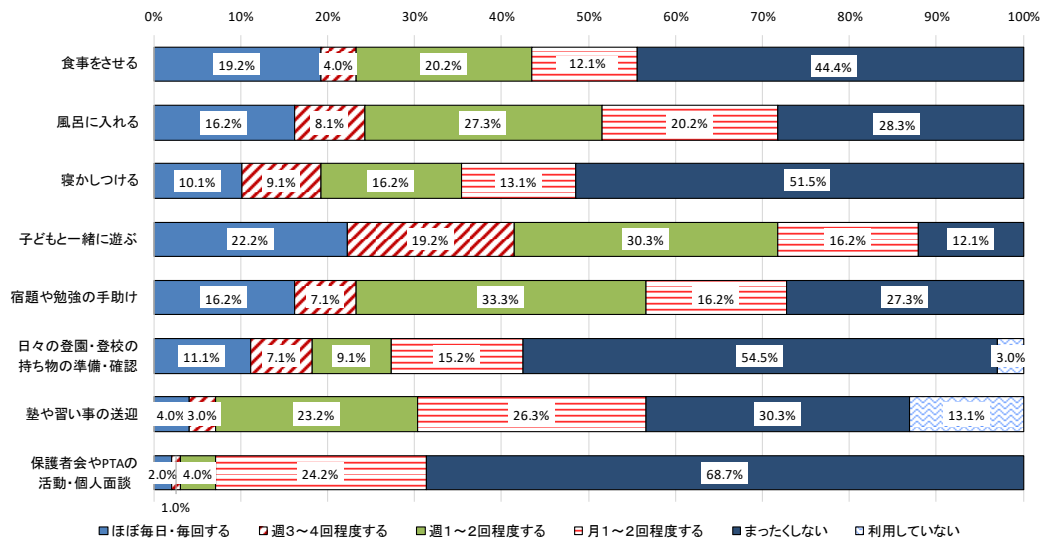


図表 35 夫の育児実施頻度（末子が小学1～3年生・妻の就業状況別）

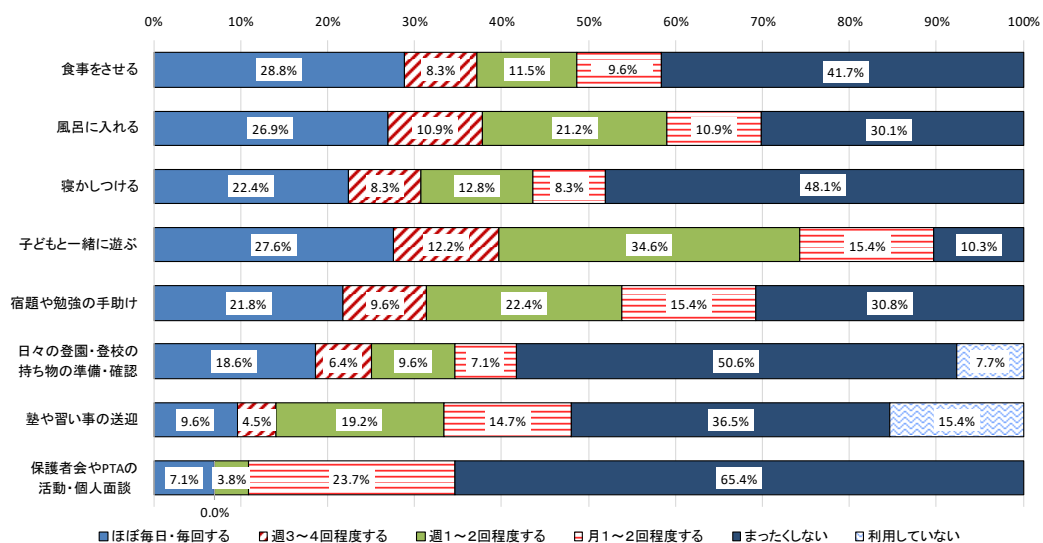
妻がフルタイム n=155 夫の分担割合（平均）=38.3%



妻が短時間勤務 n=99 夫の分担割合（平均）=26.9%



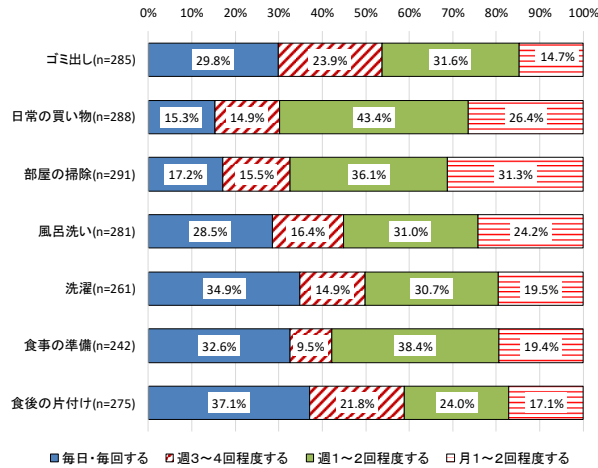
妻が無業 n=156 夫の分担割合（平均）=32.7%



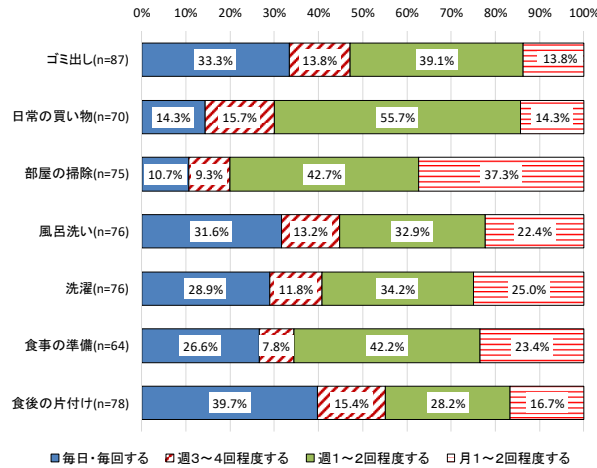
参考：未実施者を除外した集計<図表 36～図表 41>

図表 36 夫の家事実施頻度（末子が0～2歳・妻の就業状況別）

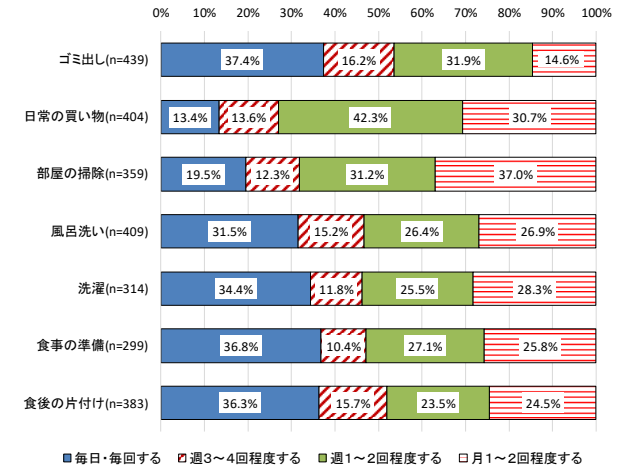
妻がフルタイム



妻が短時間勤務

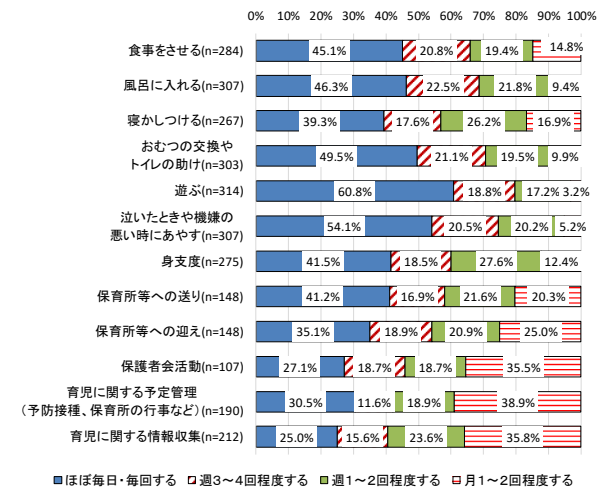


妻が無業

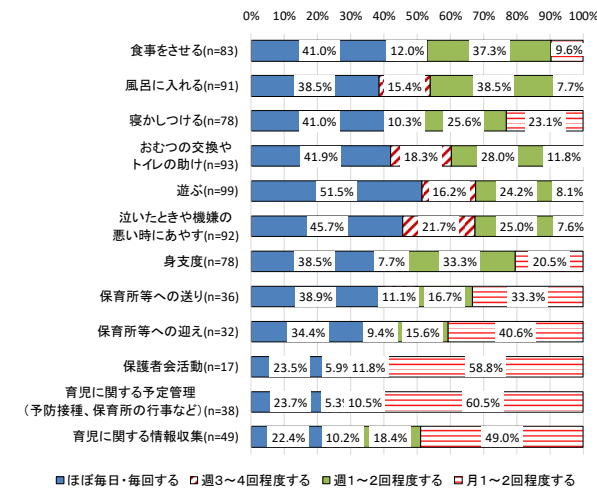


図表 37 夫の育児実施頻度（末子が0～2歳・妻の就業状況別）

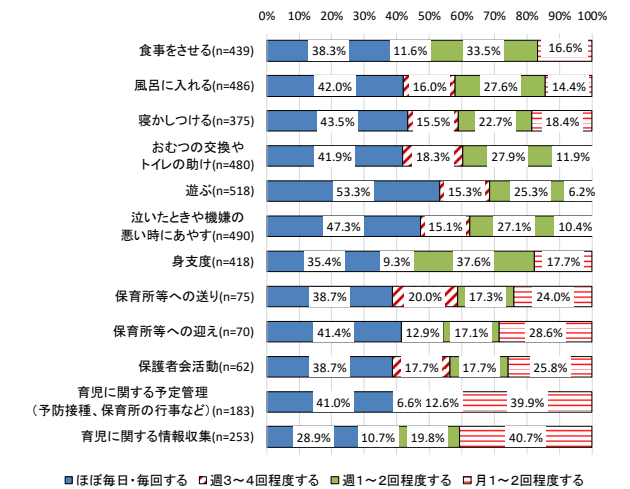
妻がフルタイム



妻が短時間勤務

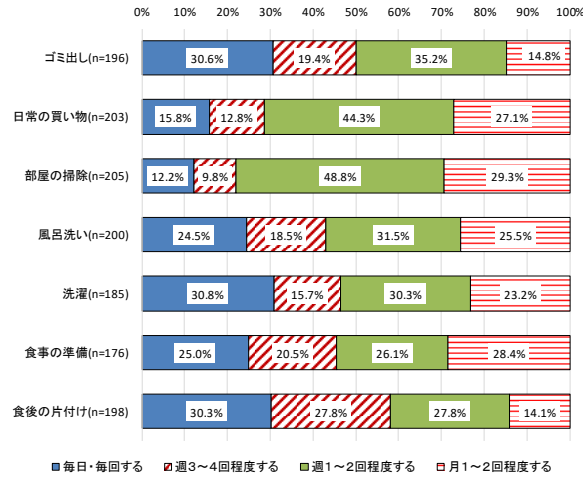


妻が無業

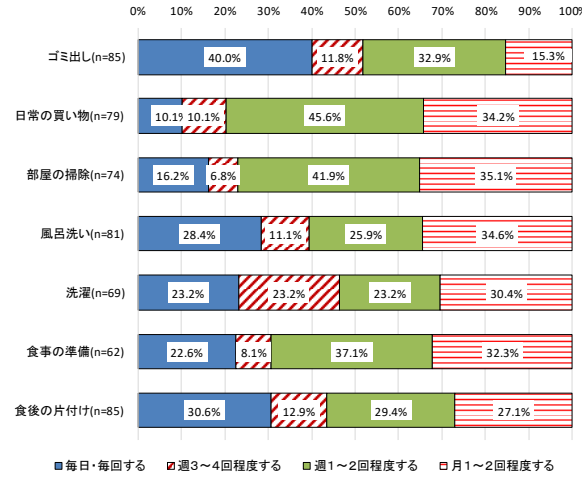


図表 38 夫の家事実施頻度（末子が3歳～就学前・妻の就業状況別）

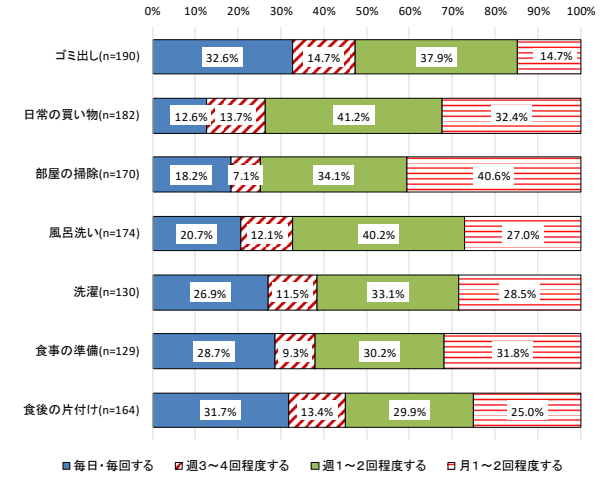
妻がフルタイム



妻が短時間勤務

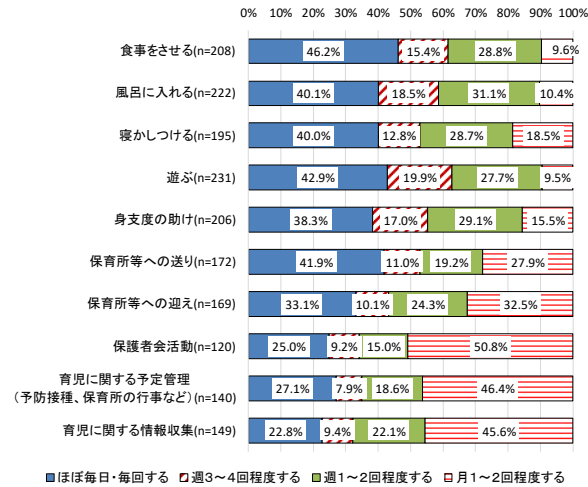


妻が無業

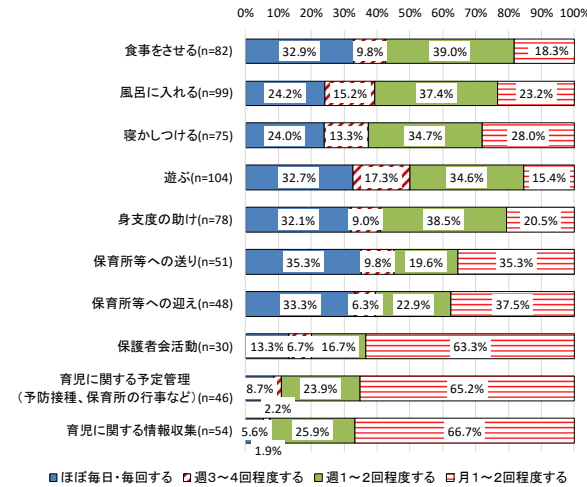


図表 39 夫の育児実施頻度（末子が3歳～就学前・妻の就業状況別）

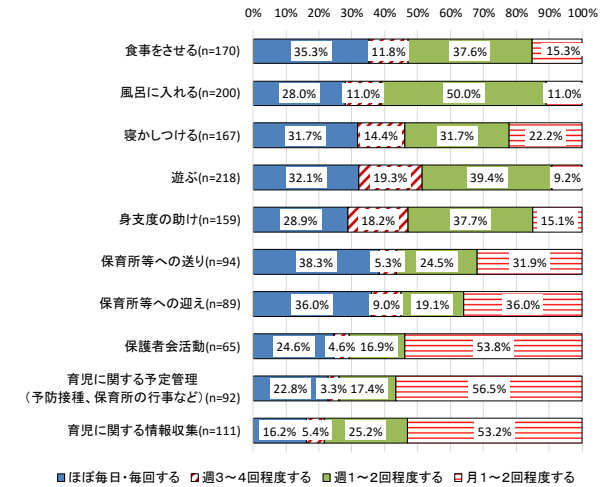
妻がフルタイム



妻が短時間勤務

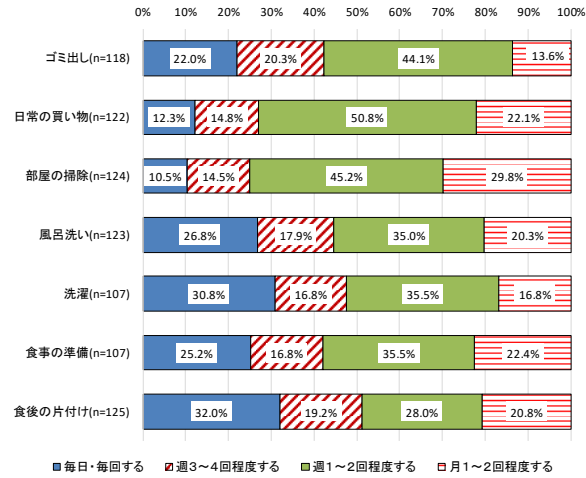


妻が無業

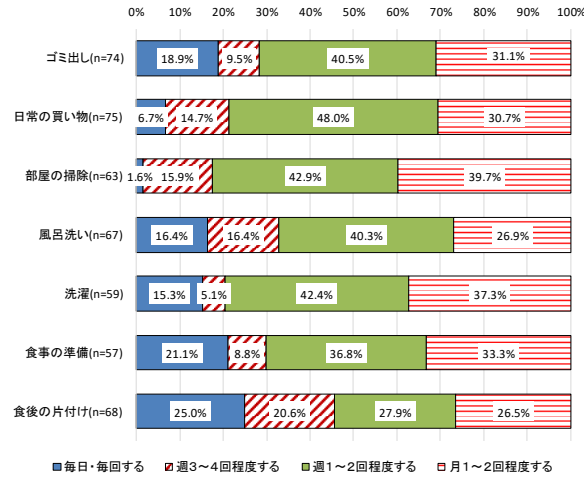


図表 40 夫の家事実施頻度（末子が小学1～3年生・妻の就業状況別）

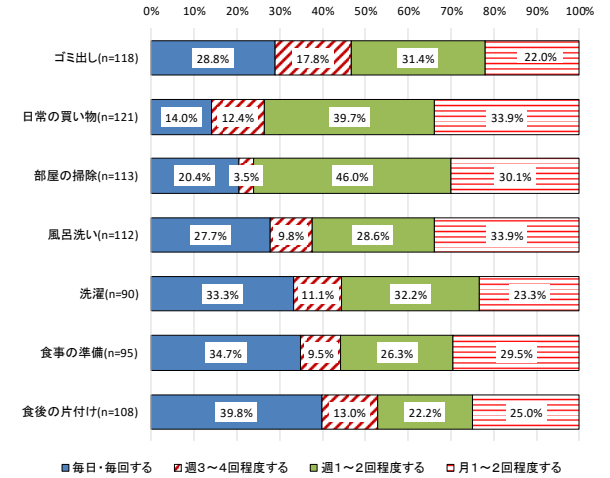
妻がフルタイム



妻が短時間勤務

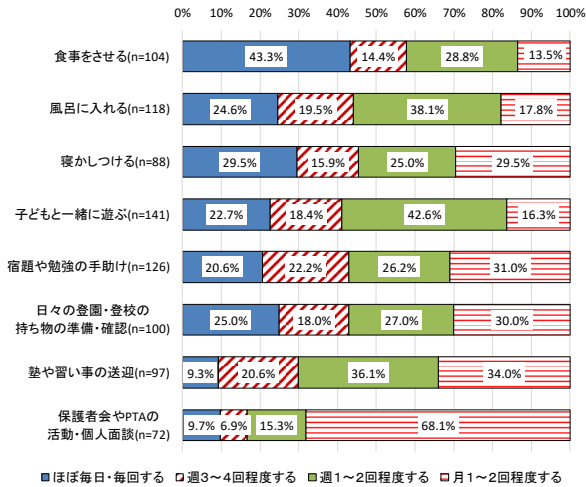


妻が無業

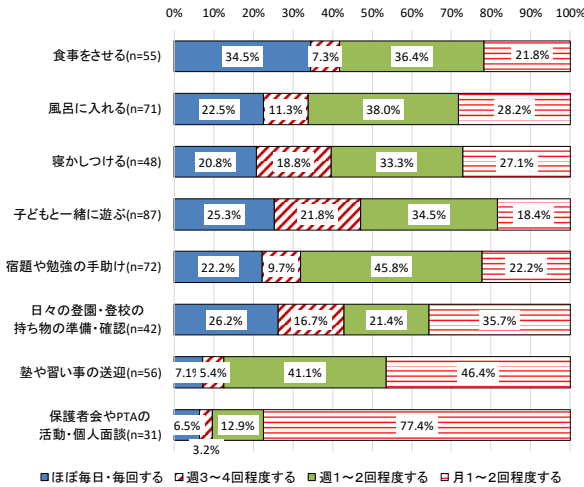


図表 41 夫の育児実施頻度（末子が小学1～3年生・妻の就業状況別）

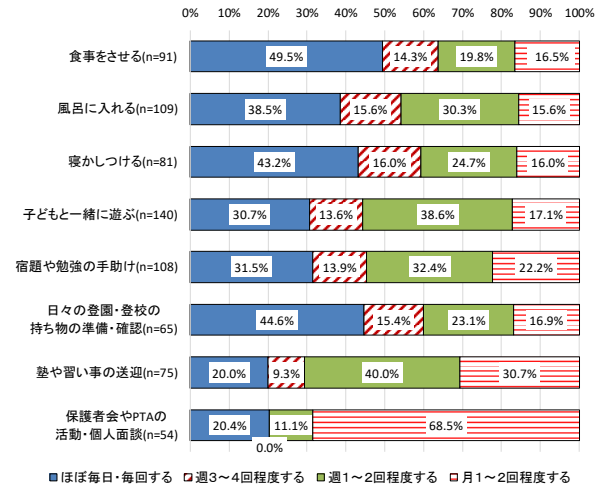
妻がフルタイム



妻が短時間勤務



妻が無業



【分析結果】

① 末子が0～2歳児の夫<図表 30～図表 31 参照>

ア. 家事の状況

- ・ 「毎日・毎回する」の回答割合は、全般的に、妻の就業状況による違いはあまりない。
- ・ 「まったくしない」という回答割合が高いのは、妻の就業状況にかかわらず、「食事の準備」である。
- ・ 「まったくしない」という回答割合を同じ項目で比較すると、おおむね妻が「フルタイム」、「短時間勤務」、「無業」の順に高くなる傾向がある。特に顕著なのは、「洗濯」、「部屋の掃除」、「食事の準備」である。
- ・ 「まったくしない」という回答割合は、妻が「短時間勤務」の夫の方が、妻が「無業」の夫より高い項目もある（「日常の買い物」、「風呂洗い」）。
- ・ 分担割合は、妻が「フルタイム」の夫が最も高いが、妻が「短時間勤務」の夫と妻が「無業」の夫では変わらない。

イ. 育児の状況

- ・ 「ほぼ毎日・毎回する」の回答割合は、妻が「フルタイム」の夫が、「短時間勤務」、「無業」の夫と比較するとやや高い傾向がある。
- ・ 「保護者会活動」、「育児に関する予定管理」、「育児に関する情報収集」は妻がフルタイムの夫でも「ほぼ毎日・毎回する」という回答が低く、8.6%～17.1%にとどまるが、妻が「短時間勤務」又は「無業」の夫はさらに低水準である。
- ・ 「まったくしない」という回答割合が高いのは、妻の就業状況にかかわらず、「育児に関する予定管理」、「育児に関する情報収集」である。
- ・ 「まったくしない」の回答割合を同じ項目で比較すると、妻が「フルタイム」の夫が、「短時間勤務」、「無業」の夫と比較すると低い傾向がある。特に顕著なのは、「育児に関する予定管理」、「育児に関する情報収集」である。
- ・ 「まったくしない」という回答割合は、全般的に、妻が「短時間勤務」の夫と妻が「無業」の夫とで変わりがない。
- ・ 分担割合は、妻が「フルタイム」の夫が最も高いものの、妻が「無業」の夫の方が、妻が「短時間勤務」の夫より高い。

② 末子が3歳～就学前の夫<図表 32～図表 33 参照>

ア. 家事の状況

- ・ 「毎日・毎回する」の回答割合は、全般的に、妻の就業状況による違いはあまりない。
- ・ 「まったくしない」という回答割合が高いのは、妻の就業状況にかかわらず、「洗濯」、「食事の準備」である。
- ・ 「まったくしない」という回答割合を同じ項目で比較すると、妻が「フルタイム」の夫が、「短時間勤務」、「無業」の夫と比較すると低い傾向がある。特に顕著なのは、「部屋の掃除」、「洗濯」、「食事の準備」である。
- ・ 「まったくしない」という回答割合は、全般的に、妻が「短時間勤務」の夫と妻が「無業」の夫とで変わりがない。ただし、妻が「短時間勤務」の夫の方が、妻が「無業」の夫より高い項目もある（「日常の買い物」、「部屋の掃除」など）。また、「洗濯」は、妻が「無業」の夫の方が、妻が「短時間勤務」の夫よりも7.7%ポイント高い。

- ・ 分担割合は、妻が「フルタイム」の夫が最も高いが、妻が「短時間勤務」の夫と妻が「無業」の夫では変わらない。

イ. 育児の状況

- ・ 「ほぼ毎日・毎回する」の回答割合は、妻が「フルタイム」の夫が、妻が「短時間勤務」、「無業」の夫と比較すると高い傾向にある。特に顕著なのは、「食事をさせる」「風呂に入れる」である。
- ・ 「保護者会活動」、「育児に関する予定管理」、「育児に関する情報収集」は妻がフルタイムの夫でも「ほぼ毎日・毎回する」という回答が低く、12～15%程度にとどまるが、妻が「短時間勤務」の夫は2～3%程度、妻が「無業」の夫は6～8%程度となっており、さらに低水準である。
- ・ 「まったくしない」という回答割合が高いのは、妻の就業状況にかかわらず、「保護者会活動」、「育児に関する予定管理」、「育児に関する情報収集」である。
- ・ 「まったくしない」の回答割合を同じ項目で比較すると、妻が「フルタイム」の夫が、妻が「短時間勤務」、「無業」の夫と比較すると低い傾向がある。特に顕著なのは、「保育所等への送り」、「保育所等への迎え」、「保護者会活動」、「育児に関する予定管理」、「育児に関する情報収集」である。
- ・ 「まったくしない」という回答割合は、全般的に、妻が「短時間勤務」の夫と妻が「無業」の夫とで変わりがない。
- ・ 分担割合は、妻が「フルタイム」の夫が最も高いが、妻が「短時間勤務」の夫と妻が「無業」の夫では変わらない。

③ 末子が小学1～3年生の夫<図表 34～図表 35 参照>

ア. 家事の状況

- ・ 「毎日・毎回する」の回答割合は、妻が「フルタイム」の夫と妻が「無業」の夫が同程度で、妻が「短時間勤務」の夫がそれより低い傾向にある。
- ・ 「まったくしない」という回答割合が高いのは、妻の就業状況にかかわらず、「洗濯」、「食事の準備」である。
- ・ 「まったくしない」という回答割合を同じ項目で比較すると、妻が「フルタイム」の夫が、妻が「短時間勤務」、「無業」の夫と比較するとやや低い傾向があるものの、大きな違いはない。
- ・ 分担割合は、妻が「フルタイム」の夫が最も高いが、妻が「無業」の夫と2.6%ポイントしか変わらない。また、妻が「短時間勤務」の夫は、妻が「無業」の夫よりも10%ポイント程度低い。

イ. 育児の状況

- ・ 「ほぼ毎日・毎回する」の回答割合は、妻が「無業」の夫が最も高く、妻が「フルタイム」の夫、妻が「短時間勤務」の夫がの順に低くなる傾向にある。妻が「無業」の夫が最も高い項目も多い（「風呂に入れる」「寝かしつける」「子どもと一緒に遊ぶ」など）。
- ・ 「まったくしない」という回答割合が高いのは、妻の就業状況にかかわらず、「寝かしつける」、「日々の登園・登校の持ち物の準備・確認」、「保護者会やPTAの活動・個人面談」である。

- ・ 「まったくしない」の回答割合を同じ項目で比較すると、妻が「フルタイム」の夫が、妻が「短時間勤務」、「無業」の夫と比較すると低い傾向がある。特に顕著なのは、「日々の登園・登校の持ち物の準備・確認」、「保護者会やPTAの活動・個人面談」である。
- ・ 「まったくしない」という回答割合は、全般的に、妻が「短時間勤務」の夫と妻が「無業」の夫とで変わりがない。
- ・ 分担割合は、妻が「フルタイム」の夫が最も高く、次いで妻が「無業」の夫であり、妻が「短時間勤務」の夫が最も低い。

④ 全体的状況

ア. 子の年齢に関わらず共通する点

- ・ 家事については、「毎日・毎回する」の回答割合が妻の就業状況により変わらない。ただし、末子が小学1～3年生だと、妻が「短時間勤務」の夫が低い。
- ・ 育児については、妻が「フルタイム」の夫は「ほぼ毎日・毎回する」の回答割合が高い。
- ・ 「まったくしない」という回答割合は、家事についても育児についても、妻が「フルタイム」の夫が低い。
- ・ 家事のうち「まったくしない」という回答割合が高い項目は、妻の就業状況にかかわらず、「洗濯」、「食事の準備」である。これらは、妻が「フルタイム」の夫だと「まったくしない」という回答割合が低くなる傾向がより顕著に見られる。
- ・ 育児のうち「まったくしない」という回答割合が高い項目は、就学前の「保護者会活動」、「育児に関する予定管理」、「育児に関する情報収集」、小学1～3年生の「日々の登園・登校の持ち物の準備・確認」、「保護者会やPTAの活動・個人面談」である。これらは、妻が「フルタイム」の夫だと「全くしない」という回答割合が低くなる傾向がより顕著に見られる。
- ・ 分担割合が最も高いのは、妻が「フルタイム」の夫であり、家事についても育児についても約4割である。

イ. 子の年齢により異なる点

- ・ 妻が「短時間勤務」の夫と妻が「無業」の夫とで比較すると、必ずしも「短時間勤務」の夫の方が家事や育児の実施頻度が高いわけではなく、子の年齢が大きいとむしろ「無業」の夫よりも低くなる。特に末子が小学1～3年生の場合、家事についても育児についても「ほぼ毎日・毎回する」の回答割合は、「短時間勤務」の夫の方が「無業」の夫より低い。「まったくしない」の回答割合については、大きく変わらない。
- ・ 育児について、妻が「フルタイム」の夫は、末子が就学前までは「ほぼ毎日・毎回する」の割合が高いが、末子が小学1～3年生になると妻が「無業」の夫より「ほぼ毎日・毎回する」の割合が低くなる。
- ・ 妻が「短時間勤務」の夫の分担割合は、末子が就学前の場合、妻が「無業」の夫の分担割合と同水準であるが（末子が0～2歳児の育児は、やや低い。）、末子が小学1～3年生の場合、妻が「無業」の夫の分担割合よりも低い。

(3) 夫の長時間労働との関係

【分析の視点】

- 未就学児のいる家庭のうち、夫の家事等時間量及び家事等分担割合について週間就業時間別に比較

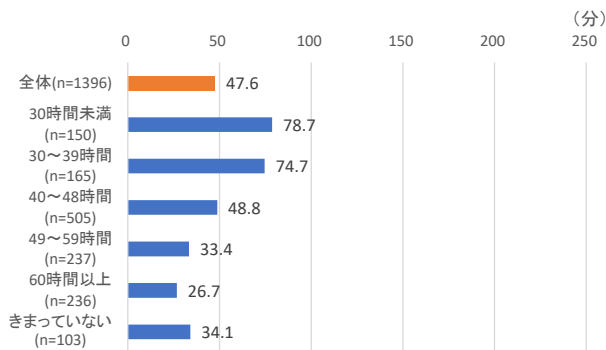
★分析⑧★

図表 42. 未就学児のいる夫の家事時間・家事分担割合（週間就業時間別の平均）

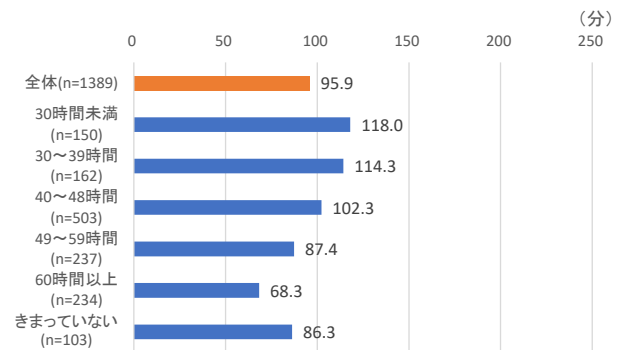
図表 44. 未就学児のいる夫の育児時間・育児分担割合（週間就業時間別の平均）

図表 42 未就学児のいる夫の家事時間・家事分担割合（週間就業時間別の平均）

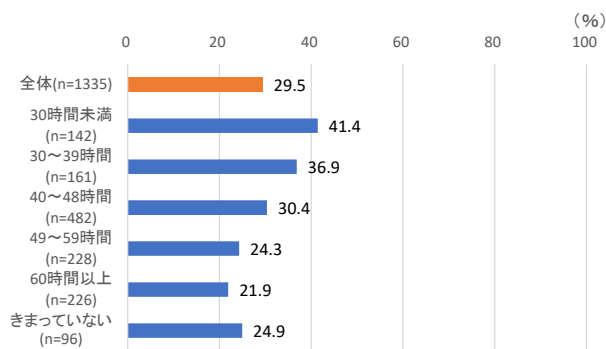
＜未就学児のいる夫・家事時間
（仕事のある日）＞



＜未就学児のいる夫・家事時間
（仕事のない日）＞



＜未就学児のいる夫・家事分担割合＞

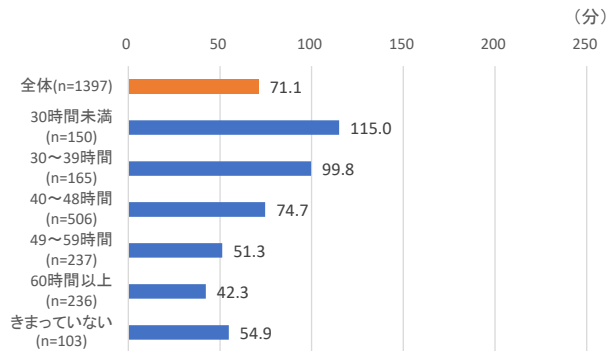


図表 43 参考：未就学の子を持つ夫の週間就業時間

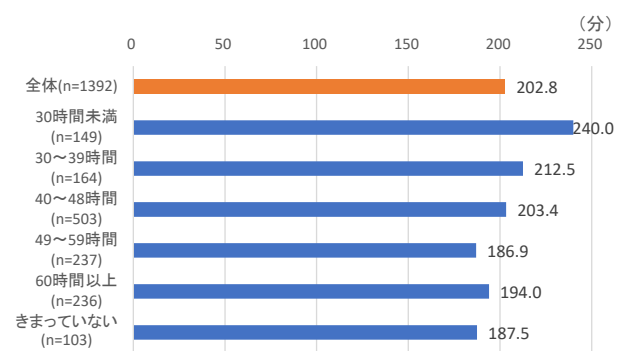
	全体	15時間未満	15～29時間	30～34時間	35～39時間	40～48時間	49～59時間	60時間以上	きまっていない
未就学の子を持つ夫	1397	91	59	48	117	506	237	236	103
	(100.0%)	(6.5%)	(4.2%)	(3.4%)	(8.4%)	(36.2%)	(17.0%)	(16.9%)	(7.4%)

図表 44 未就学児のいる夫の育児時間・育児分担割合（週間就業時間別の平均）

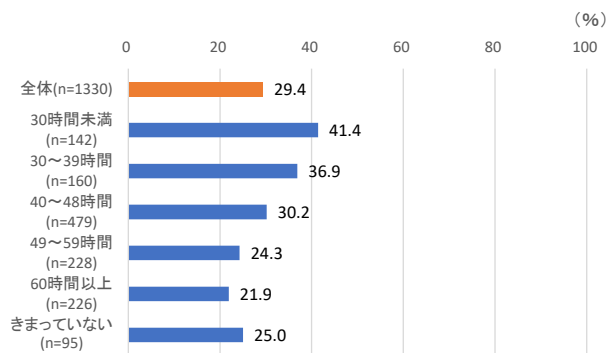
＜未就学児のいる夫・育児時間
（仕事のある日）＞



＜未就学児のいる夫・育児時間
（仕事のない日）＞



＜未就学児のいる夫・育児分担割合＞



【分析結果】

ア. 家事の状況＜図表 42 参照＞

- ・ 夫の週間就業時間が長いほど、「仕事のある日」も「仕事のない日」も、家事時間が短くなる。「週間就業時間が 60 時間以上」の夫の家事時間は、週間就業時間が平均的な「週間就業時間が 40～48 時間」の夫の家事時間より、「仕事のある日」で 22 分少なく、「仕事のない日」でも 34 分少ない。
- ・ 家事分担割合も、夫の週間就業時間が長いほど、低くなる。

イ. 育児の状況＜図表 44 参照＞

- ・ 「仕事のある日」については、夫の週間就業時間が長いほど、育児時間が短くなる。
- ・ 「仕事のない日」は、「仕事のある日」ほど、週間就業時間の長さや育児時間の短さの関係は見られない。「週間就業時間が 30 時間未満」の者及び「週間就業時間が決まっていない」者を除くと、育児時間は 3 時間～3 時間半に分布している。また、「週間就業時間が 60 時間以上」の夫の育児時間は、週間就業時間が平均的な「週間就業時間が 40～48 時間」の夫の育児時間より、「仕事のある日」で 32 分少なく、「仕事のない日」でも 9 分少ない。
- ・ 育児分担割合も、夫の週間就業時間が長いほど、低くなる。

(4) 子供の成長による育児負担等の変化

【分析の視点】

- 末子年齢別に見る夫婦の家事時間・育児時間
- 末子年齢別に見る家事・家庭マネジメント所在

★分析⑨★

a. 子の年齢段階による家事・育児時間の比較

- 子の年齢3区分（0～2歳／3歳～就学前まで／小学1～3年生）に分けて見る

図表 45 末子年齢別の家事時間

図表 46 末子年齢別の育児時間

b. 家庭マネジメント所在の比較

- 子の年齢3区分（0～2歳／3歳～就学前まで／小学1～3年生）に分けて見る

図表 47 食材や日用品の在庫の把握

図表 48 食事の献立を考える

図表 49 ごみを分類し、まとめる

図表 50 家族の予定を調整する

図表 51 家計管理・運営

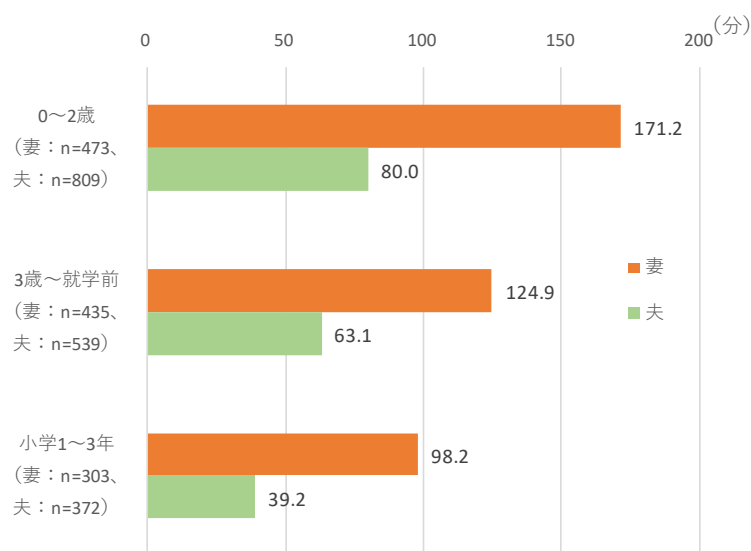
図表 52 親や親族との付き合い

図表 53 育児・子どもの教育

図表 45 末子年齢別の家事時間

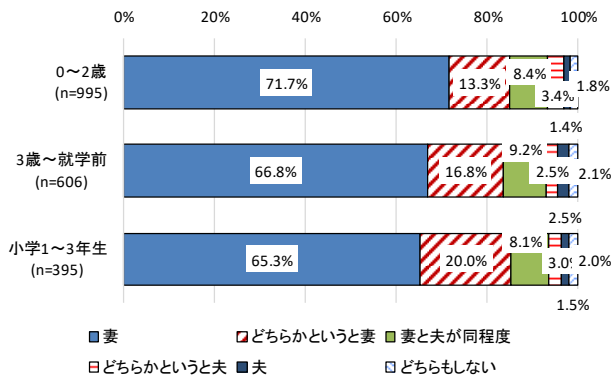


図表 46 末子年齢別の育児時間

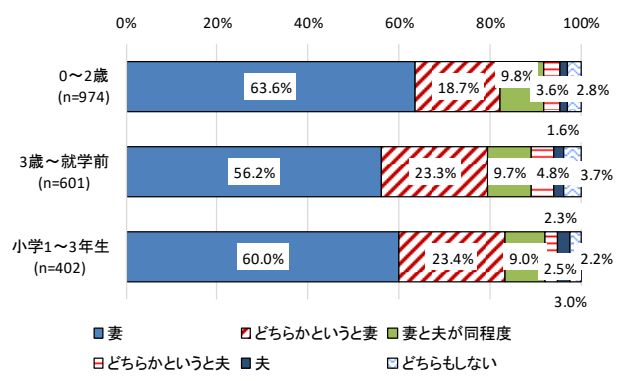


図表 47 食材や日用品の在庫の把握

妻

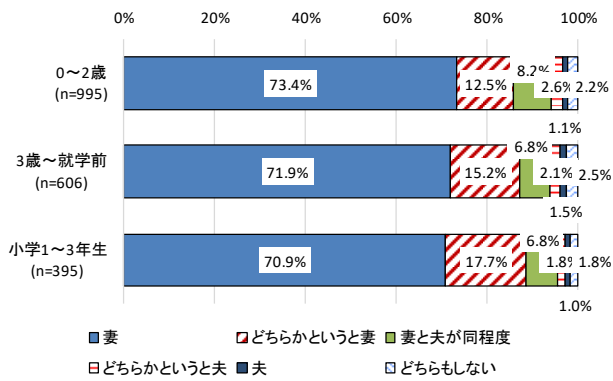


夫

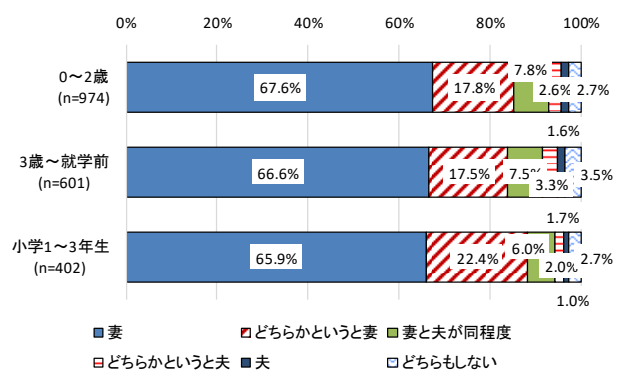


図表 48 食事の献立を考える

妻

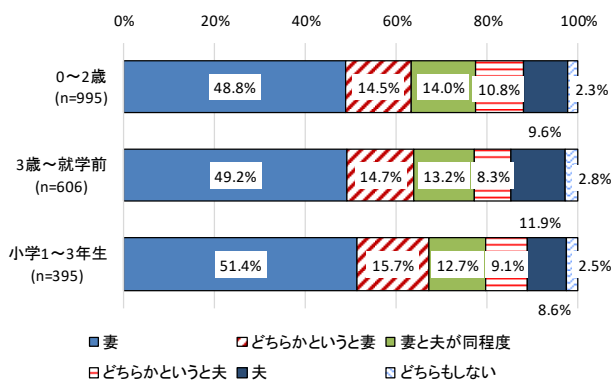


夫

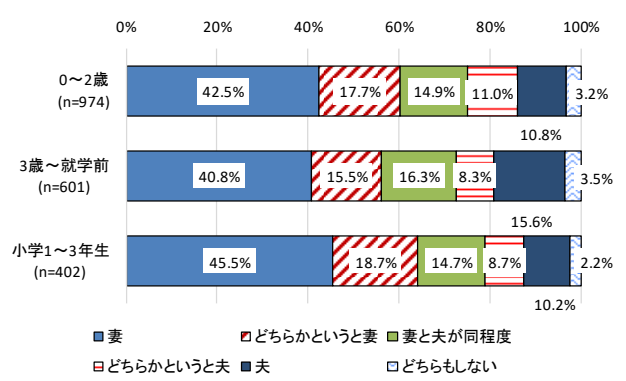


図表 49 ごみを分類し、まとめる

妻



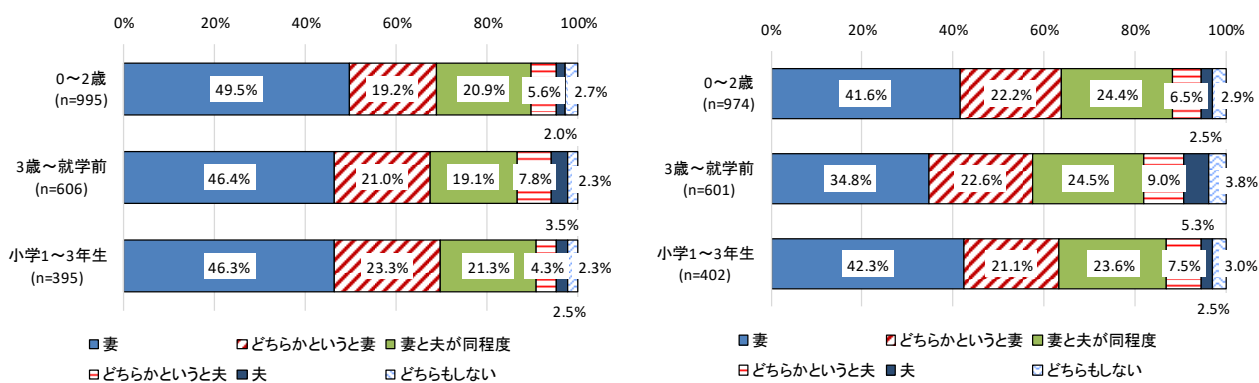
夫



図表 50 家族の予定を調整する

妻

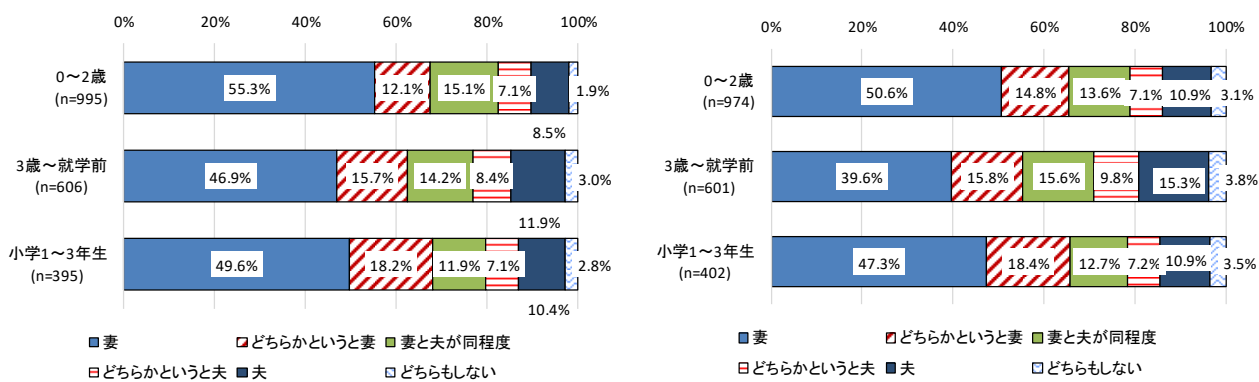
夫



図表 51 家計管理・運営

妻

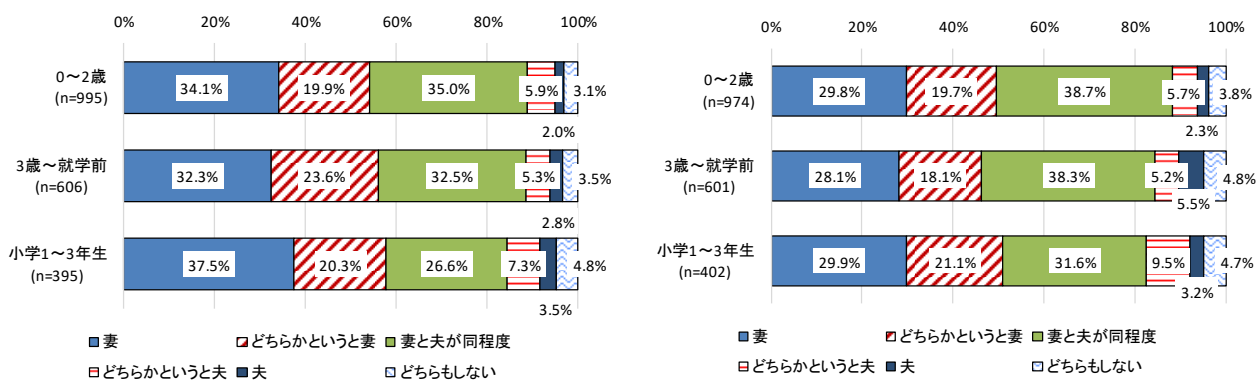
夫



図表 52 親や親族との付き合い

妻

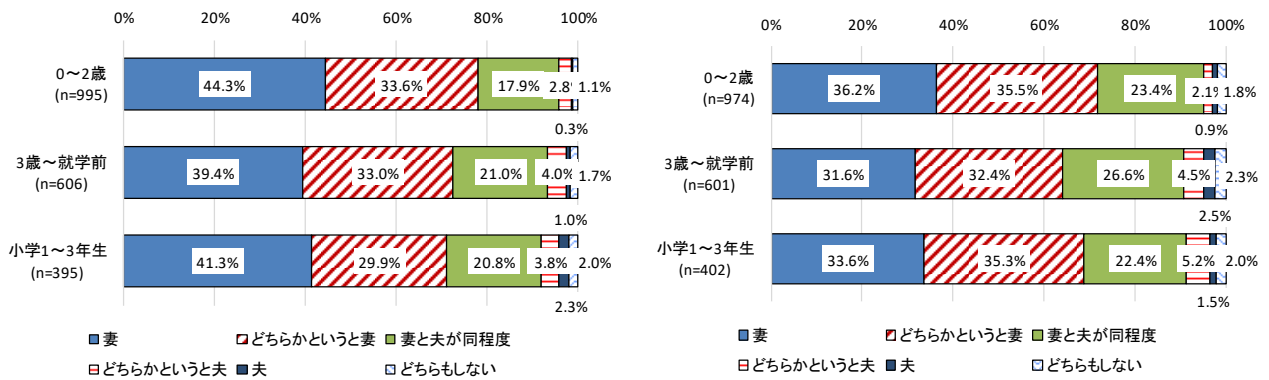
夫



図表 53 育児・子どもの教育

妻

夫



【分析結果】

(家事時間) <図表 45 参照>

- 妻は、末子が未就学児であると、末子の年齢による差があまり無いが（末子が0～2歳で125.4分、3歳から就学前までで133.9分）、末子が小学1～3年生（160.2分）の場合が最も多い。夫は、末子の年齢に関わらず45～50分前後であるので、妻は夫の2.5～3倍程度の時間となっている（末子が小学1～3年生の場合は3.34倍）。

(育児時間) <図表 46 参照>

- 妻は、末子の年齢が低いほど、育児時間は多い。夫も、末子が低いほど育児時間は多いが、0～2歳の場合でも80.0分となっており、妻は夫の2倍程度（末子が小学1～3年生の場合は2.5倍）となっている。

(家事や家庭のマネジメントの傾向) <図表 47～図表 53 参照>

- 家事や家庭マネジメントについての回答状況は、全般的に、末子の年齢による変化がない。また、末子が0～2歳に比べると3歳～就学前の方が、妻が担う割合が小さい項目は複数あるが、いずれも小学1～3年生では、妻が担う割合がやや多い。家事や家庭マネジメントが妻に偏る傾向は末子の年齢に関係なく、子供の成長により妻の家庭マネジメント負担が軽減されることは見込まれない。

(妻回答と夫回答の比較) <図表 47～図表 53 参照>

- 全般的に、妻回答と夫回答とで回答状況が大きく異なるものはない。ただし、「妻」とする回答割合は、妻回答の方が夫回答よりも数%ポイント～10%ポイント程度高い傾向にある。10%ポイント程度高いのは、末子が3歳～就学前の場合の「食材や日用品の在庫の把握」、「家族の予定を調整する」となっている。

4. 介護をしている人・夫婦

(1) 介護の実施頻度と内容

【分析の視点】

- 介護の実施頻度（男女の相違と世帯類型の相違）

★分析⑩★

図表 56. 主な介護内容ごとの実施頻度（男女別）（夫婦のみ世帯・夫婦+子供世帯は夫婦別）

図表 54 参考：介護をしている人・夫婦の年齢の分布 女性

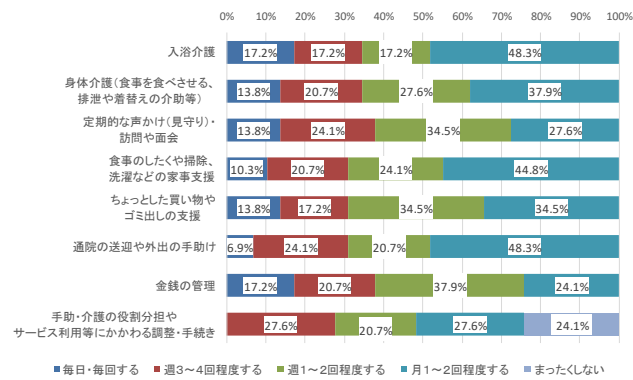
	小計	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
小計	479 (100.0%)	0 (0.0%)	53 (11.1%)	100 (20.9%)	97 (20.3%)	115 (24.0%)	114 (23.8%)	0 (0.0%)
単独世帯	29 (100.0%)	0 (0.0%)	11 (37.9%)	6 (20.7%)	3 (10.3%)	4 (13.8%)	5 (17.2%)	0 (0.0%)
夫婦のみ世帯	61 (100.0%)	0 (0.0%)	4 (6.6%)	6 (9.8%)	3 (4.9%)	17 (27.9%)	31 (50.8%)	0 (0.0%)
夫婦+子供世帯	196 (100.0%)	0 (0.0%)	19 (9.7%)	56 (28.6%)	54 (27.6%)	36 (18.4%)	31 (15.8%)	0 (0.0%)

図表 55 参考：介護をしている人・夫婦の年齢の分布 男性

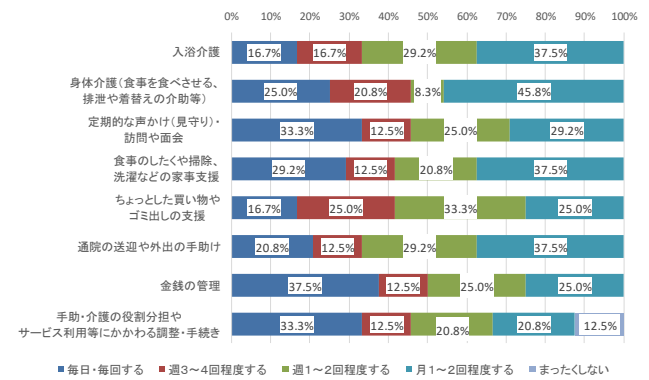
	小計	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
小計	485 (100.0%)	1 (0.2%)	38 (7.8%)	99 (20.4%)	111 (22.9%)	107 (22.1%)	128 (26.4%)	1 (0.2%)
単独世帯	24 (100.0%)	0 (0.0%)	4 (16.7%)	7 (29.2%)	4 (16.7%)	4 (16.7%)	5 (20.8%)	0 (0.0%)
夫婦のみ世帯	59 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (10.2%)	5 (8.5%)	12 (20.3%)	35 (59.3%)	1 (1.7%)
夫婦+子供世帯	188 (100.0%)	1 (0.5%)	20 (10.6%)	45 (23.9%)	65 (34.6%)	30 (16.0%)	27 (14.4%)	0 (0.0%)

図表 56 主な介護内容ごとの実施頻度（男女別）（夫婦のみ世帯・夫婦+子供世帯は夫婦別）

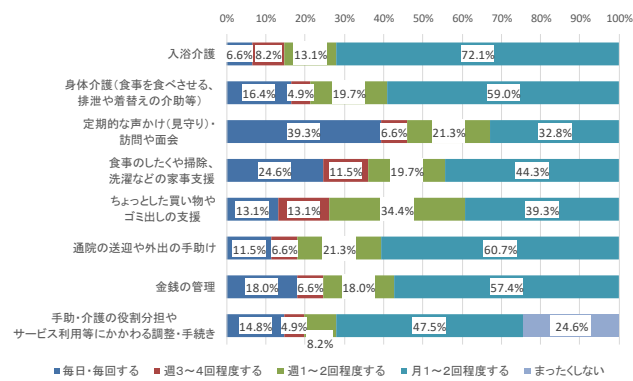
＜単独世帯 女性 n=29＞



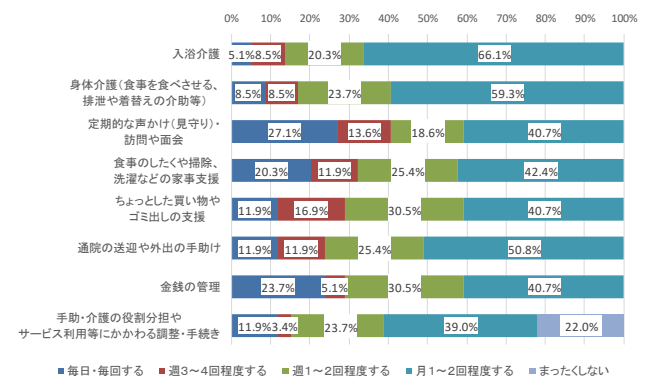
＜単独世帯 男性 n=24＞



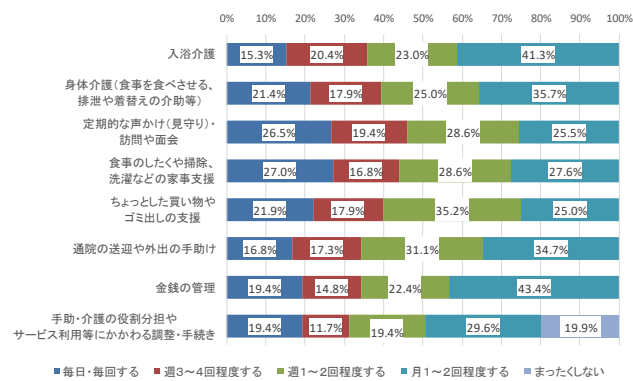
＜夫婦のみ世帯 妻 n=61＞



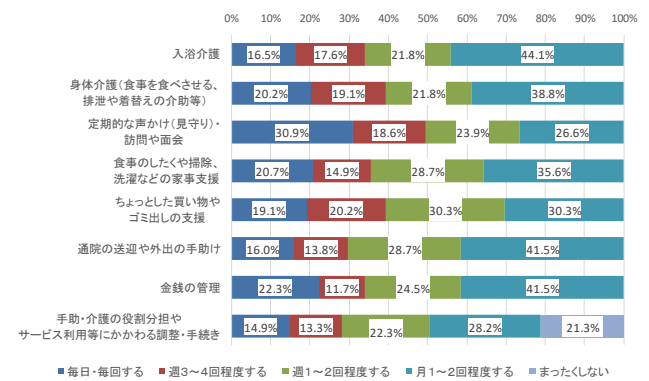
＜夫婦のみ世帯 夫 n=59＞



＜夫婦+子供世帯 妻 n=196＞



＜夫婦+子供世帯 夫 n=188＞



【分析結果】＜図表 56 参照＞

（男女の相違）

- ・ 必ずしも妻又は女性の方が、介護の実施頻度が高い傾向にあるわけではない。

（家族類型による相違）

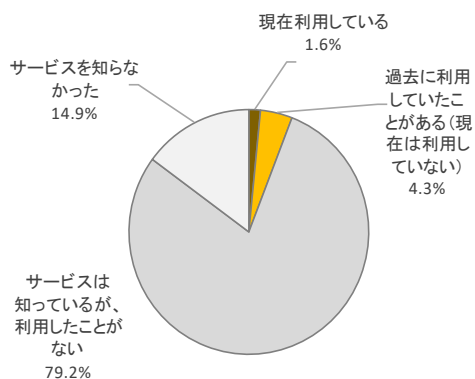
- ・ 「単独世帯」においては、「毎日・毎回する」介護項目として回答率が最も高いのは男女とも「金銭の管理」であるが、男性（37.5%）の方が女性（17.2%）よりも高くなっている。また、男性では、「定期的な声かけ（見守り）・訪問や面会」、「手助・介護の役割分担やサービス利用等にかかわる調整・手続き」もそれぞれ 33.3%と高くなっているが、女性はそれぞれ 13.8%、0%となっている。
- ・ 「夫婦のみ世帯」では、「毎日・毎回する」介護項目として回答率が最も高いのは、男女ともに「定期的な声かけ（見守り）・訪問や面会」であるが、女性（妻）（39.3%）の方が男性（夫）（27.1%）よりも高くなっている。
- ・ 「夫婦＋子供世帯」においては、「毎日・毎回する」介護項目として回答率が最も高いのは、女性では「食事のしたくや掃除、洗濯などの家事支援」で 27.0%、男性では「定期的な声かけ（見守り）・訪問や面会」で 30.9%となっている。

5. 外部サービスの利用

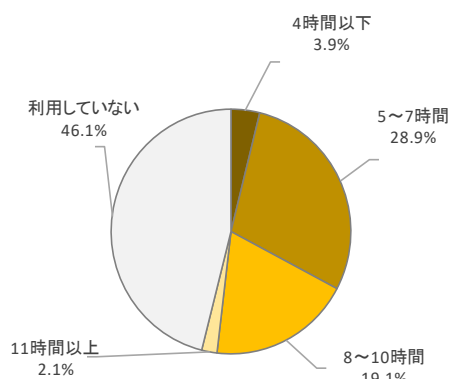
【分析の視点】

○ 家事等にかかる外部サービスの利用割合・利用時間

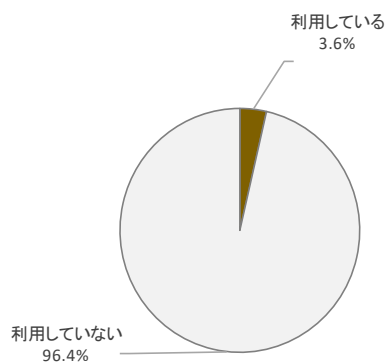
図表 57 家事代行サービス
(利用しているか、利用したことがあるか)
n=8,151



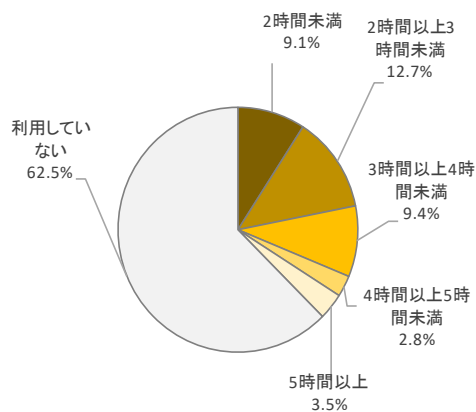
図表 58 保育園・幼稚園などの在園状況⁷
(1日あたりの利用時間)
n=2,325



図表 59 ベビーシッター、
ファミリーサポートセンターなど
育児支援の利用状況⁸
n=783



図表 60 学童保育(公的のもの、民間のもの)
の利用状況⁹(1日あたりの利用時間)
n=855



⁷ 保育園・幼稚園などの在園状況は、同居する未就学児の子供がいると回答した人に対する設問

⁸ 同居する小学校1~3年生の子供を対象とした育児支援の利用状況

⁹ 同居する小学校1~3年生の子供を対象とした利用状況

【分析結果】＜図表 57～図表 61 参照＞

- ・ 家事代行サービスについては現在利用している人が 1.6%、過去に利用した人（4.3%）を含めても利用率が6%にとどまるが、ベビーシッターなどの育児支援サービスについては、更に少なく3.6%にとどまっている。
- ・ また保育園・幼稚園などの在園状況、学童保育の利用状況は、「利用していない」が、それぞれ46.1%、62.5%となっている。利用時間については、保育園・幼稚園などでは「5～7時間」が28.9%、「8～10時間」が19.1%となっており、学童保育では「2時間以上3時間未満」が12.7%、「3時間以上4時間未満」が9.4%となっている。
- ・ 介護内容ごとに介護の担い手の割合を見てみると、「介護サービスや、ボランティア等の外部の支援」が最も多いのは入浴介護で27.8%となっており、次いで身体介護が17.7%となる。

6. よりよいバランスの考察

(1) 生活時間配分の希望

【分析の視点】

- 家族類型別に「仕事等時間」「家事時間」「育児時間」「自由時間」（「家族と楽しむ・くつろぐ時間」「友人と楽しむ・くつろぐ時間」「ひとりで楽しむ・くつろぐ時間」）についての時間配分の希望（減らしたいか、現状のままでよいか、増やしたいか）を男女別で比較

★分析⑩★

1日の生活時間配分の希望（家族類型ごとに男女別（夫婦のみ世帯・夫婦＋子供世帯は夫婦別））

a. 育児なし・介護なしの回答者

図表 62 1日の生活時間配分の希望（単独世帯）

図表 63 1日の生活時間配分の希望（夫婦のみ世帯）

b. 育児あり・介護なしの回答者

図表 64 1日の生活時間配分の希望（夫婦＋子供世帯）

図表 65 1日の生活時間配分の希望（ひとり親＋子供世帯）

c. 介護ありの回答者

図表 66 1日の生活時間配分の希望（単独世帯）

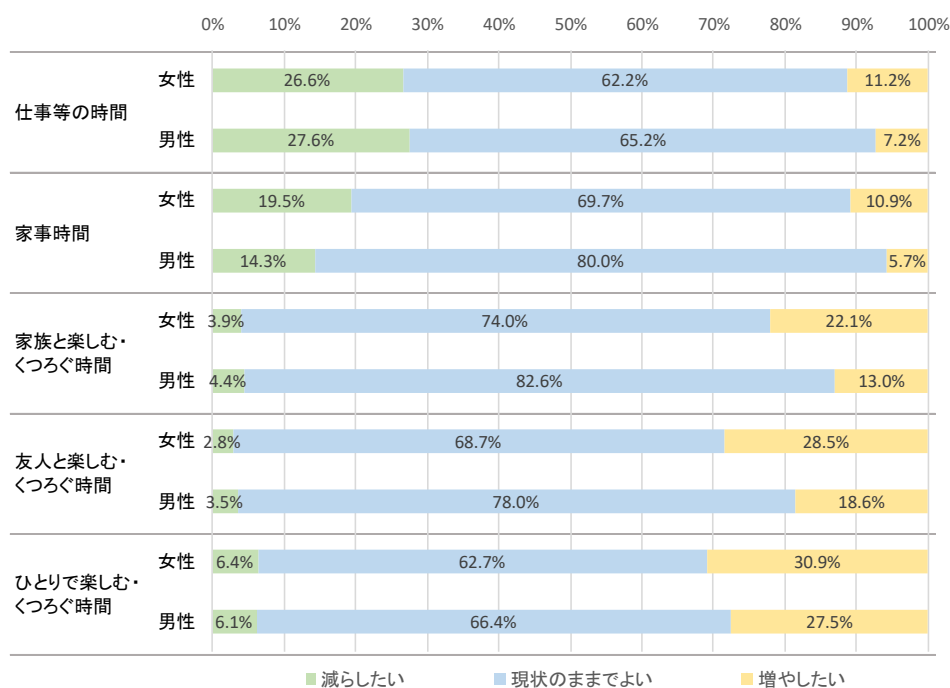
図表 67 1日の生活時間配分の希望（夫婦のみ世帯）

図表 68 1日の生活時間配分の希望（夫婦＋子供世帯）

a. 育児なし・介護なしの回答者

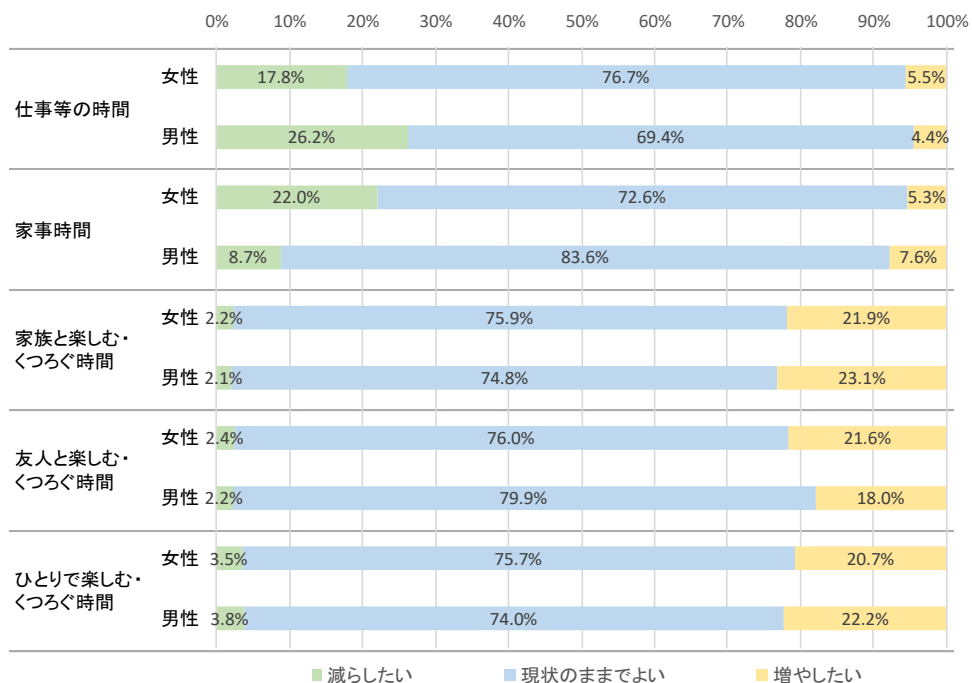
図表 62 1日の生活時間配分の希望（単独世帯）

女性：n=534、男性：n=749



図表 63 1日の生活時間配分の希望（夫婦のみ世帯）

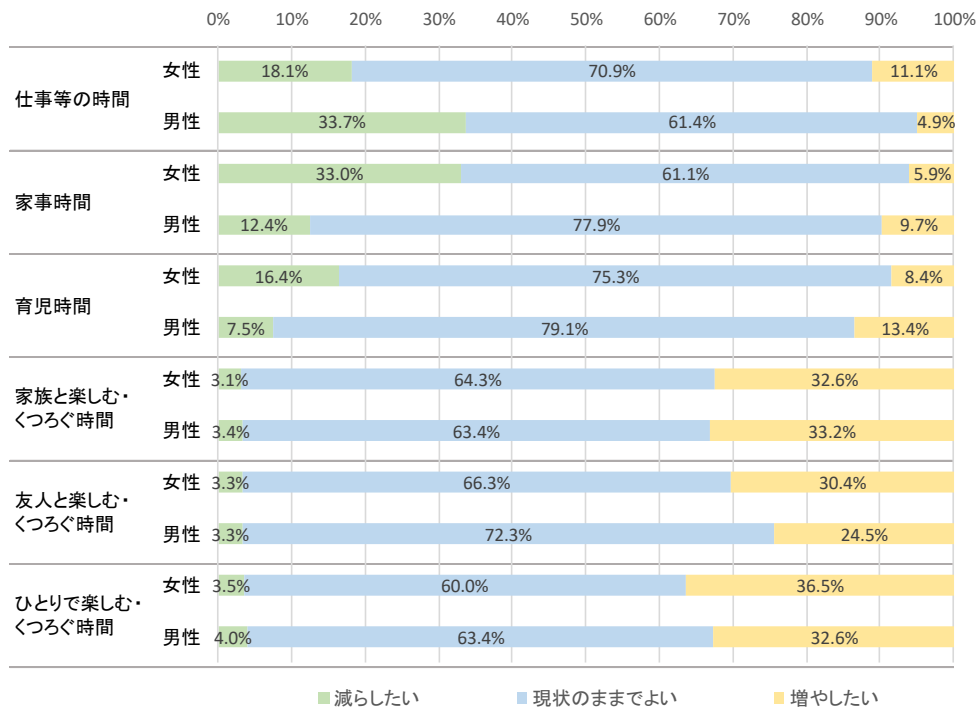
妻：n=1,384、夫：n=1,386



b. 育児あり・介護なしの回答者

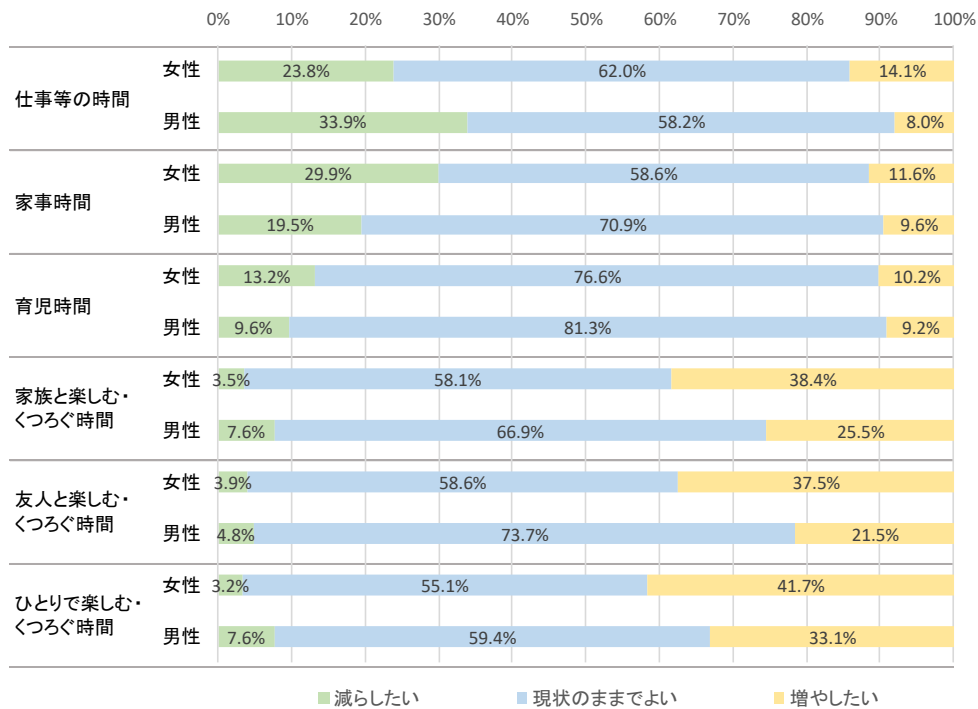
図表 64 1日の生活時間配分の希望（夫婦＋子供世帯）

妻：n=3,516、夫：n=3,516



図表 65 1日の生活時間配分の希望（ひとり親＋子供世帯）

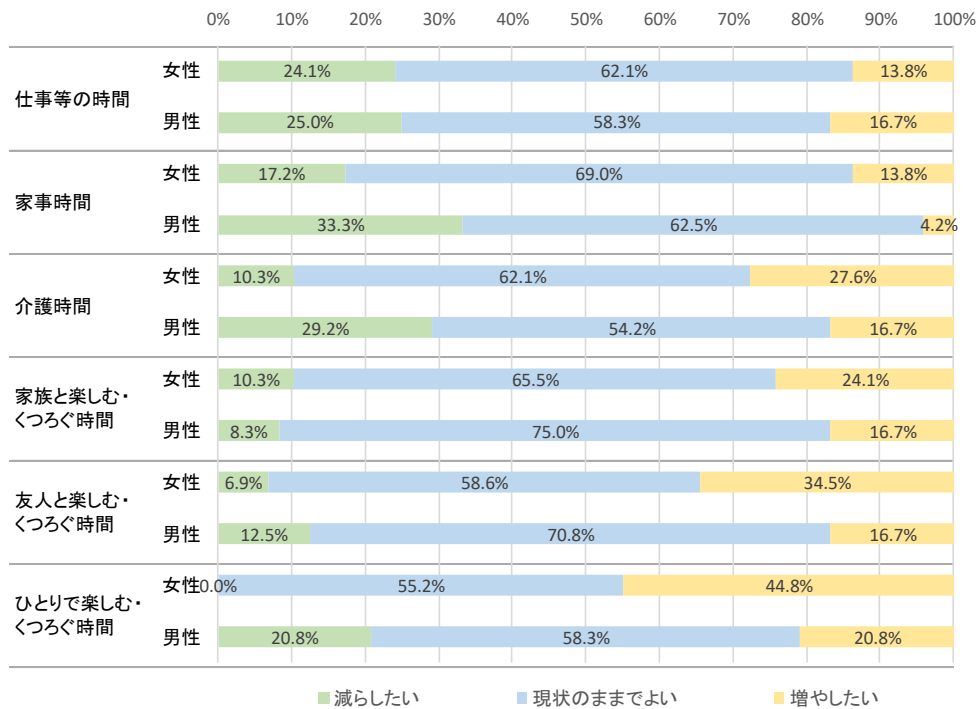
女性：n=432、男性：n=251



c. 介護ありの回答者

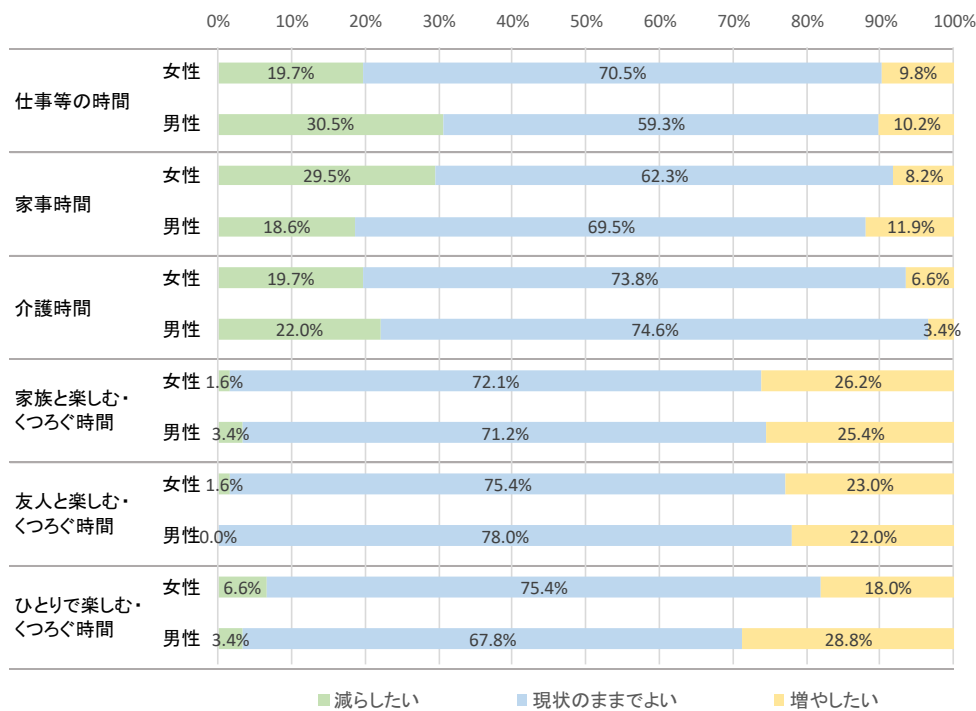
図表 66 1日の生活時間配分の希望（単独世帯）

女性：n=29、男性：n=24



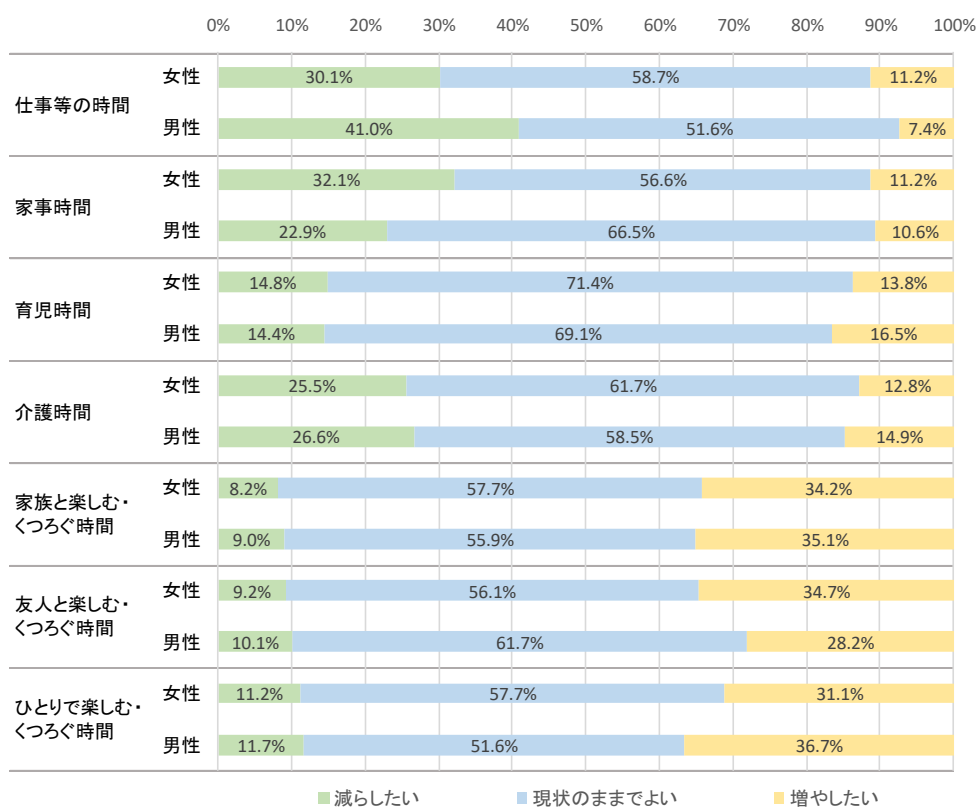
図表 67 1日の生活時間配分の希望（夫婦のみ世帯）

妻：n=61、夫：n=59



図表 68 1日の生活時間配分の希望（夫婦＋子供世帯）

妻：n=196、夫：n=188



【分析結果】＜図表 62～図表 68 参照＞

ア. 仕事等時間

- ・ 仕事等時間については、「現状のままでよい」という回答が6割程度～7割程度の幅にある。
- ・ 仕事等時間について「増やしたい」という回答割合は、おおむね1割以下である。
- ・ 仕事等時間について「減らしたい」という回答が2割を超えるのは、
 - － 介護なしの「単独世帯」の女性（26.6%）、男性（27.6%）
 - － 介護なしの「夫婦のみ世帯」の男性（26.2%）
 - － 介護なしの「夫婦+子供世帯」の男性（33.7%）
 - － 「ひとり親+子供世帯」の女性（23.8%）、男性（33.9%）
 - － 介護ありの「単独世帯」の女性（24.1%）、男性（25.0%）
 - － 介護ありの「夫婦のみ世帯」の男性（30.5%）
 - － 介護ありの「夫婦+子供世帯」の女性（30.1%）、男性（41.0%）

イ. 家事時間

- ・ 家事時間については、「現状のままでよい」という回答が6割程度～7割程度の幅にあるが、介護なしの「単独世帯」の男性（80.0%）と介護なしの「夫婦のみ世帯」の男性（83.6%）は8割を超えている。
- ・ 家事時間について「増やしたい」という回答割合は、おおむね1割以下である。
- ・ 家事時間について「減らしたい」という回答が2割を超えるのは、
 - － 介護なしの「夫婦のみ世帯」の女性（22.0%）
 - － 介護なしの「夫婦+子供世帯」の女性（33.0%）
 - － 「ひとり親+子供世帯」の女性（29.9%）
 - － 介護ありの「単独世帯」の男性（33.3%）
 - － 介護ありの「夫婦のみ世帯」の女性（29.5%）
 - － 介護ありの「夫婦+子供世帯」の女性（32.1%）、男性（22.9%）

ウ. 育児時間

- ・ 育児時間については、「現状のままでよい」という回答が7割程度～8割程度の幅にある。
- ・ 育児時間について「増やしたい」という回答割合が2割を超えるのは、いずれの世帯においても男女ともに無いが、「夫婦+子供世帯」の男性は15%程度となっている。
- ・ 育児時間について「減らしたい」という回答が2割を超えるのは、いずれの世帯においても男女ともに無いが、介護を行っていない「夫婦+子供世帯」の女性、「ひとり親+子供世帯」の女性、介護を行っている「夫婦+子供世帯」の女性と男性で15%程度となっている。

エ. 自由時間

- ・ 自由時間については、「現状のままでよい」という回答が5割程度～8割程度の幅にある。
- ・ 「家族と楽しむ・くつろぐ時間」について「増やしたい」という回答割合が3割を超えるのは、
 - － 介護なしの「夫婦+子供世帯」の女性（32.6%）、男性（33.2%）
 - － 「ひとり親+子供世帯」の女性（38.4%）

- 介護ありの「夫婦+子供世帯」の女性 (34.2%)、男性 (35.1%)
- ・ 「友人と楽しむ・くつろぐ時間」について「増やしたい」という回答が3割を超えるのは、
 - 介護なしの「夫婦+子供世帯」の女性 (30.4%)
 - 「ひとり親+子供世帯」の女性 (37.5%)
 - 介護ありの「単独世帯」の女性 (34.5%)
 - 介護ありの「夫婦+子供世帯」の女性 (34.7%)
- ・ 「ひとりで楽しむ・くつろぐ時間」について「増やしたい」という回答が3割を超えるのは、
 - 介護なしの「単独世帯」の女性 (30.9%)
 - 介護なしの「夫婦+子供世帯」の女性 (36.5%)、男性 (32.6%)
 - 「ひとり親+子供世帯」の女性 (41.7%)、男性 (33.1%)
 - 介護ありの「単独世帯」の女性 (44.8%)
 - 介護ありの「夫婦+子供世帯」の女性 (31.1%)、男性 (36.7%)
- ・ 自由時間については、「減らしたい」という回答はおおむね1割程度以下にとどまる。ただし、介護ありの「単独世帯」の男性は、20.8%が「ひとりで楽しむ・くつろぐ時間」を減らしたいと回答している (女性は0.0%)。

【分析の視点】

- 女性の中で「仕事等時間」を増やしたいという希望の属性

★分析⑫★

1日の生活時間配分の希望（家族類型ごと女性について無業（家事・通学・その他）・短時間勤務・フルタイムを区分）

a. 育児なし・介護なしの回答者

図表 69 就業形態別1日の生活時間配分の希望（単独世帯 女性）

図表 70 就業形態別1日の生活時間配分の希望（夫婦のみ世帯 女性）

b. 育児あり・介護なしの回答者

図表 71 就業形態別1日の生活時間配分の希望（夫婦+子供世帯 女性）

図表 72 就業形態別1日の生活時間配分の希望（ひとり親+子供世帯 女性）

c. 介護ありの回答者

図表 73 就業形態別1日の生活時間配分の希望（単独世帯 女性）

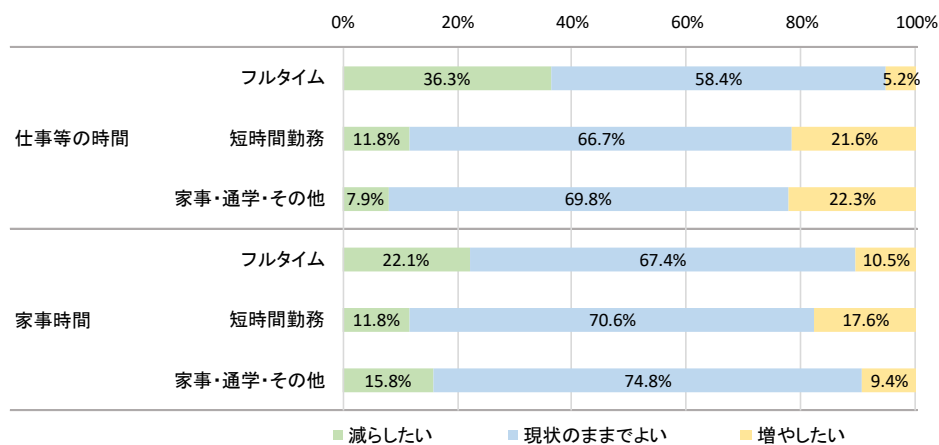
図表 74 就業形態別1日の生活時間配分の希望（夫婦のみ世帯 女性）

図表 75 就業形態別1日の生活時間配分の希望（夫婦+子供世帯 女性）

a. 育児なし・介護なしの回答者

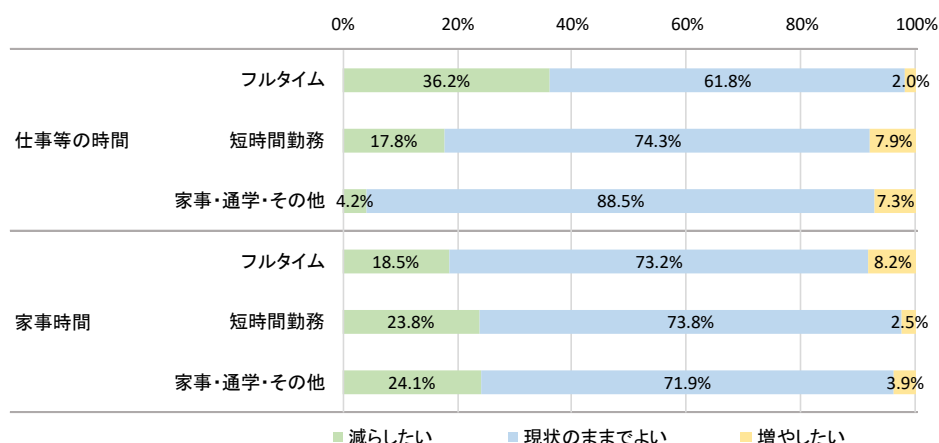
図表 69 就業形態別1日の生活時間配分の希望（単独世帯 女性）

フルタイム：n=344、短時間勤務：n=51、家事・通学・その他：n=139



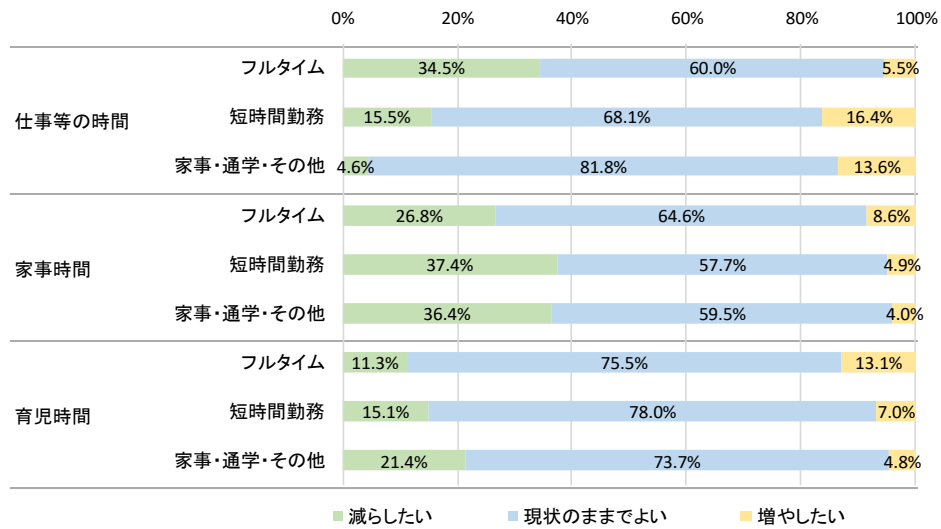
図表 70 就業形態別1日の生活時間配分の希望（夫婦のみ世帯 女性）

フルタイム：n=497、短時間勤務：n=202、家事・通学・その他：n=684

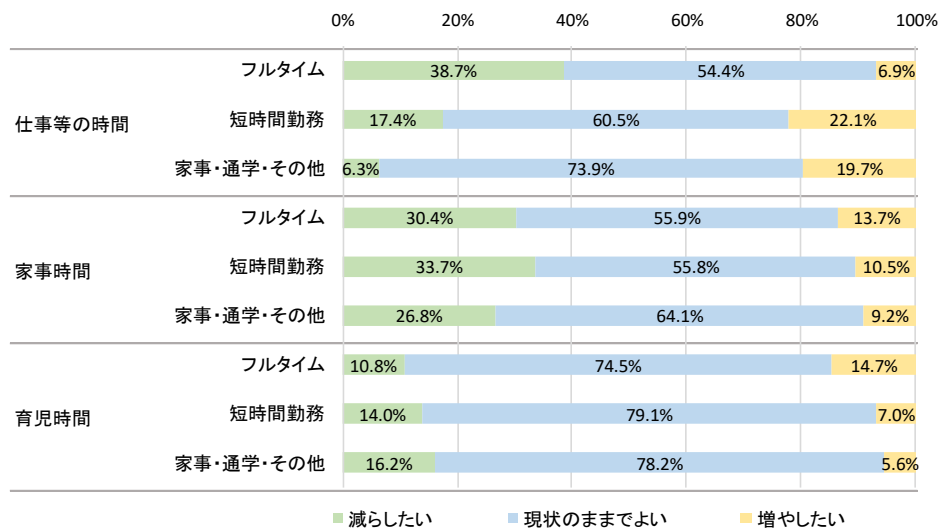


b. 育児あり・介護なしの回答者

図表 71 就業形態別1日の生活時間配分の希望（夫婦＋子供世帯 女性）
フルタイム：n=1,333、短時間勤務：n=690、家事・通学・その他：n=1,493



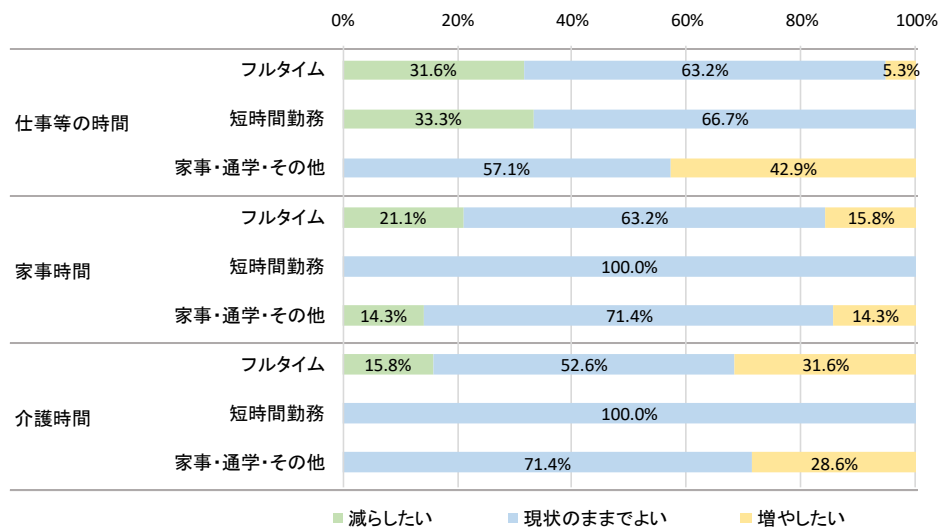
図表 72 就業形態別1日の生活時間配分の希望（ひとり親＋子供世帯 女性）
フルタイム：n=204、短時間勤務：n=86、家事・通学・その他：n=142



c. 介護ありの回答者

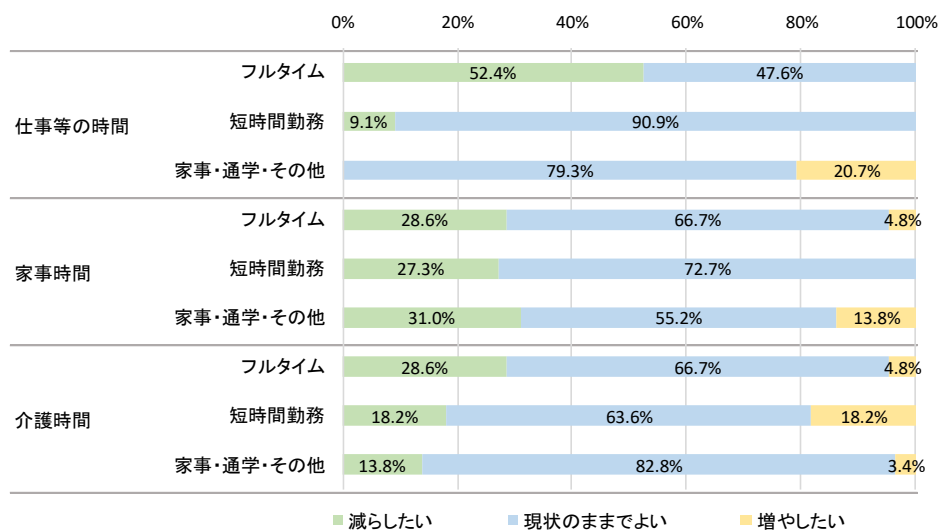
図表 73 就業形態別1日の生活時間配分の希望（単独世帯 女性）

フルタイム：n=19、短時間勤務：n=3、家事・通学・その他：n=7



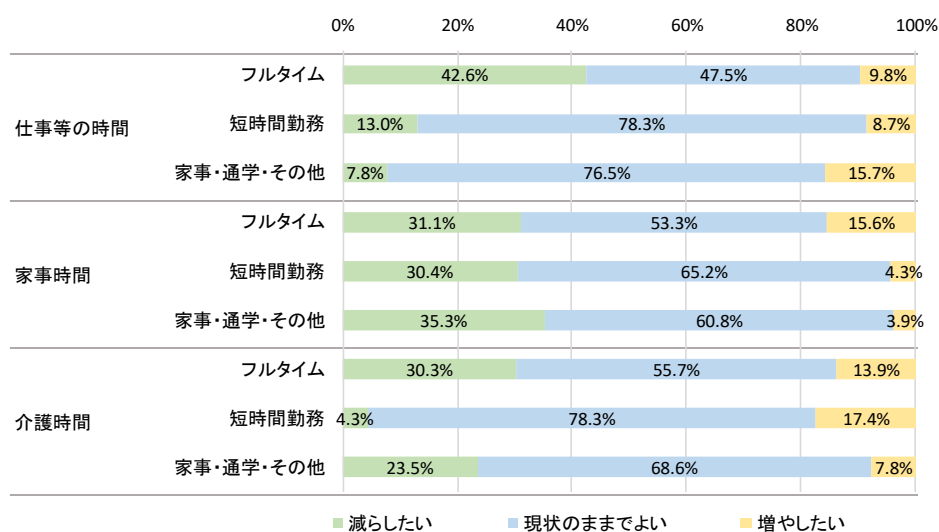
図表 74 就業形態別1日の生活時間配分の希望（夫婦のみ世帯 女性）

フルタイム：n=21、短時間勤務：n=11、家事・通学・その他：n=29



図表 75 就業形態別 1日の生活時間配分の希望（夫婦＋子供世帯 女性）

フルタイム：n=122、短時間勤務：n=23、家事・通学・その他：n=51



【分析結果】＜図表 69～図表 75 参照＞

- ・ 仕事等時間については、「現状のままでよい」という回答が5割程度～9割程度の幅にある。
- ・ 仕事等時間について「増やしたい」という回答割合が2割を超えるのは、
 - 短時間勤務の女性 介護なしの「単独世帯」(21.6%)、「ひとり親＋子供世帯」(22.1%)
 - 無業の女性 介護なしの「単独世帯」(22.3%)、介護ありの「単独世帯」(42.9%)、介護ありの「夫婦のみ世帯」(20.7%)
 - フルタイムの女性 無し
- ・ フルタイムの女性は、仕事等時間について「減らしたい」という回答が、いずれの世帯類型でも3割を超える。「減らしたい」という回答割合が特に高いのは、介護ありの「夫婦のみ世帯」(52.4%)、介護ありの「夫婦＋子供世帯」(42.6%)である。

(2) 「育児時間」と満足度等との関係

【分析の視点】

- 育児時間が長いことと満足度やディストレスとの関係

★分析⑬★

- a. 育児をしている人の「育児時間（5区分）」（無業者については6区分。以下 b. c. において同じ。）×「育児時間」の過ごし方についての満足度（男女別）

図表 76 育児時間の長さ別に見た「育児時間」の過ごし方の満足度

- b. 育児をしている人の育児時間（5区分）×生活全般の満足度

図表 77 育児時間の長さ別に見た生活全般の満足度

- c. 育児をしている人の「育児時間（5区分）」×ディストレスの合成得点（男女別）

図表 78 育児時間の長さ別に見たディストレス（抑うつ・不安）の合成得点及び平均点

- d. 末子が2歳以下の無業者女性についての a. ～c.

図表 79 育児時間別に見た生活全般の満足度及びディストレスの合成得点

- e. ディストレスの合成得点について上位10%の人の特徴

- 以下の条件を満たす人を対象にして集計する。

- ・ 「ふだんの健康状態」が「ふつう」「まあ良い」「良い」
- ・ 世帯年収が200万円～1500万円未満
- ・ 同居している中学生以下の子どもがいる人

図表 80 就業状況別家事分担割合の分布状況：女性全体

図表 81 就業状況別家事分担割合の分布状況：女性上位10%

図表 82 就業状況別家事分担割合の分布状況：男性全体

図表 83 就業状況別家事分担割合の分布状況：男性上位10%

図表 84 就業形態別育児分担割合：女性全体

図表 85 就業形態別育児分担割合：女性上位10%

図表 86 就業形態別育児分担割合：男性全体

図表 87 就業形態別育児分担割合：男性上位10%

【参考値】本集計の条件を満たす回答者の「育児時間」の平均は以下のとおり

有業者女性（仕事のある日）：1時間49分

（仕事のない日）：3時間7分

有業者男性（仕事のある日）：52分

（仕事のない日）：2時間27分

無業者女性（普段の日）：4時間53分

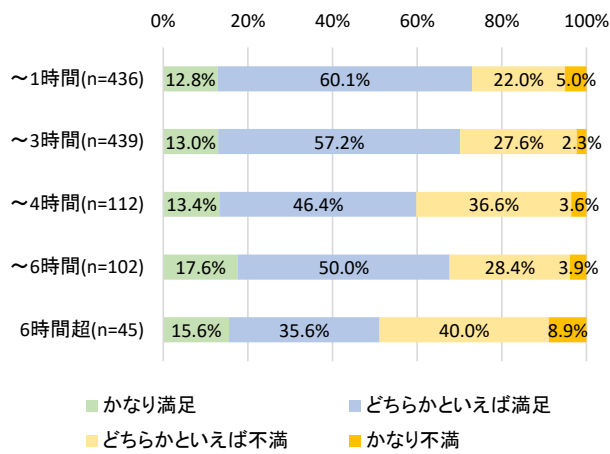
無業者男性（普段の日）：4時間18分

末子が2歳以下の無業者女性（普段の日）：7時間15分

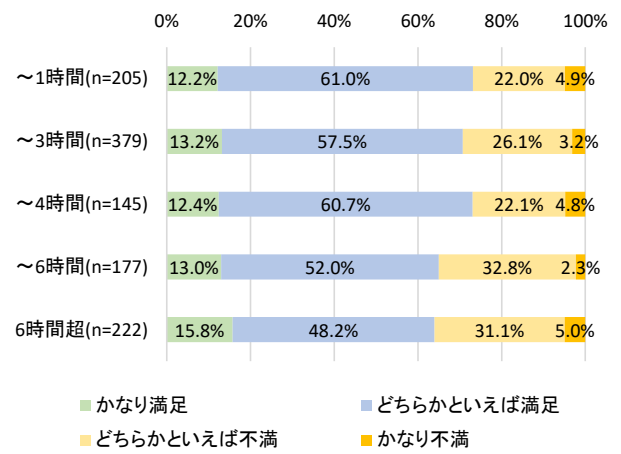
a. 育児時間の長さ別に見た「育児時間」の過ごし方の満足度

図表 76 育児時間の長さ別に見た「育児時間」の過ごし方の満足度

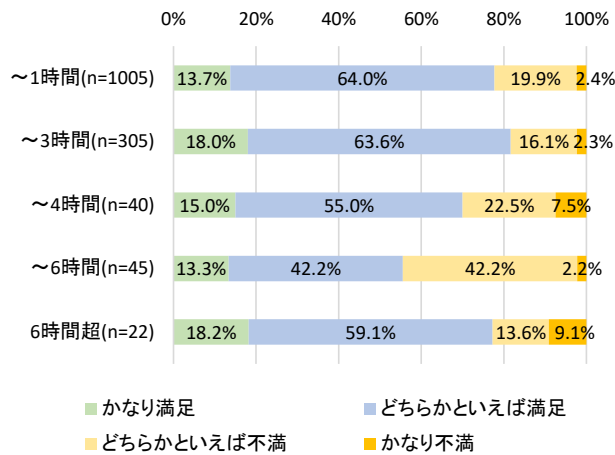
<有業者女性：仕事のある日>



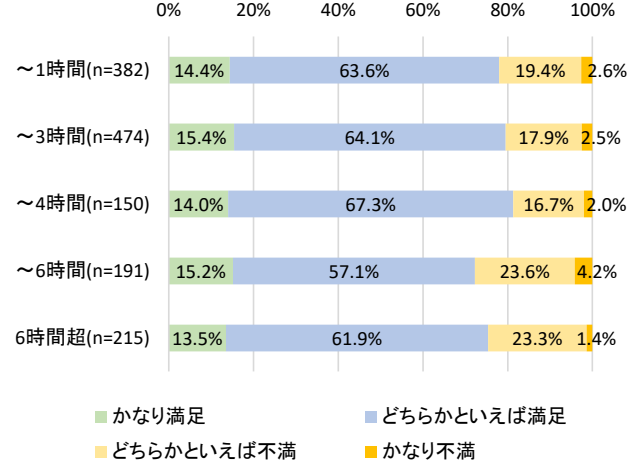
<有業者女性：仕事のない日>



<有業者男性：仕事のある日>



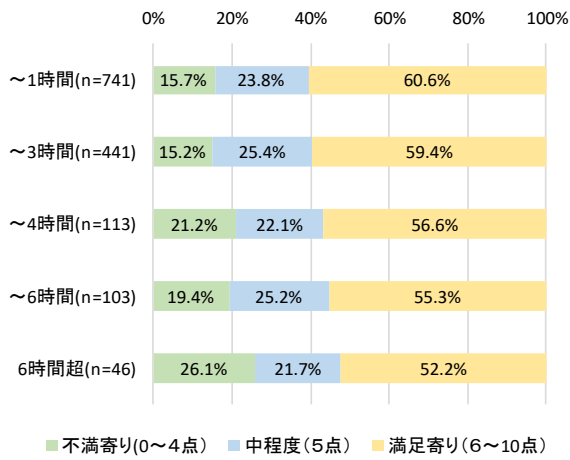
<有業者男性：仕事のない日>



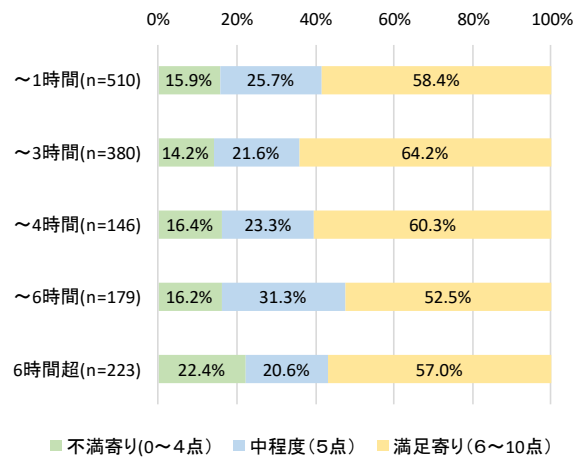
b. 育児時間の長さ別に見た生活全般の満足度

図表 77 育児時間の長さ別に見た生活全般の満足度

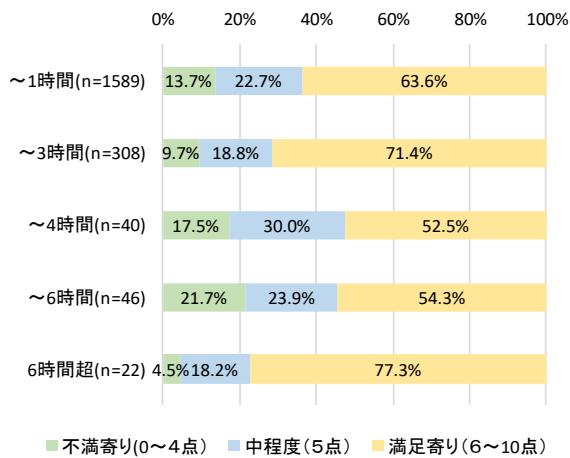
<有業者女性：仕事のある日>



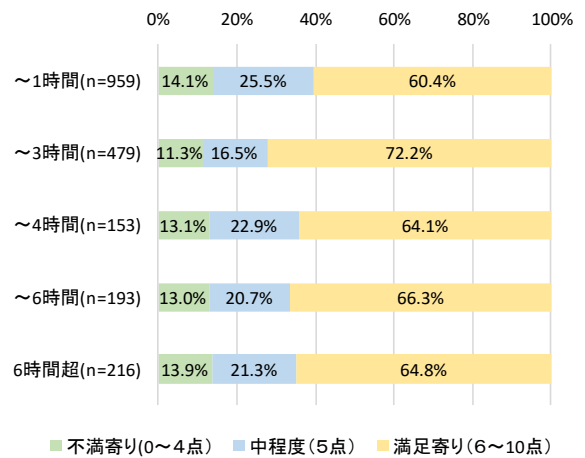
<有業者女性：仕事のない日>



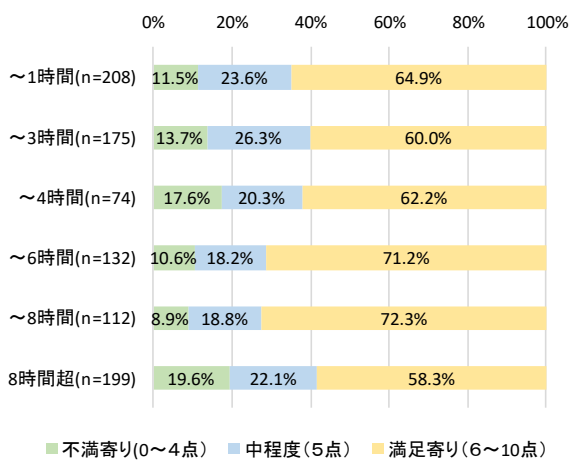
<有業者男性：仕事のある日>



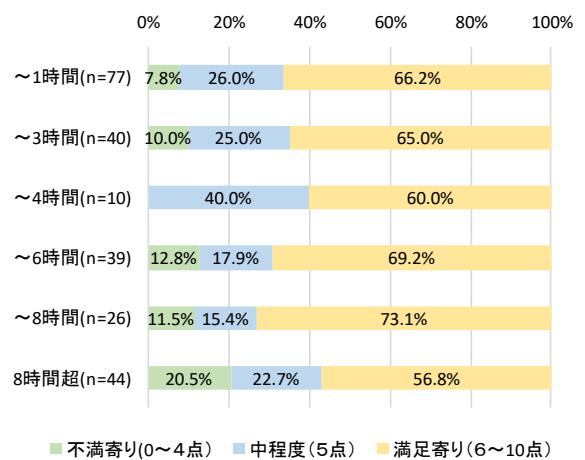
<有業者男性：仕事のない日>



<無業者女性：普段の日>



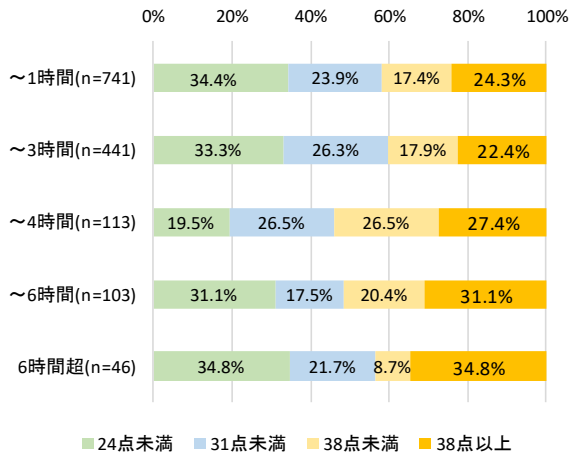
<無業者男性：普段の日>



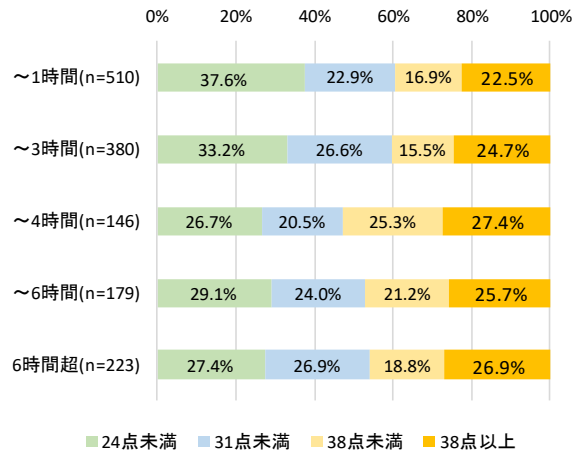
c. 育児時間の長さ別に見たディストレス（抑うつ・不安）の合成得点¹⁰

図表 78 育児時間の長さ別に見たディストレス（抑うつ・不安）の合成得点及び平均点

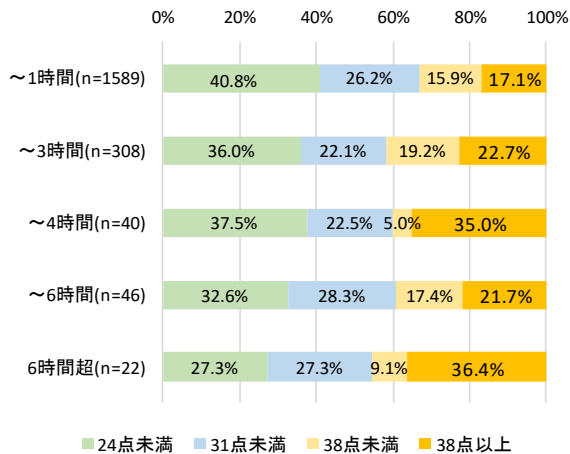
<有業者女性：仕事のある日>平均得点 29.0



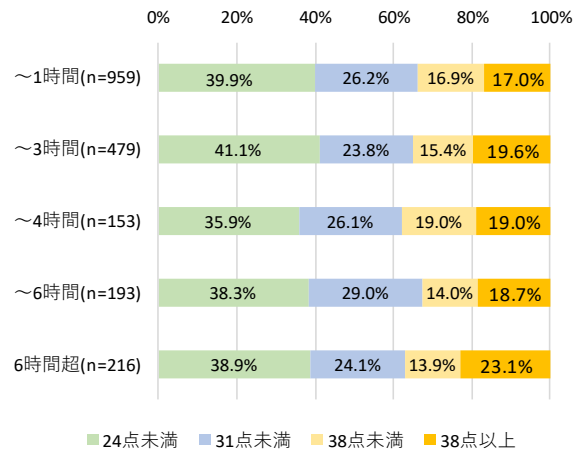
<有業者女性：仕事のない日>平均得点 29.0



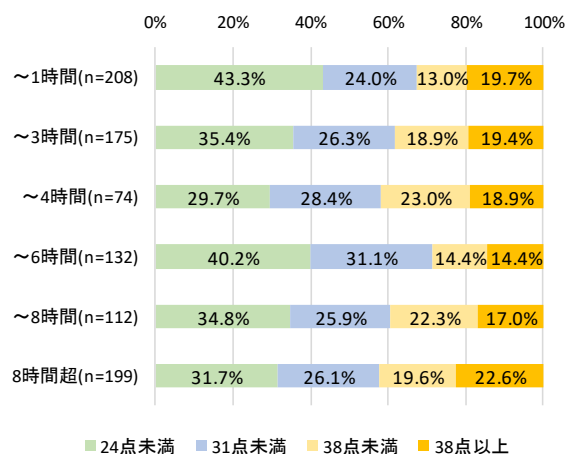
<有業者男性：仕事のある日>平均得点 27.5



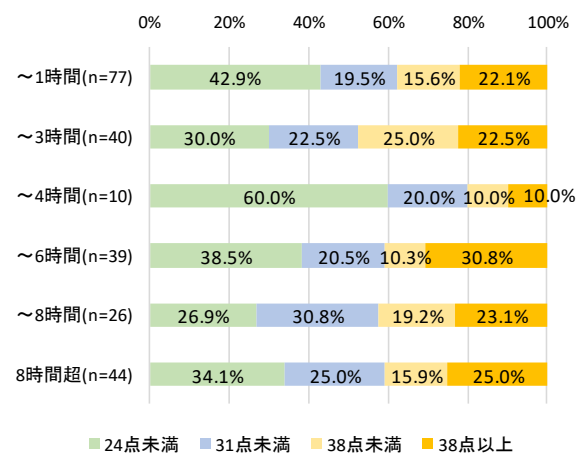
<有業者男性：仕事のない日>平均得点 27.5



<無業者女性：普段の日>平均得点 27.2



<無業者男性：普段の日>平均得点 26.1

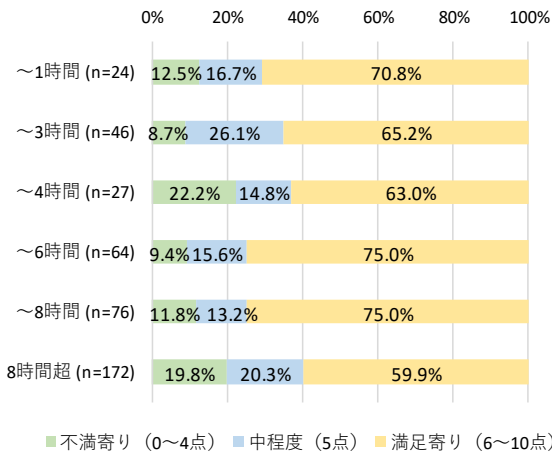


¹⁰ ディストレスの設問は、日本家族社会学会が1998年度から経年的に実施にしている「全国家族調査」における「からだや心の状態」等の設問にならった。本分析では、回答選択肢のうち、「ほとんど毎日（週単位の質問。以下同じ）/何度もあった（月単位の質問。以下同じ）」を4点、「週に3～4日/ときどきあった」を3点、「週に1～2日/ごくまれにあった」を2点、「まったくなかった」を1点とする方法（ディストレスが強い回答選択肢ほど高得点にする方法）で点数化し合計得点68点の中での分布を見た。但し頻度が低いほどディストレスが強い設問1問（「この1カ月ほどの間に、あなたには次のようなことがどのくらいありましたか」という設問）については、配点を逆転させている。

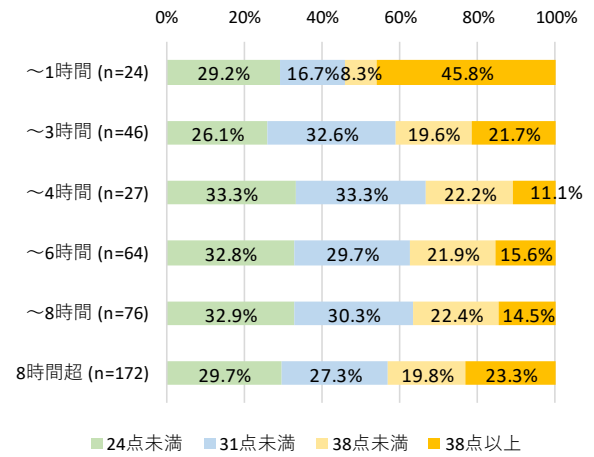
d. 末子が2歳以下の無業者女性についての a. ~c.

図表 79 育児時間別に見た生活全般の満足度及びディストレスの合成得点

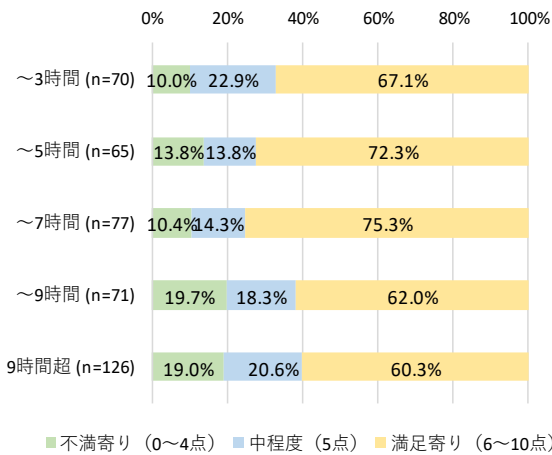
<育児時間別に見た生活全般の満足度>
(6区分)



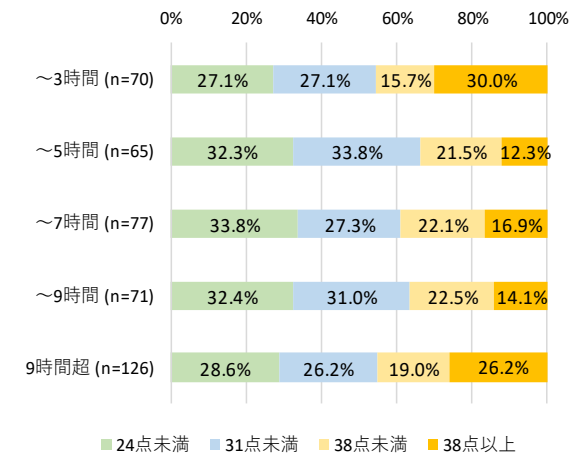
<育児時間別に見たディストレスの合成得点>
(6区分)



<育児時間別に見た生活全般の満足度>
(5区分)



<育児時間別に見たディストレスの合成得点>
(5区分)



e. ディストレスの合成得点について上位10%の人（末子が小学3年以下）における就業状況別家事分担割合の分布状況

図表 80 就業状況別家事分担割合の分布状況：女性全体

	小計	20%未満	40%未満	60%未満	80%未満	80%以上
小計	1467 (100.0%)	85 (5.8%)	107 (7.3%)	160 (10.9%)	263 (17.9%)	852 (58.1%)
フルタイム	569 (100.0%)	56 (9.8%)	88 (15.5%)	105 (18.5%)	108 (19.0%)	212 (37.3%)
短時間勤務	256 (100.0%)	5 (2.0%)	3 (1.2%)	21 (8.2%)	50 (19.5%)	177 (69.1%)
家事・通学・その他	642 (100.0%)	24 (3.7%)	16 (2.5%)	34 (5.3%)	105 (16.4%)	463 (72.1%)

図表 81 就業状況別家事分担割合の分布状況：女性上位10%

	小計	20%未満	40%未満	60%未満	80%未満	80%以上
小計	160 (100.0%)	11 (6.9%)	11 (6.9%)	26 (16.3%)	21 (13.1%)	91 (56.9%)
フルタイム	74 (100.0%)	6 (8.1%)	8 (10.8%)	17 (23.0%)	10 (13.5%)	33 (44.6%)
短時間勤務	31 (100.0%)	0 (0.0%)	2 (6.5%)	4 (12.9%)	7 (22.6%)	18 (58.1%)
家事・通学・その他	55 (100.0%)	5 (9.1%)	1 (1.8%)	5 (9.1%)	4 (7.3%)	40 (72.7%)

図表 82 就業状況別家事分担割合の分布状況：男性全体

	小計	20%未満	40%未満	60%未満	80%未満	80%以上
小計	1461 (100.0%)	440 (30.1%)	467 (32.0%)	254 (17.4%)	68 (4.7%)	232 (15.9%)
フルタイム	1229 (100.0%)	417 (33.9%)	449 (36.5%)	237 (19.3%)	39 (3.2%)	87 (7.1%)
短時間勤務	44 (100.0%)	4 (9.1%)	1 (2.3%)	3 (6.8%)	6 (13.6%)	30 (68.2%)
家事・通学・その他	188 (100.0%)	19 (10.1%)	17 (9.0%)	14 (7.4%)	23 (12.2%)	115 (61.2%)

図表 83 就業状況別家事分担割合の分布状況：男性上位10%

	小計	20%未満	40%未満	60%未満	80%未満	80%以上
小計	149 (100.0%)	27 (18.1%)	32 (21.5%)	36 (24.2%)	6 (4.0%)	48 (32.2%)
フルタイム	118 (100.0%)	25 (21.2%)	32 (27.1%)	32 (27.1%)	5 (4.2%)	24 (20.3%)
短時間勤務	5 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	4 (80.0%)
家事・通学・その他	26 (100.0%)	2 (7.7%)	0 (0.0%)	4 (15.4%)	0 (0.0%)	20 (76.9%)

図表 84 就業形態別育児分担割合：女性全体

	小計	20%未満	40%未満	60%未満	80%未満	80%以上
小計	1467 (100.0%)	82 (5.6%)	108 (7.4%)	150 (10.2%)	257 (17.5%)	870 (59.3%)
フルタイム	569 (100.0%)	55 (9.7%)	88 (15.5%)	98 (17.2%)	109 (19.2%)	219 (38.5%)
短時間勤務	256 (100.0%)	7 (2.7%)	3 (1.2%)	17 (6.6%)	59 (23.0%)	170 (66.4%)
家事・通学・その他	642 (100.0%)	20 (3.1%)	17 (2.6%)	35 (5.5%)	89 (13.9%)	481 (74.9%)

図表 85 就業形態別育児分担割合：女性上位 10%

	小計	20%未満	40%未満	60%未満	80%未満	80%以上
小計	160 (100.0%)	11 (6.9%)	11 (6.9%)	24 (15.0%)	18 (11.3%)	96 (60.0%)
フルタイム	74 (100.0%)	7 (9.5%)	10 (13.5%)	17 (23.0%)	9 (12.2%)	31 (41.9%)
短時間勤務	31 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (6.5%)	6 (19.4%)	23 (74.2%)
家事・通学・その他	55 (100.0%)	4 (7.3%)	1 (1.8%)	5 (9.1%)	3 (5.5%)	42 (76.4%)

図表 86 就業形態別育児分担割合：男性全体

	小計	20%未満	40%未満	60%未満	80%未満	80%以上
小計	1461 (100.0%)	417 (28.5%)	535 (36.6%)	222 (15.2%)	71 (4.9%)	216 (14.8%)
フルタイム	1229 (100.0%)	394 (32.1%)	514 (41.8%)	207 (16.8%)	41 (3.3%)	73 (5.9%)
短時間勤務	44 (100.0%)	5 (11.4%)	1 (2.3%)	2 (4.5%)	8 (18.2%)	28 (63.6%)
家事・通学・その他	188 (100.0%)	18 (9.6%)	20 (10.6%)	13 (6.9%)	22 (11.7%)	115 (61.2%)

図表 87 就業形態別育児分担割合：男性上位 10%

	小計	20%未満	40%未満	60%未満	80%未満	80%以上
小計	149 (100.0%)	30 (20.1%)	30 (20.1%)	34 (22.8%)	14 (9.4%)	41 (27.5%)
フルタイム	118 (100.0%)	29 (24.6%)	29 (24.6%)	31 (26.3%)	12 (10.2%)	17 (14.4%)
短時間勤務	5 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	4 (80.0%)
家事・通学・その他	26 (100.0%)	1 (3.8%)	1 (3.8%)	3 (11.5%)	1 (3.8%)	20 (76.9%)

【分析結果】

① 育児時間の長さ別に見た「育児時間」の過ごし方の満足度＜図表 76 参照＞

- ・ 女性は、おおむね育児時間が長いほど満足度が下がる傾向にある。
- ・ 男性は、「仕事のある日」については、「6時間超」の者を除き、育児時間が長くなると満足度が下がる。ただし、「6時間超」の者は回答者が非常に少ないことに留意が必要である。「仕事のない日」については、育児時間の長さで満足度に顕著な関係が見られない。
- ・ 「どちらかといえば不満」と「かなり不満」の合計が最も高いのは、有業者女性で、「仕事のある日」の育児時間が「6時間超」の者であり、48.9%に上る。「仕事のない日」でも「6時間超」の者は、36.1%に上る。

② 育児時間の長さ別に見た生活全般の満足度＜図表 77 参照＞

- ・ 有業者は、女性は「仕事のある日」の育児時間が「6時間超」の者、男性は「仕事のある日」の「4～6時間」の者が最も満足度が低い。
- ・ 無業者は、男女いずれも、「8時間超」の者が最も満足度が低い。
- ・ 有業者女性は、「仕事のある日」の育児時間が長くなると満足度が下がる傾向にある。

③ 育児時間の長さ別に見たディストレス（抑うつ・不安）の合成得点＜図表 78 参照＞

- ・ 最も育児時間が長い者（有業者の場合は「6時間超」、無業者の場合は「8時間超」）は、ディストレスの高得点層（「38点以上」）が最も多い。ただし、有業者女性の「仕事のない日」、無業者男性は当てはまらない。
- ・ 有業者女性は、「仕事のある日」の育児時間が長いほど、ディストレスの高得点層が多い。

④ 末子が2歳以下の無業者女性＜図表 79 参照＞

- ・ 最も育児時間が長い区分（「9時間超」）は、生活全般の満足度が最も低い。ディストレスの合成得点についても、育児時間が短い者（「3～5時間」や「～7時間」）よりも長い者（「7～9時間」や「9時間超」）の方が、高得点層が多い。ただし、育児時間が最も短い「～3時間」の者も、「3～5時間」の者よりディストレスの高得点層が多い。

⑤ ディストレスの合成得点における上位10%以上の人（末子が小学3年生以下）（就業状況別）の家事分担割合の分布状況＜図表 80～図表 83 参照＞

- ・ 男性は、上位10%層において、分担割合が80%以上の者が多い（全体は15.9%だが、上位10%層は32.2%）。女性もフルタイムの場合、上位10%層では、分担割合が80%以上の者が多い。

(3) 「介護時間」と満足度等との関係

【分析の視点】

- 介護時間が長いことと満足度やディストレスとの関係

★分析⑭★

- a. 介護をしている人の「介護時間（5区分）」（無業者については6区分。以下b. c. において同じ。）×「介護時間」の過ごし方についての満足度（男女別）

図表 88 介護時間別に見た「介護時間」の過ごし方の満足度

- b. 介護をしている人の「介護時間（5区分）」×生活全般の満足度（男女別）

図表 89 介護時間の長さ別に見た生活全般の満足度

- c. 介護をしている人の育児時間（5区分）×ディストレスの合成得点

- 以下の条件を満たす人を対象にして集計する。

- ・ 「ふだんの健康状態」が「ふつう」「まあ良い」「良い」
- ・ 世帯年収が200万円～1500万円未満
- ・ 自身が介護をしている人

図表 90 介護時間の長さ別に見たディストレス（抑うつ・不安）の合成得点及び平均点

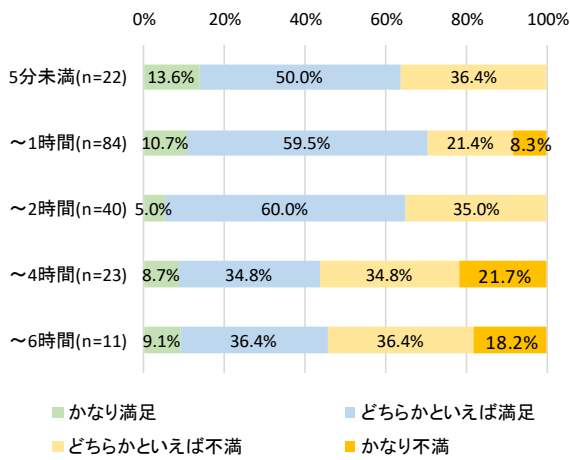
【参考値】「介護時間」の平均は以下のとおり

有業者女性（仕事のある日）	: 1 時間 12 分
（仕事のない日）	: 2 時間 0 分
有業者男性（仕事のある日）	: 51 分
（仕事のない日）	: 1 時間 45 分
無業者女性（普段の日）	: 2 時間 25 分
無業者男性（普段の日）	: 1 時間 58 分

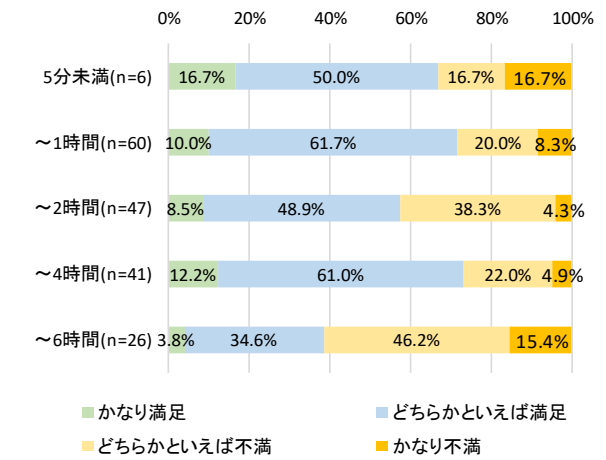
a. 介護時間別に見た「介護時間」の過ごし方の満足度

図表 88 介護時間別に見た「介護時間」の過ごし方の満足度

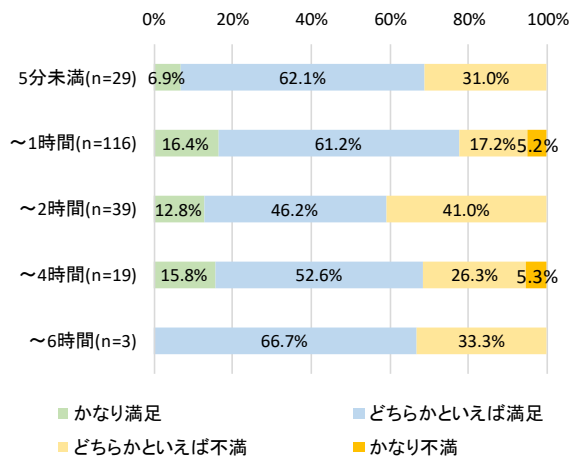
<有業者女性：仕事のある日>



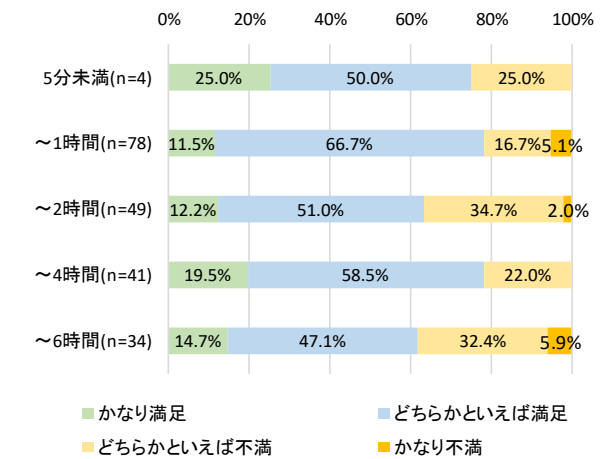
<有業者女性：仕事のない日>



<有業者男性：仕事のある日>



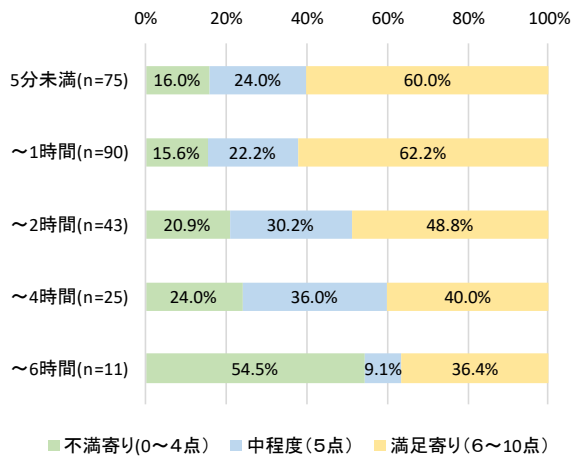
<有業者男性：仕事のない日>



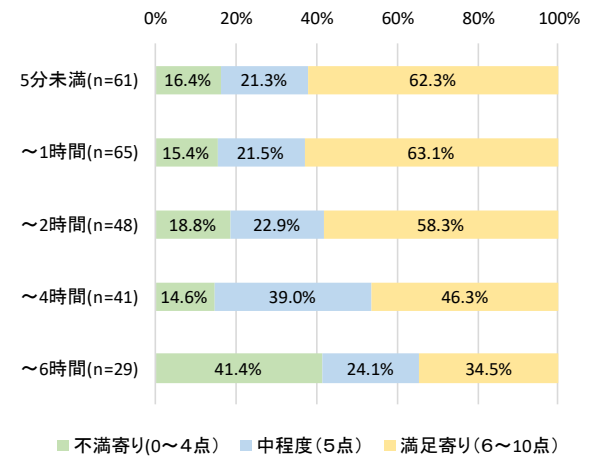
b. 介護時間の長さ別に見た生活全般の満足度

図表 89 介護時間の長さ別に見た生活全般の満足度

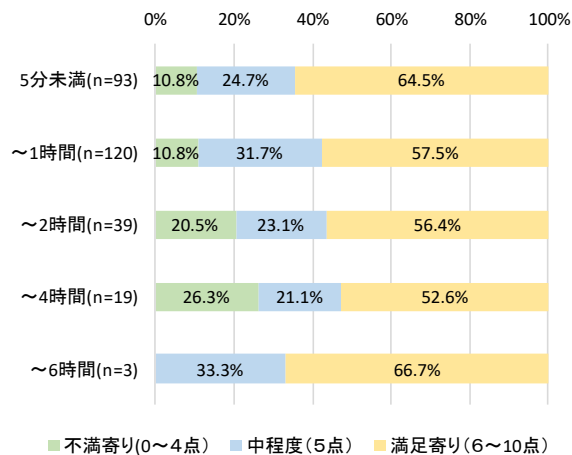
<有業者女性：仕事のある日>



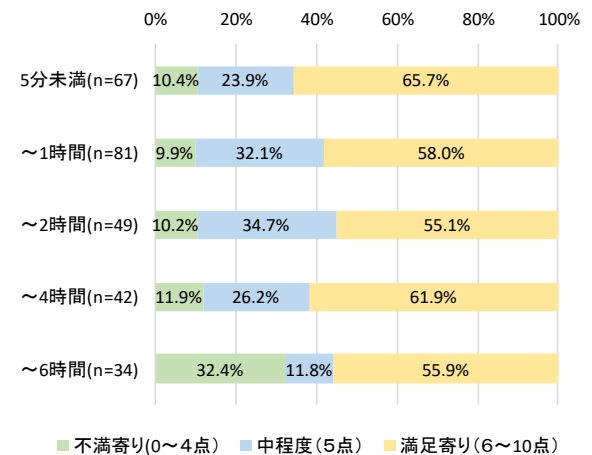
<有業者女性：仕事のない日>



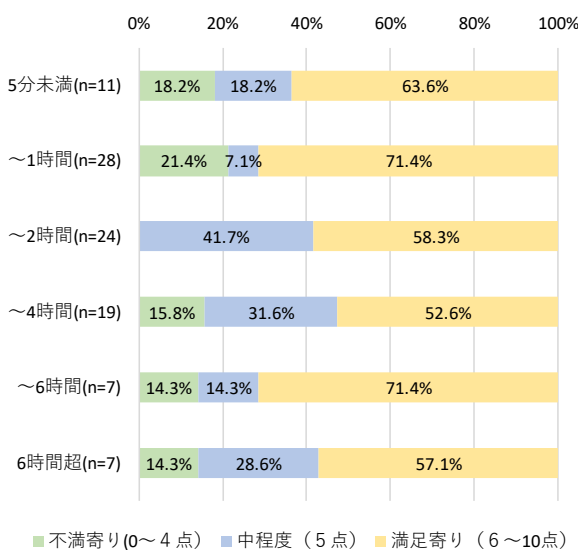
<有業者男性：仕事のある日>



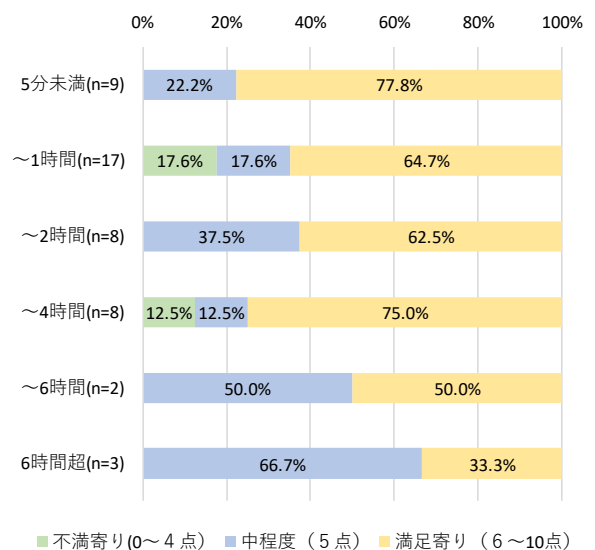
<有業者男性：仕事のない日>



<無業者女性：普段の日>



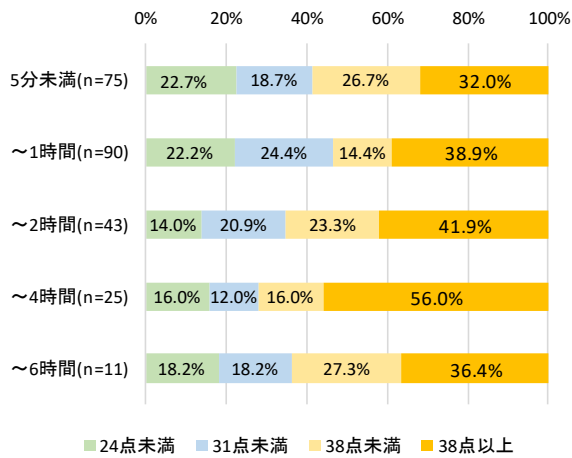
<無業者男性：普段の日>



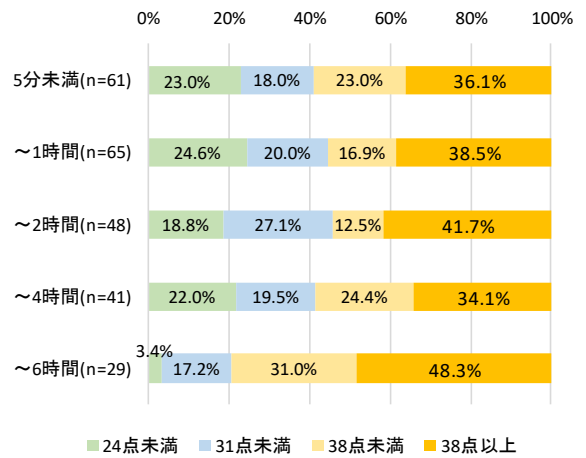
c. 介護時間の長さ別に見たディストレス（抑うつ・不安）の合成得点

図表 90 介護時間の長さ別に見たディストレス（抑うつ・不安）の合成得点及び平均点

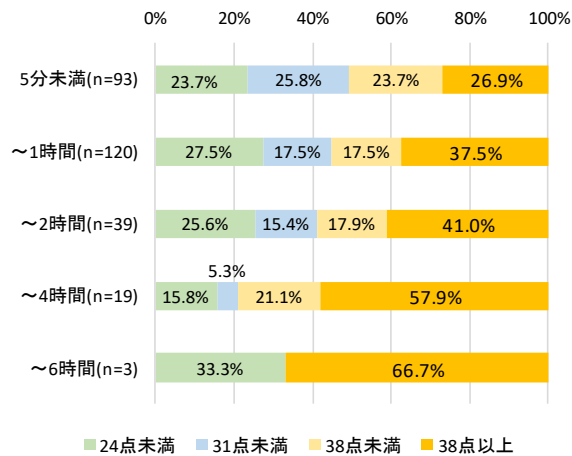
<有業者女性：仕事のある日>平均得点 34.2



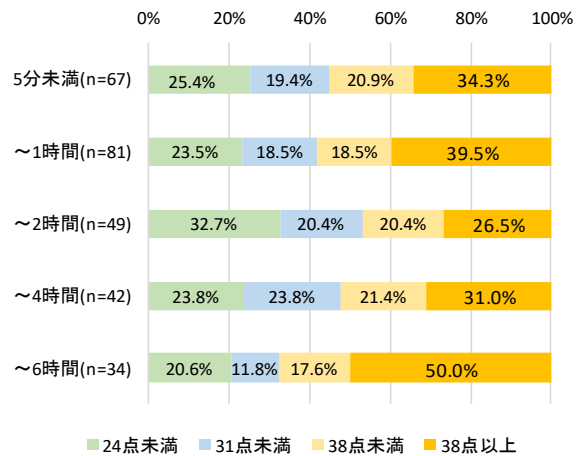
<有業者女性：仕事のない日>平均得点 34.2



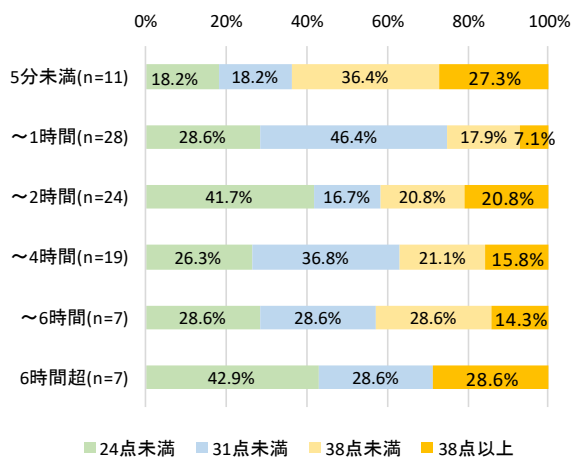
<有業者男性：仕事のある日>平均得点 33.0



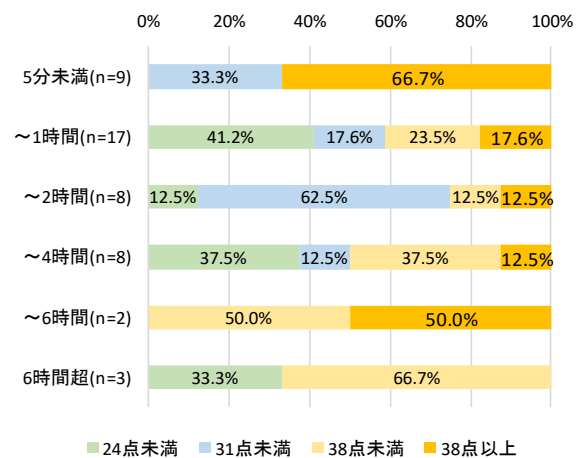
<有業者男性：仕事のない日>平均得点 33.0



<無業者女性：普段の日>平均得点 29.3



<無業者男性：普段の日>平均得点 30.0



【分析結果】

① 介護時間の長さ別に見た「介護時間」の過ごし方の満足度<図表 88 参照>

- ・ 有業者女性は、介護時間の長い層の満足度が低くなっている。
 - 「どちらかといえば不満」と「かなり不満」の合計が高いのは、有業者女性は「仕事のある日」の「2～4時間」の者（56.5%）、「4～6時間」の者（54.6%）となっている。「仕事のない日」は、「4～6時間」の者が最も高い（61.6%）。
- ・ 有業者男性については、介護時間の長さで満足度に顕著な関係は見られないが、「仕事のない日」では「4～6時間」の者が、「どちらかといえば不満」と「かなり不満」の合計が高い（38.3%）。

② 介護時間の長さ別に見た生活全般の満足度<図表 89 参照>

- ・ 有業者女性は、おおむね介護時間が長いほど満足度が下がる傾向にある。
- ・ 有業者男性も、「仕事のある日」については、「4～6時間」の者を除き、介護時間が長いほど満足度が下がる傾向にある。ただし、有業者男性の「仕事のある日」の「4～6時間」の者は、回答者が非常に少ないことに留意が必要である。
- ・ 無業者については、介護時間の長さで満足度に顕著な関係は見られない。

③ 介護時間の長さ別に見たディストレス（抑うつ・不安）の合成得点<図表 90 参照>

- ・ 有業者は、有業者女性の「仕事のある日」の「4～6時間」の者を除き、「仕事のある日」の介護時間が長いほど、ディストレスの高得点層が多い傾向にある。ただし、有業者女性の「仕事のある日」の「4～6時間」の者は、回答者が非常に少ないことに留意が必要である。
- ・ 無業者については、介護時間の長さでディストレスの程度に顕著な関係は見られない。

(4) 「家族や友人と過ごす時間」と満足度等との関係

【分析の視点】

- 「家族や友人と過ごす時間」が短いことと満足度やディストレスとの関係

★分析⑮★

a. 「家族や友人と過ごす時間」×生活全般の満足度（男女別）

図表 91 「家族や友人と過ごす時間」の時間別に見た生活全般の満足度

b. 「家族や友人と過ごす時間」×ディストレスの合成得点（男女別）

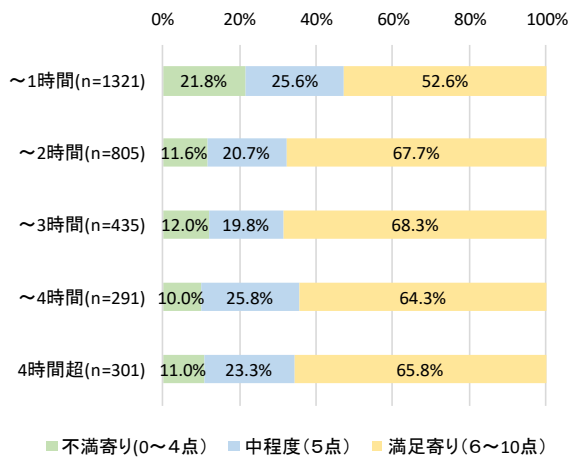
- 「家族や友人と過ごす時間」＝「家族と楽しんだり、くつろいだりする時間」と「友人と楽しんだり、くつろいだりする時間」の合計時間とする。
- 以下の条件を満たす人を対象にして集計する。
 - ・ 「ふだんの健康状態」が「ふつう」「まあ良い」「良い」
 - ・ 世帯年収が200万円～1500万円未満

図表 92 「家族や友人と過ごす時間」の時間別に見たディストレスの合成得点

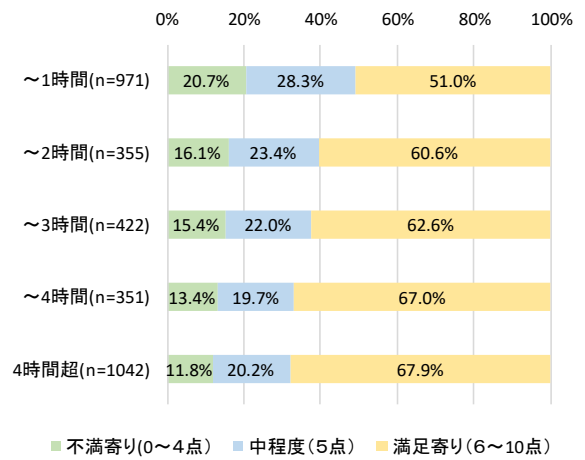
a. 「家族や友人と過ごす時間」の時間別に見た生活全般の満足度

図表 91 「家族や友人と過ごす時間」の時間別に見た生活全般の満足度

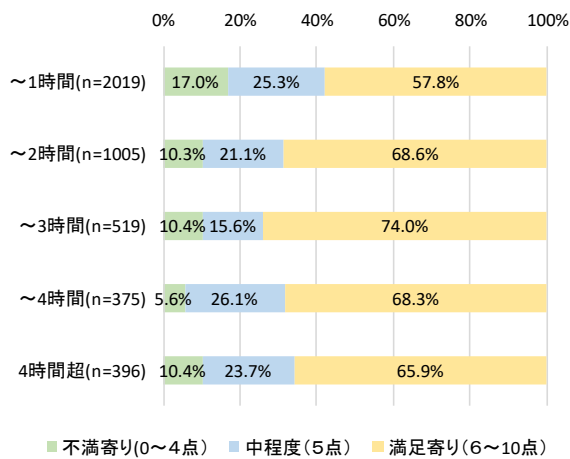
<有業者女性：仕事のある日>



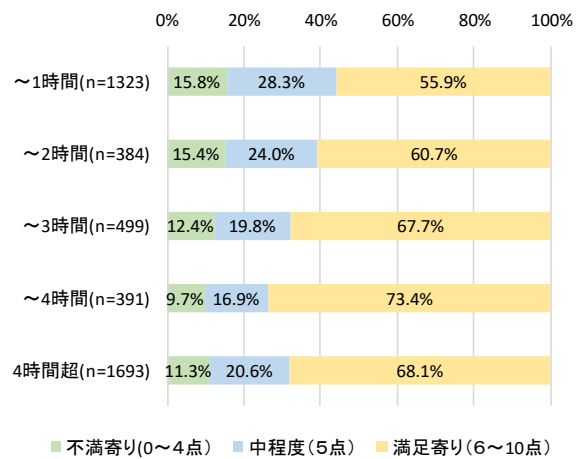
<有業者女性：仕事のない日>



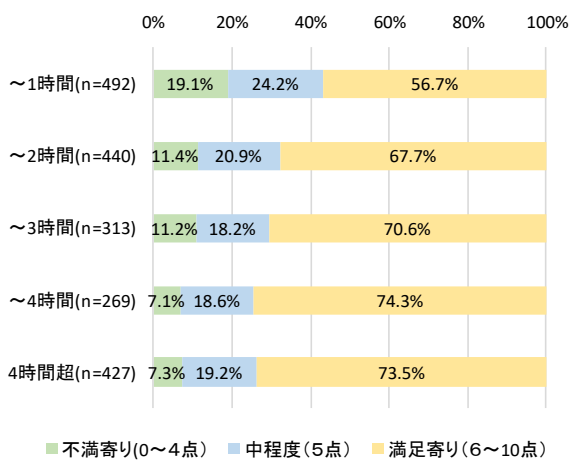
<有業者男性：仕事のある日>



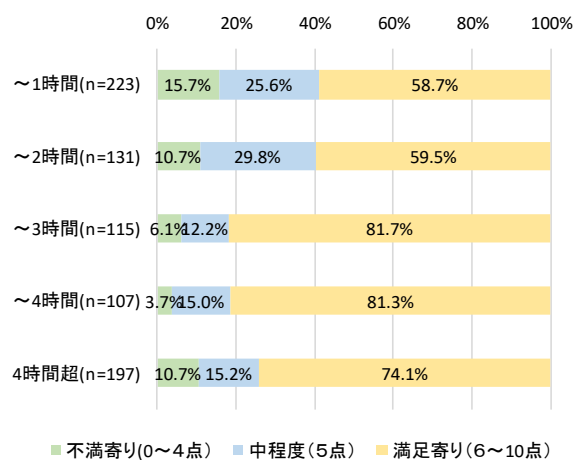
<有業者男性：仕事のない日>



<無業者女性：普段の日>



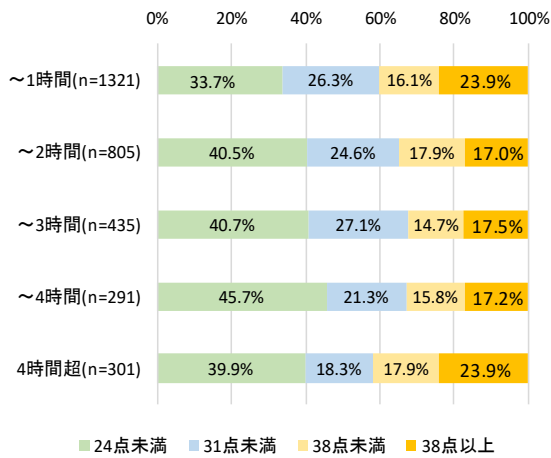
<無業者男性：普段の日>



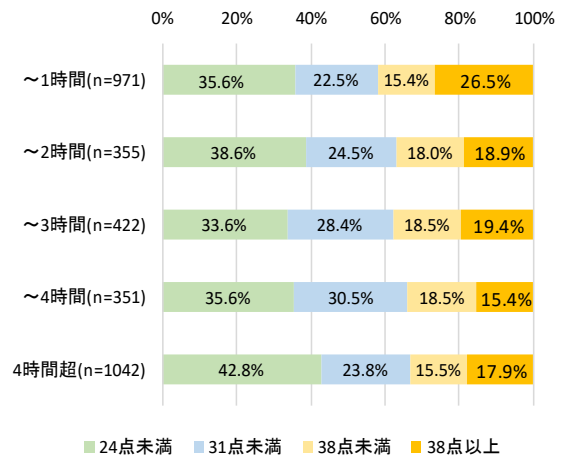
b. 「家族や友人と過ごす時間」の時間別に見たディストレスの合成得点

図表 92 「家族や友人と過ごす時間」の時間別に見たディストレスの合成得点

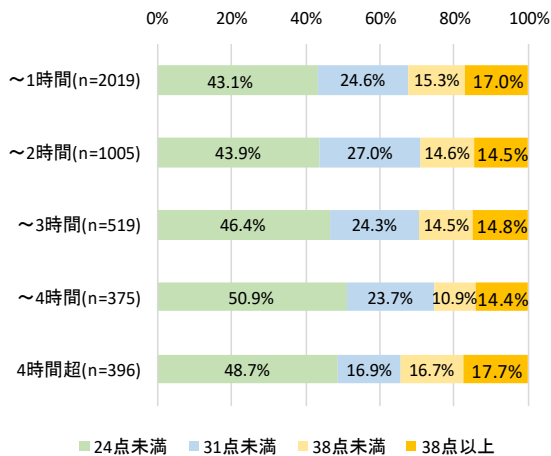
<有業者女性：仕事のある日>



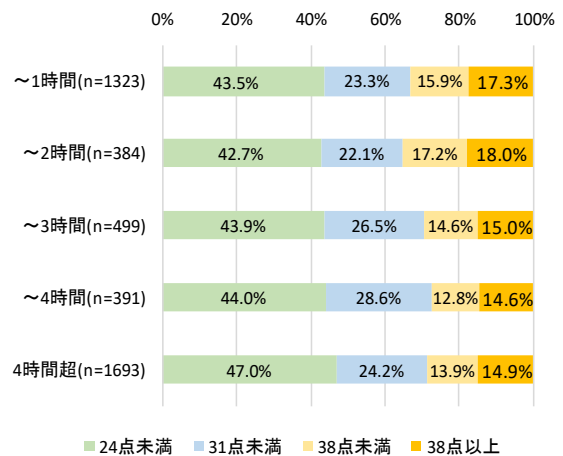
<有業者女性：仕事のない日>



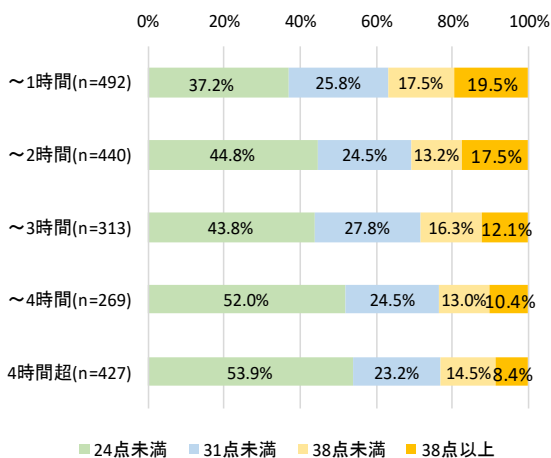
<有業者男性：仕事のある日>



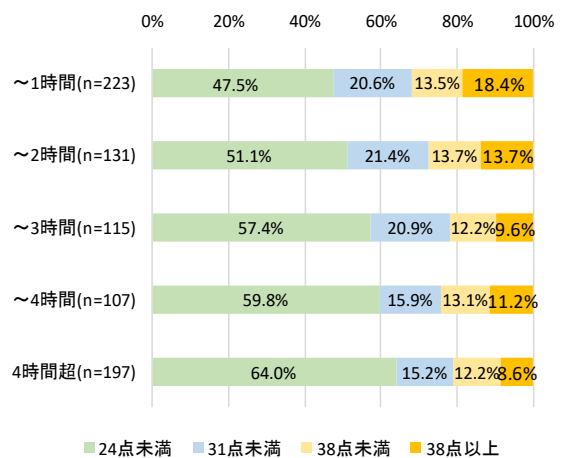
<有業者男性：仕事のない日>



<無業者女性：普段の日>



<無業者男性：普段の日>



【分析結果】 <図表 91～図表 92 参照>

- ・ 「家族や友人と過ごす時間」の長さや満足度又はディストレスの程度に顕著な関係は見られない。
- ・ ただし、無業者女性については、「家族や友人と過ごす時間」が長いほど満足度が高く、ディストレスの高得点層が少ない。また、無業者男性についても「家族や友人と過ごす時間」が長いほど、ディストレスの高得点層が少ない。